邪神監禁ハーレムで異世界征服！

Vol. 1

Jashinkankin Harem de Isekai seifuku!

[原作] YUYU
[作画] Fourteen

1

Jashinkankin
Harem de
Isekai seifuku!
volume ONE

Cover Design：AFTERGLOW

許さないわよ…！
このゲスが！
こ…
ジャラァ
ジャラァ
これしきのことで…
あっ
はぁっ
はぁっ
ジャラァ
ジャラァ
フッ
ジャラァ
ジャラ
はぁ
はぁ
屈服など絶対しない!!
んあぁ♡

1

[原作] YUYU

[作画] Fourteen

Jashinkankin
Harem de
Isekai seifuku!

第1話

邪神監禁ハーレムで異世界征服！

邪神監禁ハーレムで異世界征服! 1

CONTENTS

ユウヤ！

行かないで！

誰だ？

ずっとそばにいてくれるって約束したじゃない！

誰の声だ？

あら 目が覚めた？
死んでるかと思ったわ

ユウヤ！私…待ってるから

誰だ？なぜ思い出せない…

わかったからもう泣くな

泣く？

はあ はあ

ここに来た以上
使命を果たさない限り
帰さないわよ！

私に
究極の快楽を
味わせてちょうだい

はぁ♥はぁ♥

はぁ♥はぁ♥

リヴ

秋！

ドンッ

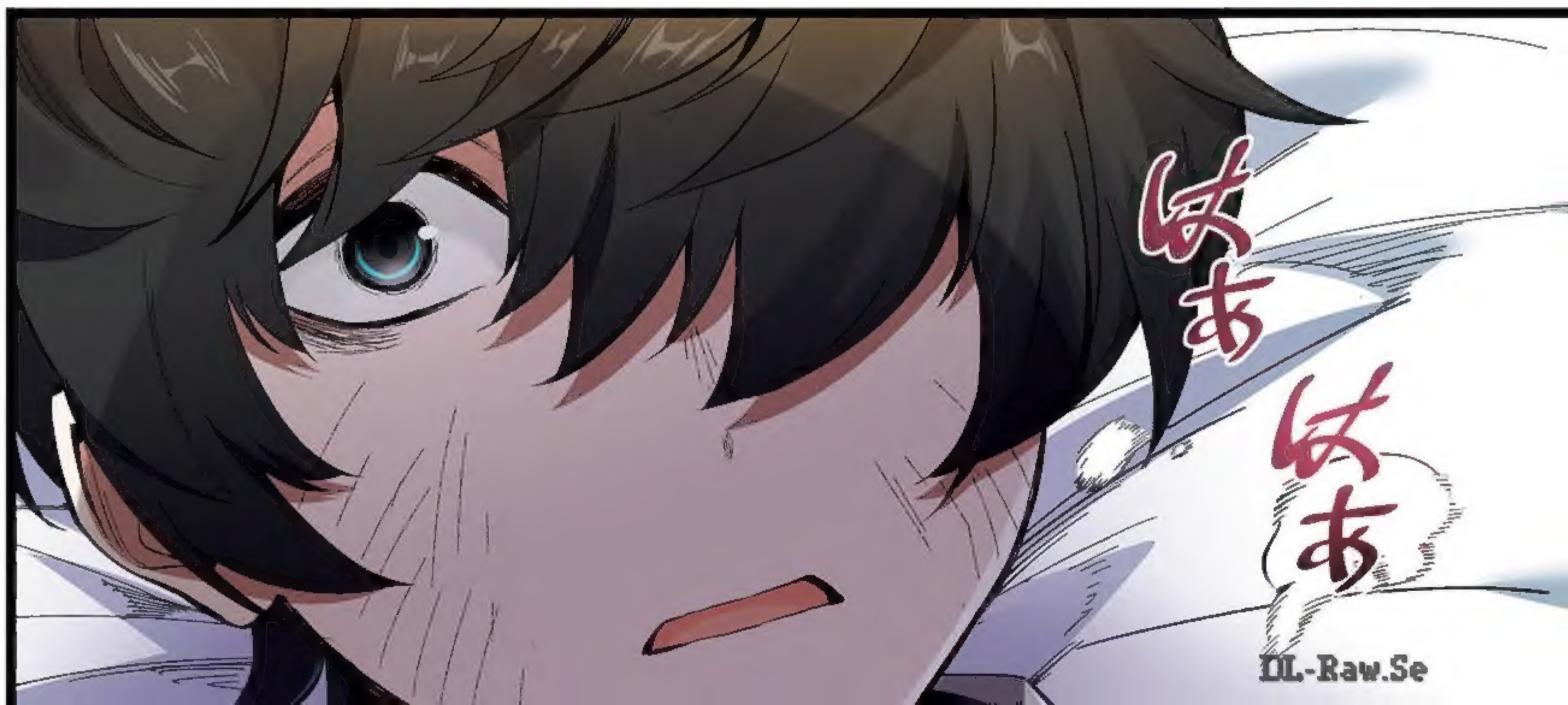
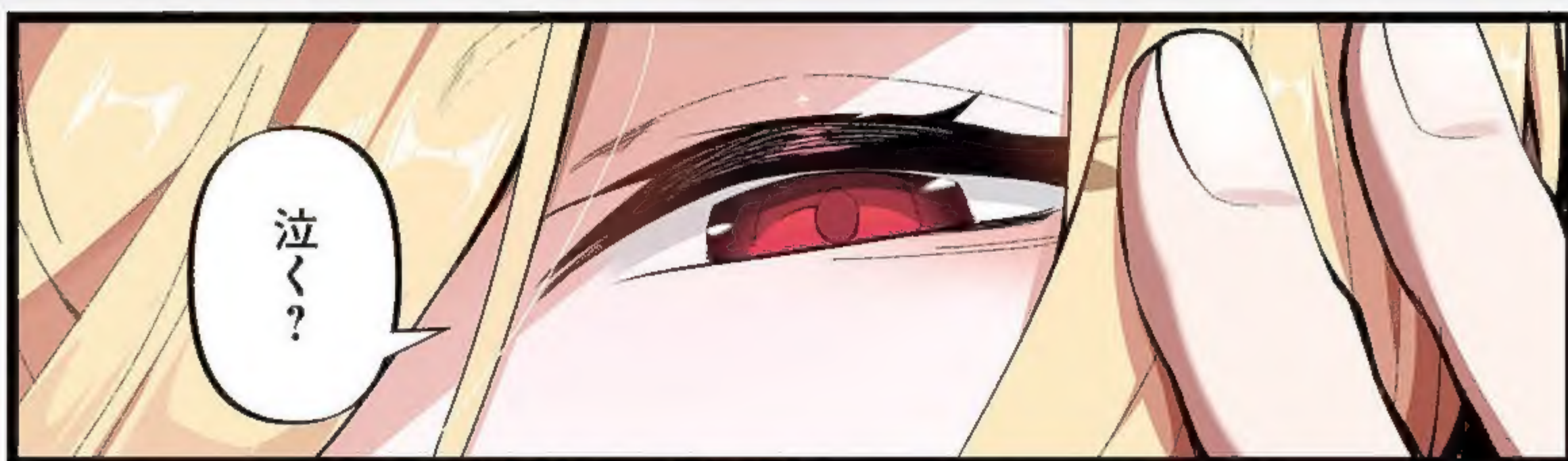
ぐえ

ここはどこだ
どこにいる 秋!?
はぁ
はぁ
はぁ
どこだって?
このリヴの「欲望神殿」よ!
「秋」とやらを捜すのなら神殿のどこかにいるかもよ

ふふっ
いい子ね

欲望に
身を任せ

秋のことなど忘れて
純粋な快楽を
楽しみなさい！

その子は教会の
純潔な聖女
どう？ 唆るでしょう

それは
魔界に君臨した
偉大な魔女
なんと彼女は
魔法で快感を
増幅できるのよ！

この子は夫以外に決して
身体を許さなかったが
命令すれば
お前にすべてを捧げるわ

次は竜族の姫
その柔らかい
太ももに挟まれたら
すぐに絶頂に達する
だろうな…

まだ興味が
湧かないの？

そこにいるのは
高貴な女王よ

女仙にも
興味ない？

女社長も？

教師は？

牧師は？

まさか
ゴブリンの姫？

エルフは？

このリヴはそう
欲望の神――
私の「欲望」に抗える人間など誰一人としていない！
ん？まだ堕ちないの？
俺は誰だ あの子は誰だ!?
なぜ何も思い出せない!?

はぁ はぁ

彼女がユウヤと… そうだ! 俺の名前は「ユウヤ」だ

はぁ はぁ

あの子の名前は…

秋!

そうだ あの子は秋だ…

私の気持ち 本当はもう わかってるでしょう?

なぜ こんなにも 心が締めつけられるんだ?

どこから 手をつけるか わからないの?

もしかして こういうのは 初めて?

ふふっ
では お前の初めて
私がいただこう！

ぐっ
なんて力だ！

よく見たら
なかなか綺麗な目を
しているわね

ゴオオオオオ

盛大な儀式をもって
最高のご褒美を
ふるまってあげるわ！

この「神の躰」で快楽の頂点へ導いてやろう！

あぁ！素敵…！

早く！早くぅ！

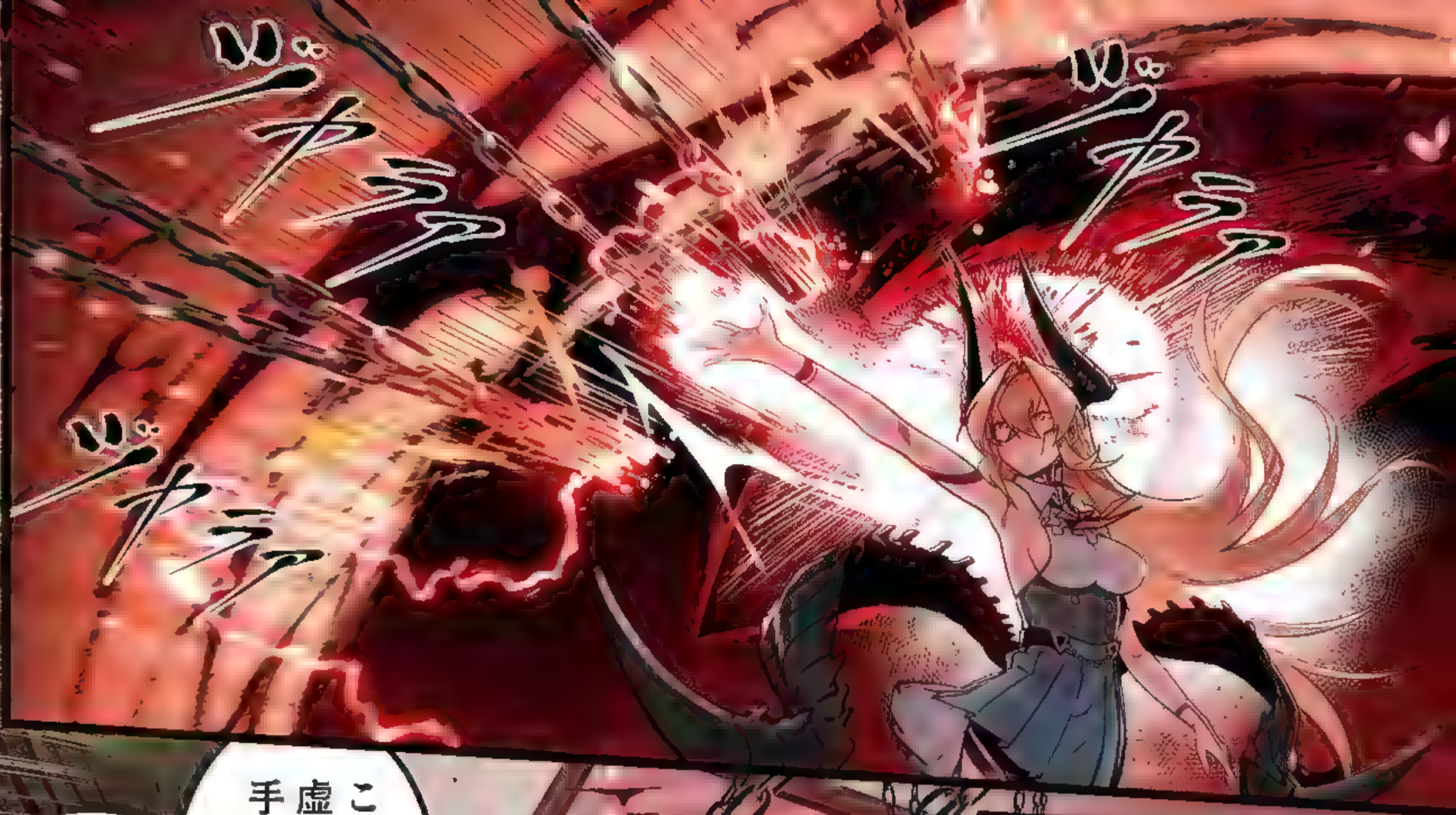
もっとちょうだい！

こんなところで死んでたまるか！

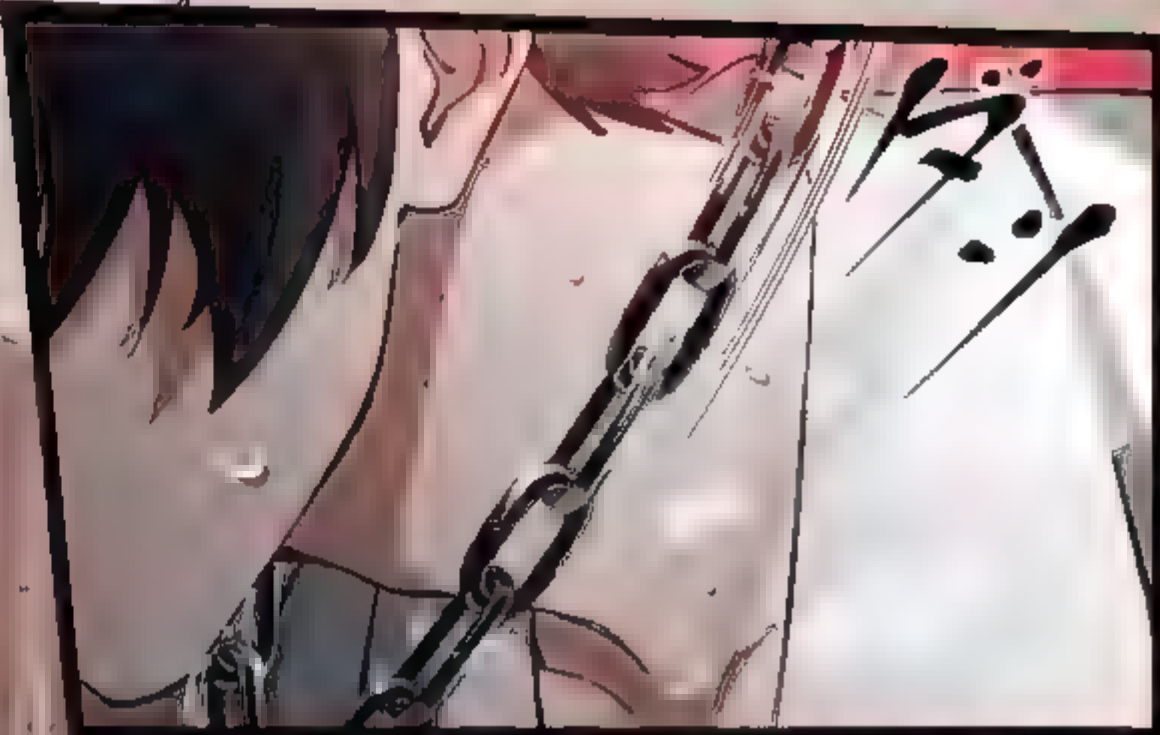
秋が俺を待ってるんだ！

早くここから出なくては！

「神の躰」の力が効かないとは…

何か特別な力を持っているのか？ゾクゾクするわ

この鎖は200年前
虚空を旅していた際に
手に入れた物よ
丈夫に作られていてね
この私でさえ
傷ひとつつけることが
できないの

ダッ

!!

苦しい？悪い子にはお仕置きしないと

さぁ観念なさい

お前のここは正直なようね

ゆ、わよ！

やめろ！
ザァ
オオオォ

ゴォオオオォォ

何が起きた!?

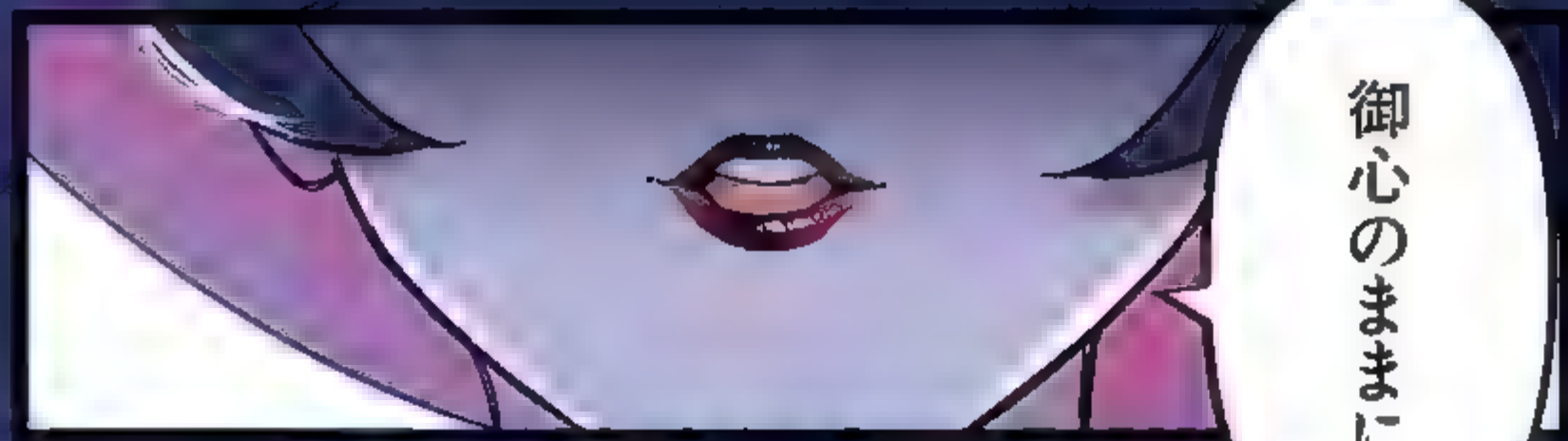
ユウヤ
王座に
おつきなさい

この鎖は創造主が神々を
罰するために作った武器
虚空に放置されていたの

そんなのどうでもいい！
俺はただ元の世界に
帰りたいだけだ！

ここは鎖と繋がっている
「監獄空間」
王座に君臨し空間の主になれば
世界を支配する力が
手に入るわ

もちろんそれもできるよ
さぁ 鎖を手にとり
全能な神となりなさい

力 富 自由……
神になれば
すべてお望みのまま
元の世界に帰れる
だけでなく
新世界の創世主
にだってなれる
わかった
俺の望みは…
秋のところへ戻って
失った記憶を
取り戻すことだ
それを可能にする力が
手に入るのなら
なんだってやってやる

御心のままに
あなたの従者
アグネスです
神になるまで
お手伝いさせて
いただきますわ
アグネス

ヌルウ♡

もう動くわよ？

せいぜい私を楽しませなさい

今のあなたなら「鎖」を自由に扱えるはずですわ

タイミングが来るまで耐えてください

タイミング…

フン 余裕そうね！

独り言か？

満足させてくれるまで死んではダメよ

くっ…

あぁ！いい！このまま千年先までヤり続けたい！

グチュ

グチュ

いい…！もうイキそう もっと速く！もっとぉ！

ぬちゅ
ぬぷっ
ダメだ もう…
もう少しの辛抱です 彼女が絶頂を迎えるその瞬間を狙うのです
ごぷ ぬぷ ぬぷ
パンッ パンッ
こっちから攻めて加速させましょう

ん？何をするの？
あっ！
あぁぁあん！す…すごい！ユウヤ！このド淫乱め！
あぁ…いい…！奥までゴリゴリぃあん！あん！

あっあっあっ♡♡

パンパンパンパン

ヂュブ

!!

ああああん
イクっ!!

ヴチュぶぢゅッ

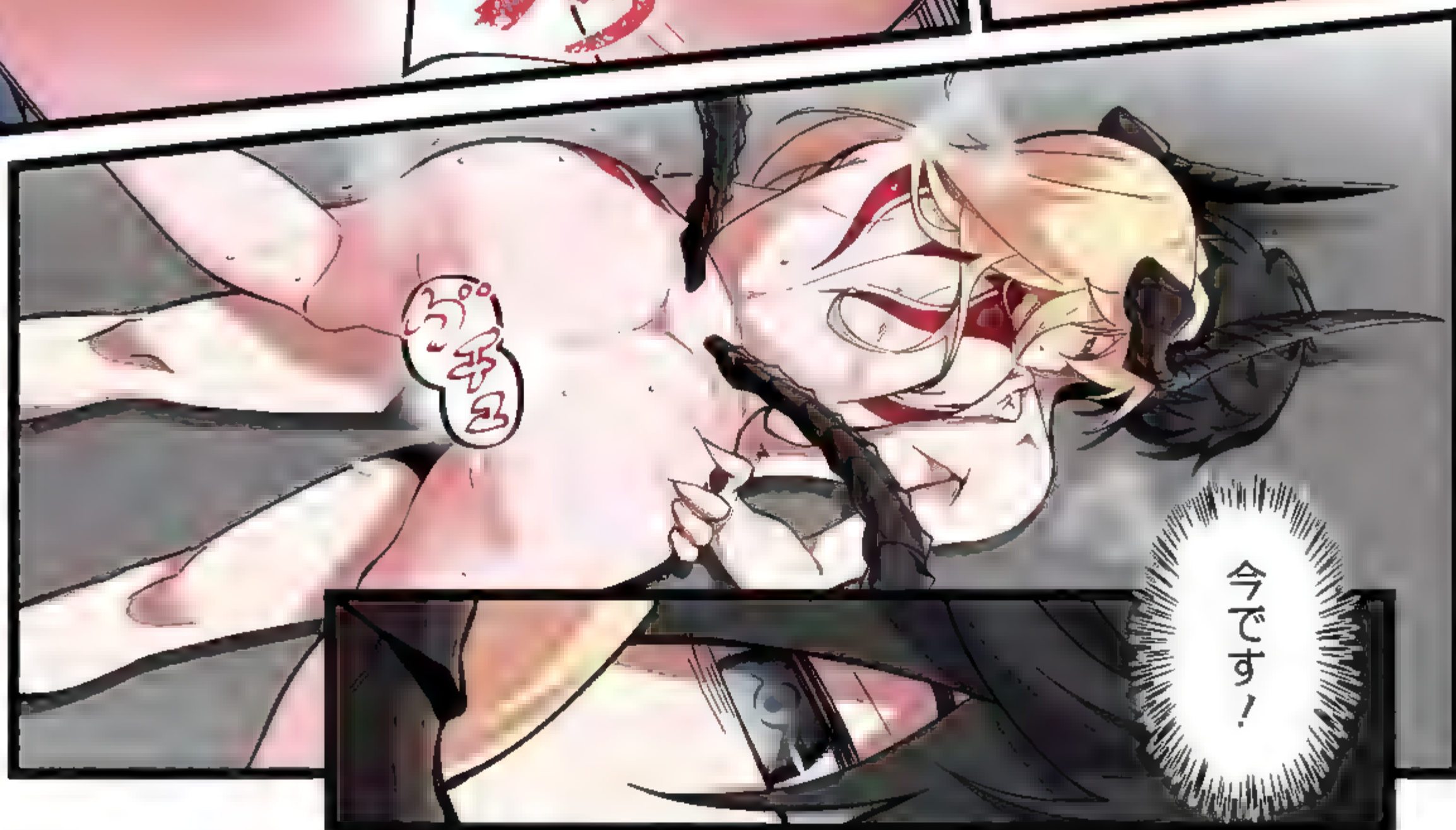
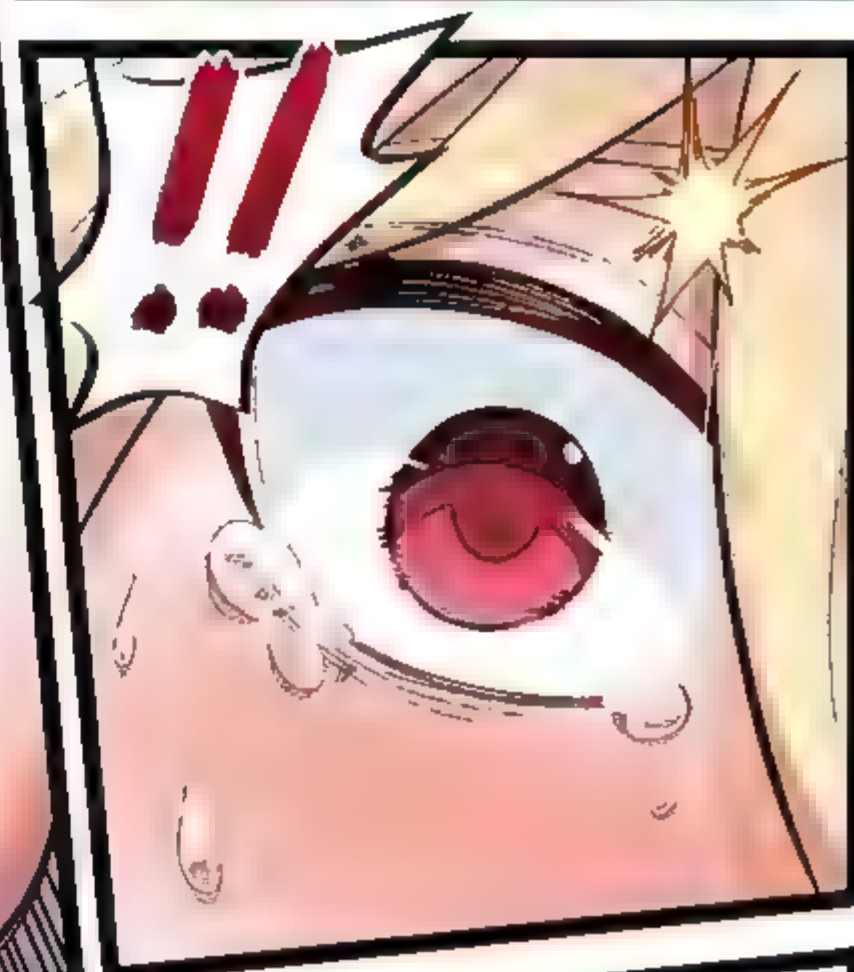
今です!

監獄空間を展開するのです！

ジャラ

ジャラ

なっ…
なんなの⁉

ジャラ

不思議な感覚だ
まるで自分の体みたいに
自由に動かせる

使い方もなぜか
知っていたようだ
その1
ターゲットを拘束

もしやあの鎖…
私の知らない力が
宿っていたの⁉

その2…

惑わされないで！

それは私よりも強大な邪神かもしれないわ！
下手をしたら想像を絶する対価を求められるわよ！
本来 死んだはずのお前に新しい命を授けたしこの上ない快楽も体験させた
人肌が恋しいのよお前を傷つけるつもりはなかった…
……
無視
私はただ さみしかっただけなのよ… 広い星空で一人壊れた世界に向き合って…
信じられないのなら… 殺して…
出会ってまだ短いが今までにない快楽をもらったわ

ゴオオ
!!
ジャラララ

どうして!? 私の力…

「神の躰」が 維持できない…

ジャラ

ジャラ

その2

ターゲットを 監獄に連行

ユウヤ
ここから出して
くれるなら
口でしてあげる

いらん

調子に乗りやがって！
早く解放しろ！

人間風情が
この女神様の恩を
仇で返すなんて！

ここから出せ！
お前も男なら
正々堂々と戦え！

ん？

その3
ターゲットを屈伏させ
力を奪う

ジャラララララ

何をする!?

ジャラ

ジャラ

「ターゲットを監禁・屈伏させる」まで達成すればその力を奪うことができるこれが「鎖」の能力だ

お前 ここが弱いんだろう?

やっぱりな

この角も
ちょうどいいところに
生えてるな

屈服するものか!

いいや
お前はする
ほら…

ちょっ…

ひゃあ!

あっ

ヴチュ
ヴチュ
ジュポ

ああん

この…あっ
虫けらが!

後ろの角を掴めば
力が入りやすい
さっきド淫乱とか
言ったが…
それはどちらのことかな?

はぁあ♡♡

すごい……
さっきよりも深く…
奥まで突いてくる…!

気持ちよすぎて
意識が飛びそう…

あぁん♡

はあ
はあ
ワチュ
いい力を手に入れた
神格
いかがですか?
飲み込みが早いですね
このまま行けば
神になる日は
そう遠くありませんわ
あぁ
尽力しよう

ズルッ

ご主人様ぁ！どうか！どうか解放してくださいぃ！
力を奪わないで！鎖に縛られなくてもご奉仕しますから！
グス…
おとなしくしているのなら危害を加えるつもりはない

俺が元の世界に帰ったら解放してやろう
家に帰りたいだけですか？それならそうと言ってくださいよぉ！
ご主人様を召喚したのは私ですよ！帰すことだって簡単です！
お前…さっきまで全く話の通じないヤツだったのに…
それなら早く帰してもらおう！

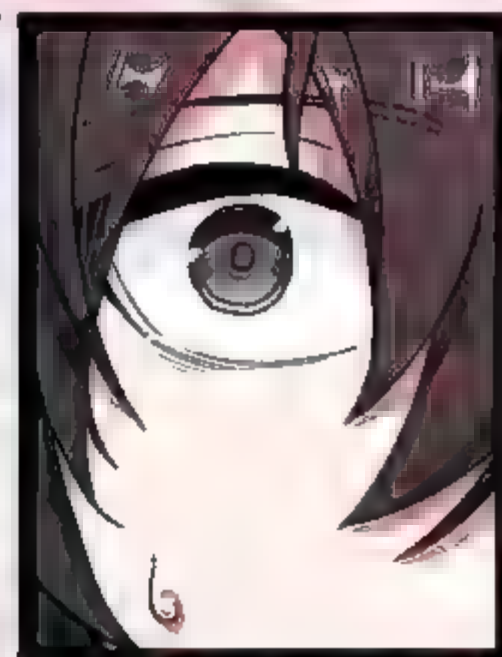
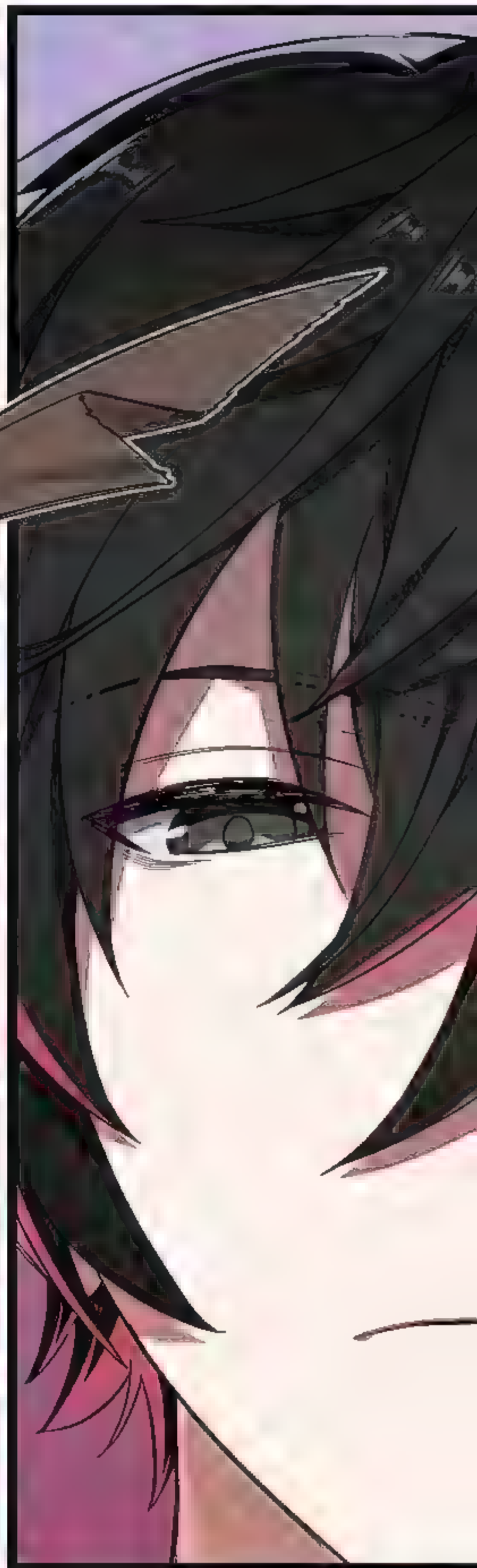
私は本来
人間を守る
「空間の女神」です

異世界への道を
開けるなんて
簡単なことですよ

私の
十八番の
転送魔法陣です

さぁ
ここに立って
目的地を
想像してください！

……

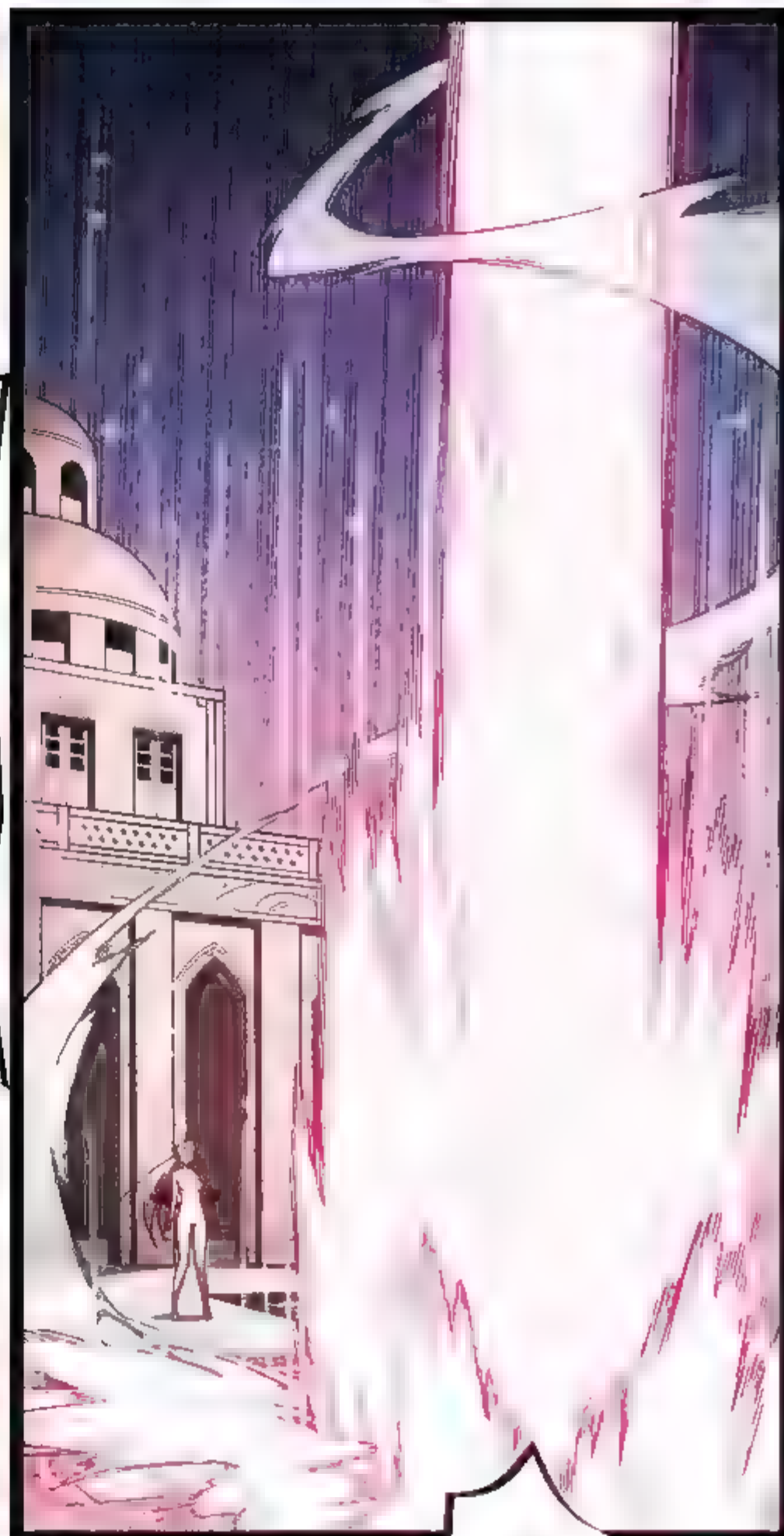
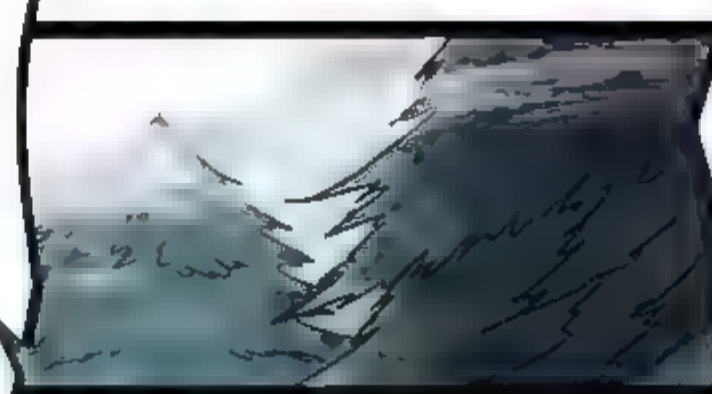
よし
帰るぞ！

行きたい場所は…

俺を秋の元へ
転送してくれ！

やはりただの凡人だな！こうも愚かではすぐに死ぬわ！

私の魔法陣を簡単に使わせると思うの!? きゃはははは！

ははははは！

アレに殺されれば私は再び自由の身よ！

ここはどこだ…秋の姿もない…

リヴ 来い！

!!

なっ 邪神が…こんなにたくさん!? …なぜ!?

いやっ!!

ドヴッ！

リヴ　お前…

俺を騙したな？

えっ

自由になったら殺してやる！絶対にだ！

何千年…いや何万年も苦しめてやる!!!

反省しますからどうか許してください！

ゲホッ

ゲホッ

Jashinkankin
Harem de
Isekai seifuku!
volume ONE

ドゴオ

第2話

何が起きた!?

触手のバケモノが町を蹂躙しています

どう? ユウヤ
取って置きの「サプライズ」よ

「深淵」は宇宙で最も危険な「深淵の支配者」の領地

その触手は異次元に侵入し全てを飲み込んでしまうという

三年前に偶然「深淵」の触手に遭遇しここに落とした

このままでは皆殺されてしまいます！助けてあげてください！ご主人様！

あとで問い詰めてやる

ふふっこの状況を無視できるはずがないよねユウヤ

結界が壊れた…
触手はさっきの
「空間の波動」に
反応しているの？
このカブライアは
飲み込まれてしまう…

みんな！
住民の救助と避難が
最優先よ
触手の攻撃方向には
要注意を！

オーランド

聖女様
危ない!!

ドッ

ぜぇ ぜぇ

ユウヤのヤツ！

人の能力を利用して
よその女を
助けるなんて！

あぁ 神様…
私達の祈りに応えて
くださったのですね！

どうか…
このカブライアを
お救いください！
勇者様！

ガヤガヤ

「勇者」とは
とんでもない
頭を上げてくれ

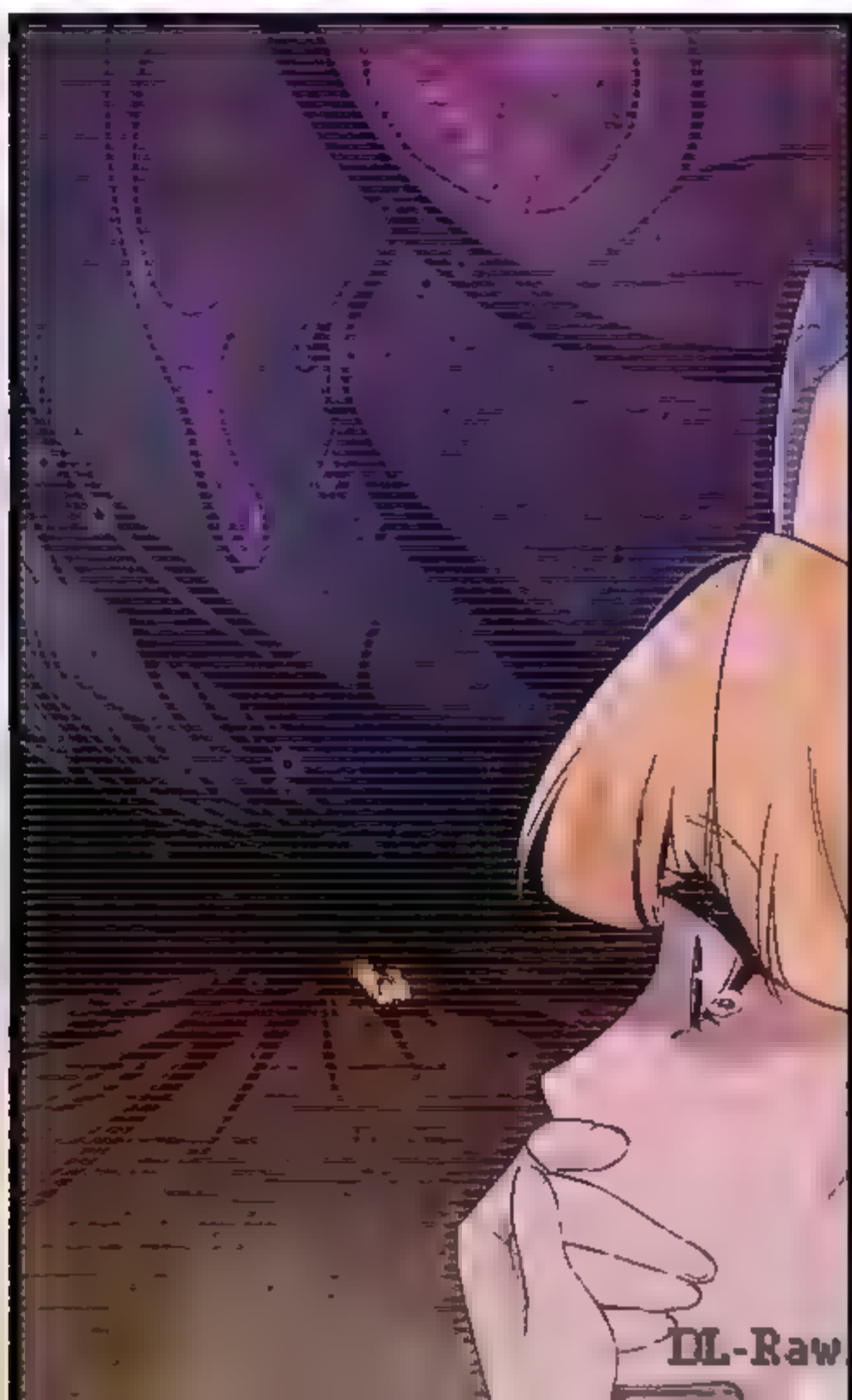
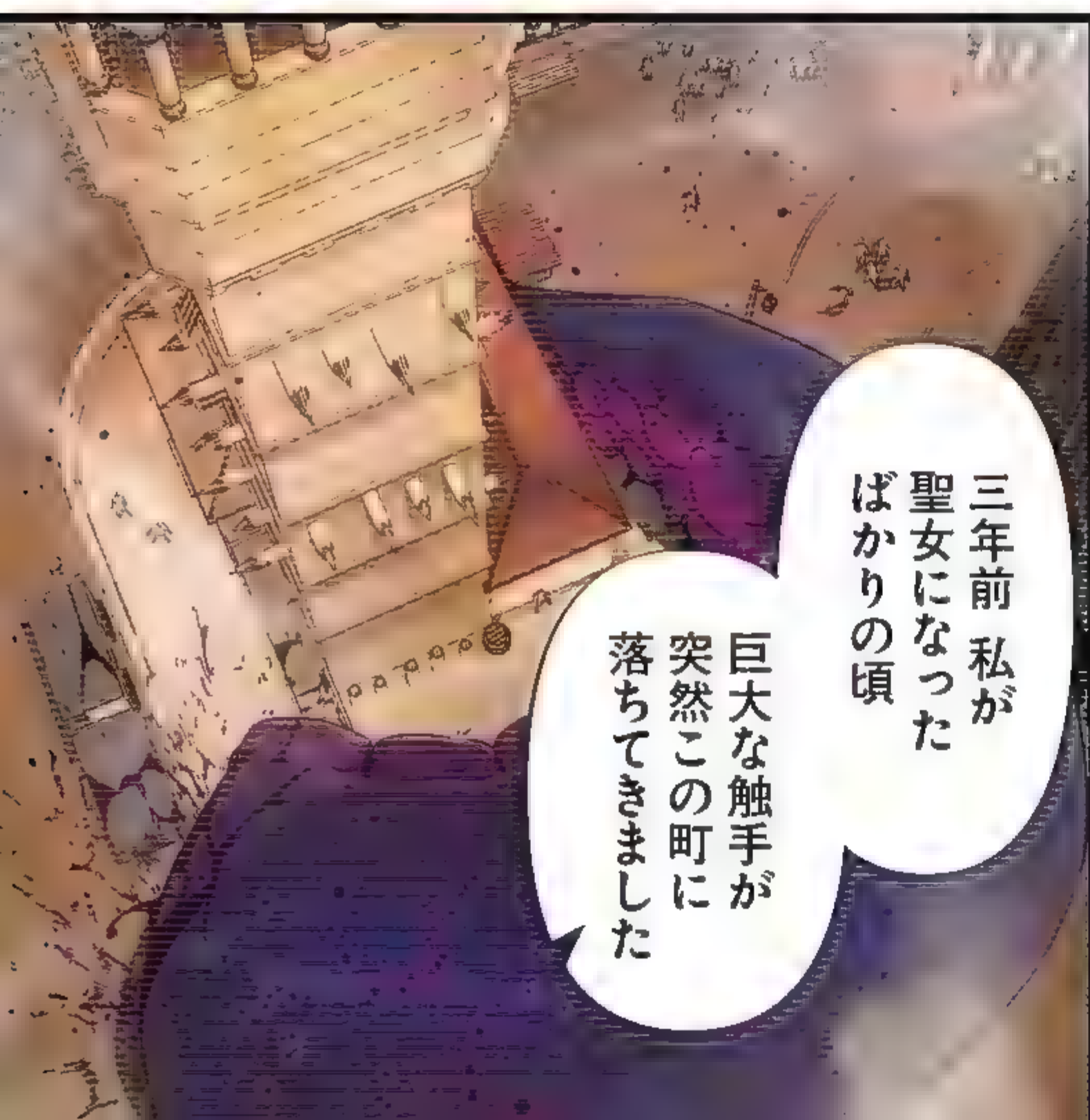
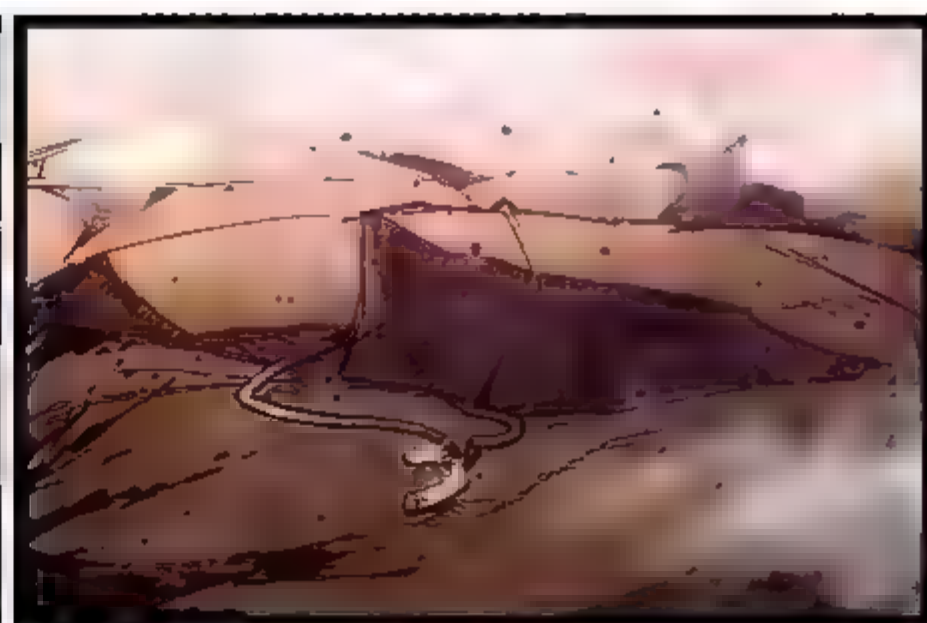
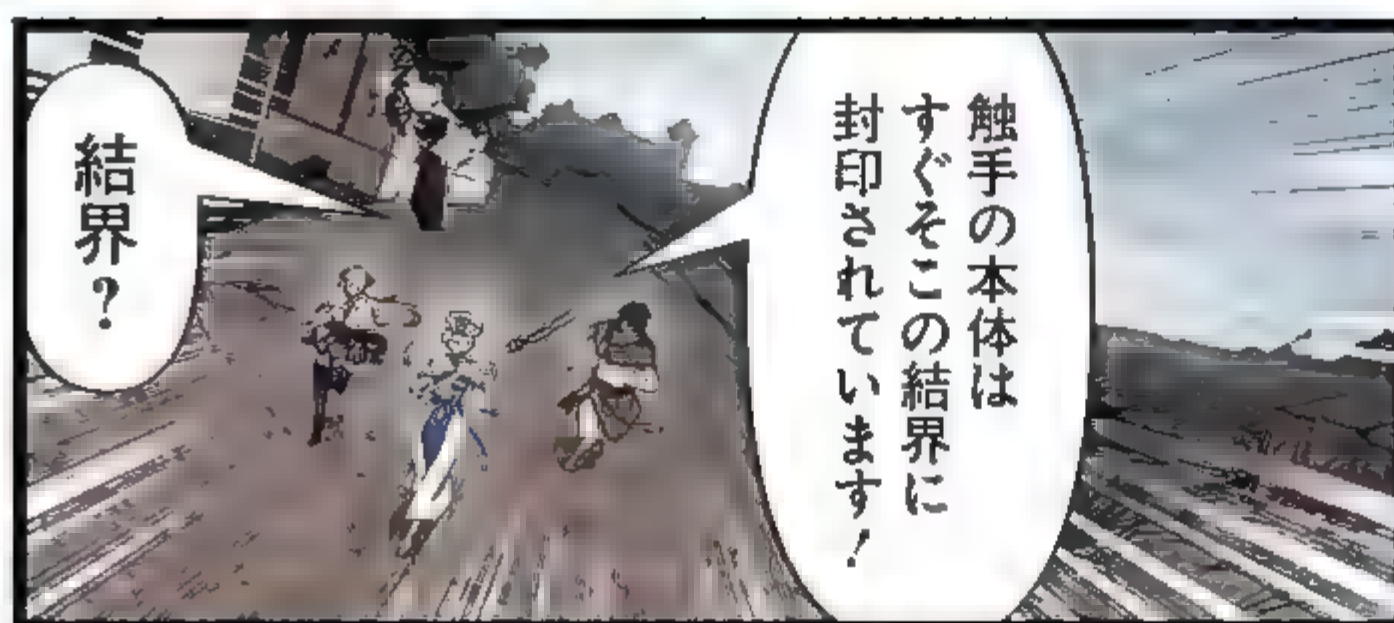
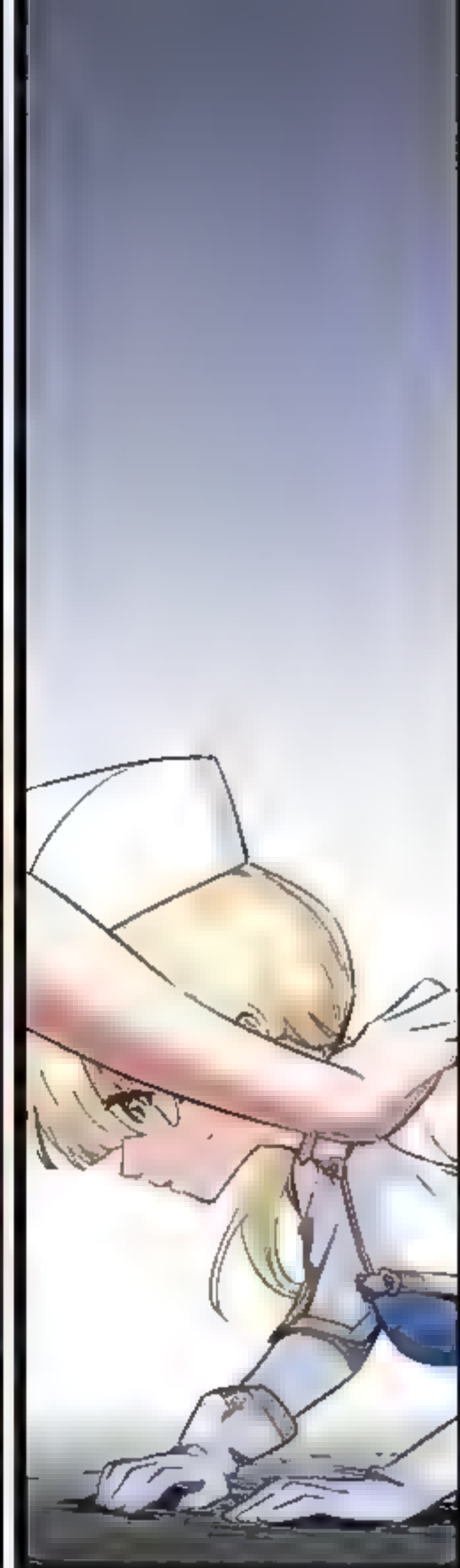
とにかく状況を説明してくれ！

アグネス 俺に何かできるのか？

ユウヤ様にとって簡単なことでしょう

触手の本体はすぐそこの結界に封印されています！

結界？

三年前 私が聖女になったばかりの頃

巨大な触手が突然この町に落ちてきました

ベリンダ領主とノルワ神父がこの結界を張り
触手を封印するため結界の内部に入りましたがそれっきり…

着きました！

ゴォオオオオオ

領主と神父が命と引き換えに作り上げたカブライアの最後の障壁です

もう帰っていい
あとは任せろ

私も
お連れください！
故郷を守りたいのです！

私無能なので
空間で待機しまーす

わかった
ついて来い

ありがとう
ございます！

この三年間
触手は成長した
ようね

全盛期の私ですら
殺すことができず
かろうじて触手だけは
切断したが

こんな化け物を相手に
勝ち目はないわね

住民か？

違います！
まさか…
触手から新たな生命が？

ボボボボッ

大丈夫
俺がいる！

？
監禁！
ユウヤのヤツもう殺されたかしら？
ふふっ図星？
!
深淵の触手の気配が…!?
ユウヤに捕らわれるなんてそんなバカな!!

勇者様！助けてくださってありがとうございます！

監禁しただけだ

監禁するものがまた増えてしまった帰る前になんとかしないと…

どうやら凄腕のお方がカブライアを助けてくれたようね

この声は…

ベリンダ様!? よくご無事で…

うむ 運よく生き残れた

そうだ！このお方の名前は…

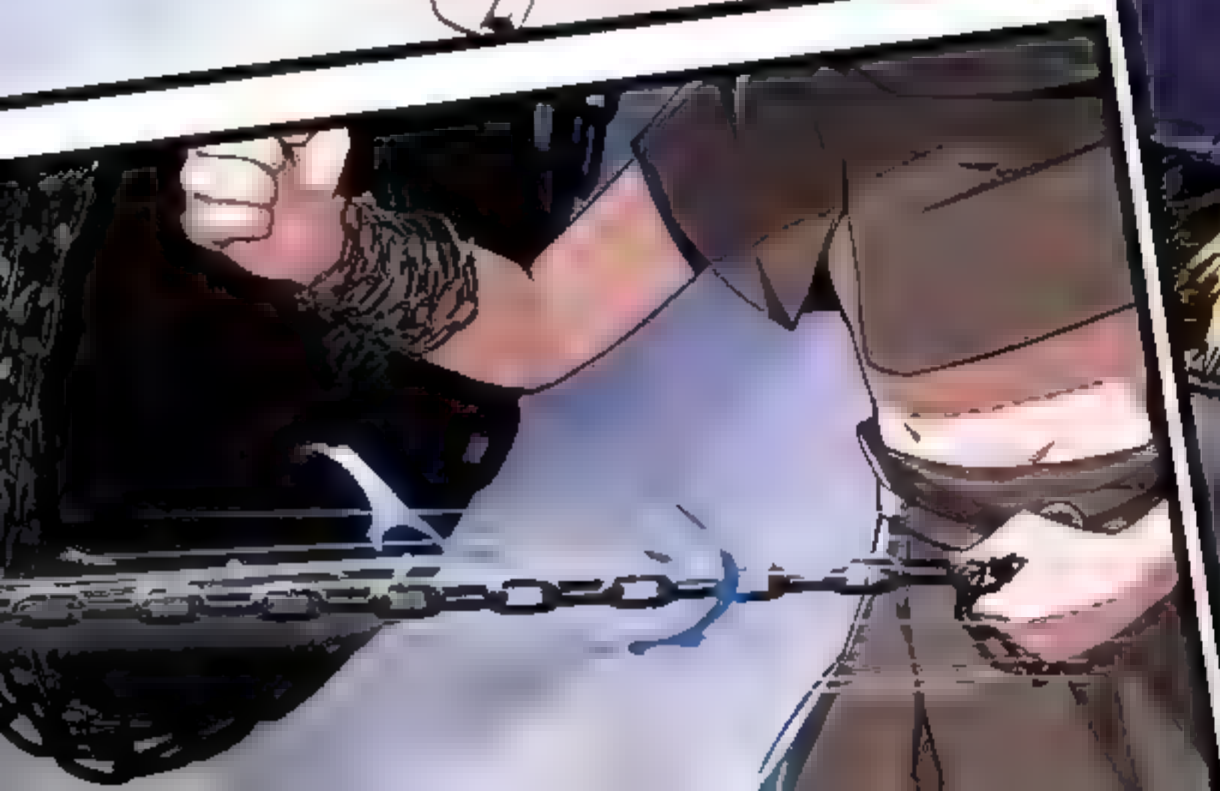
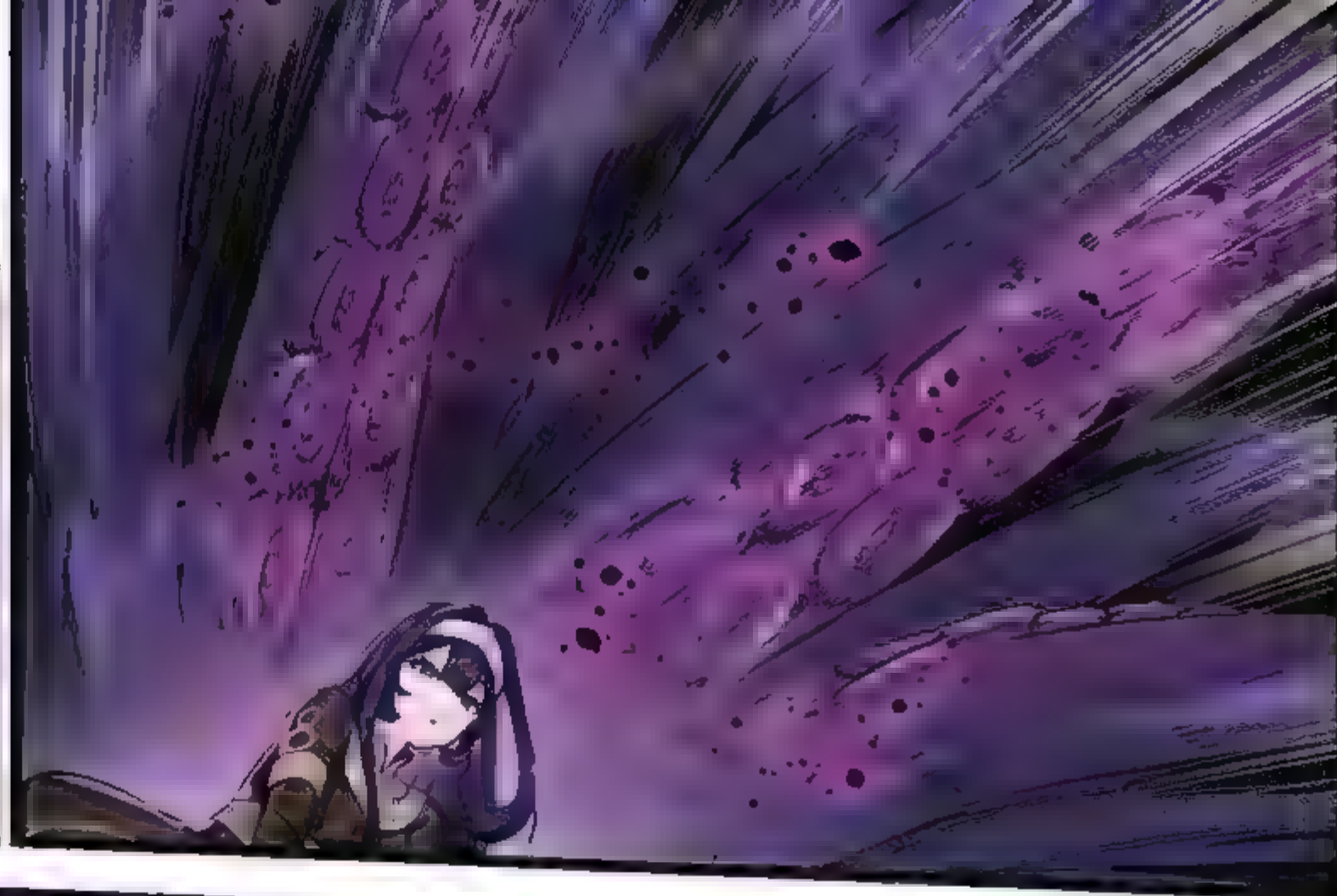
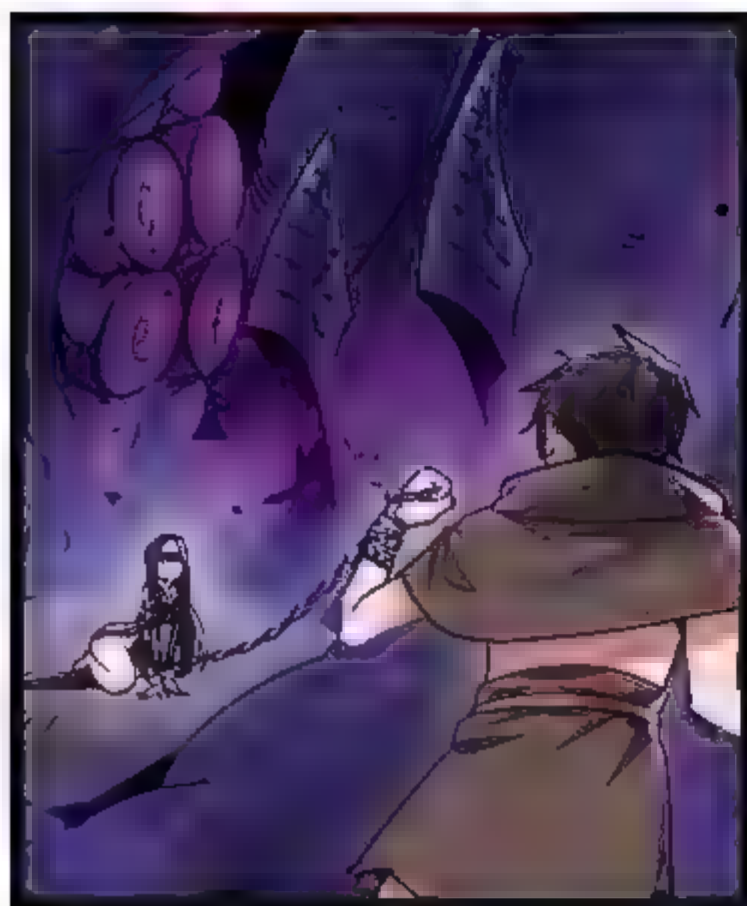
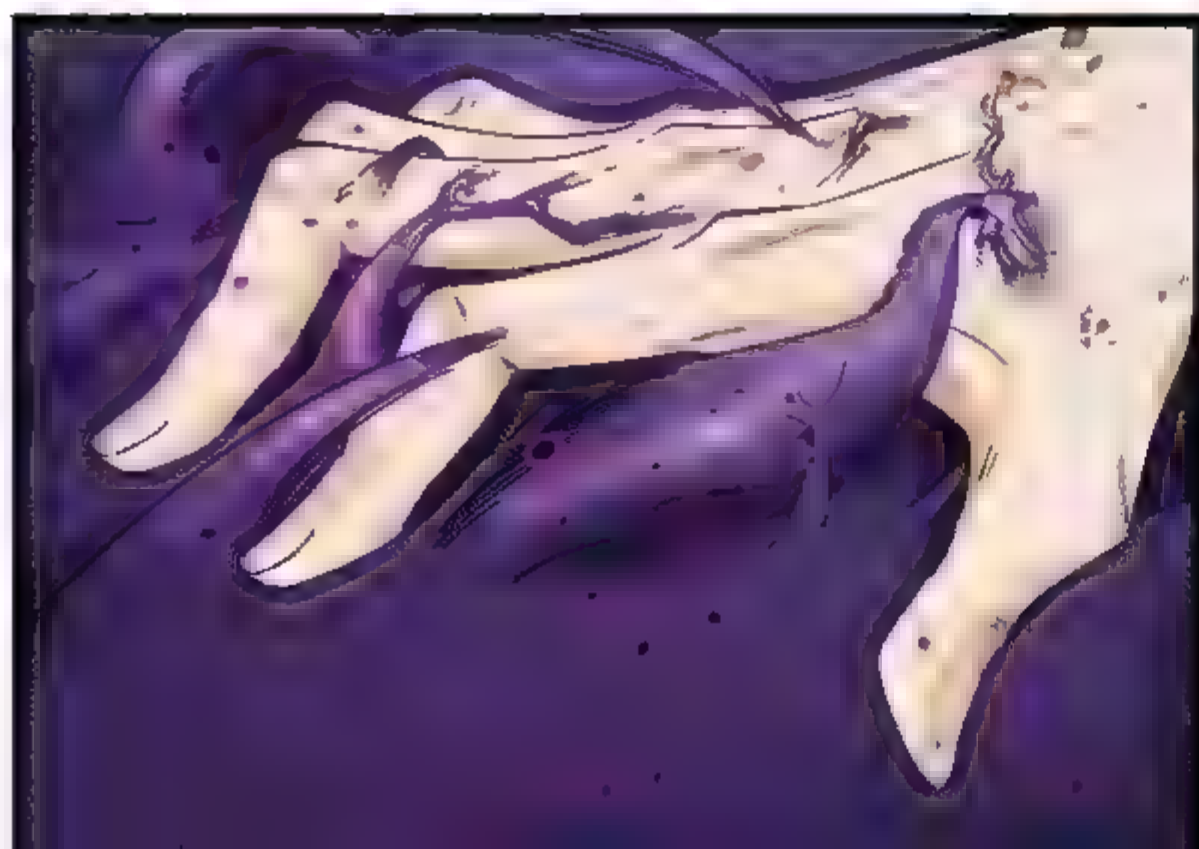
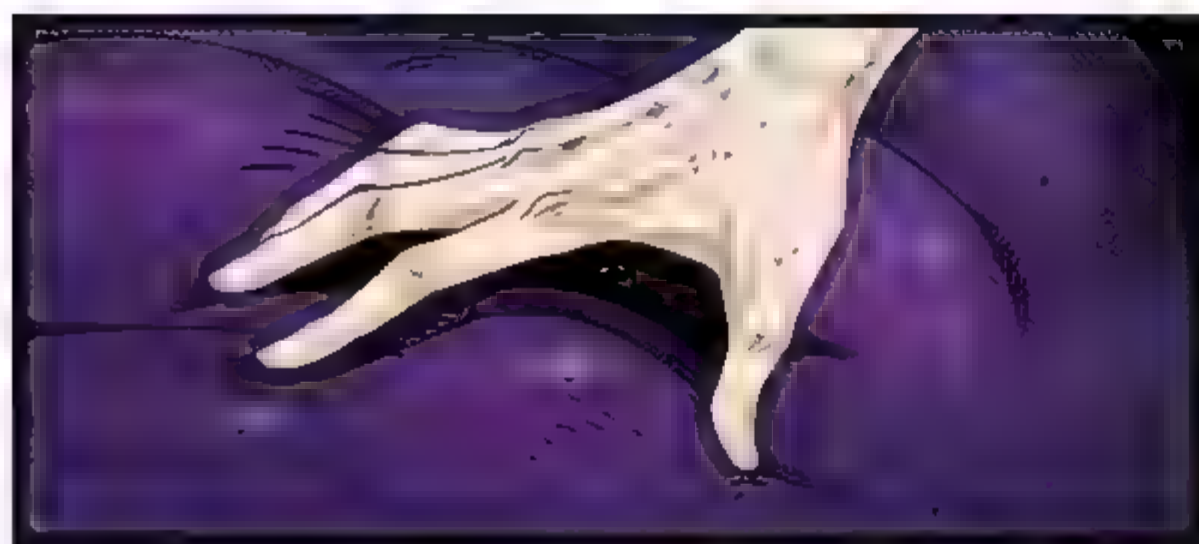
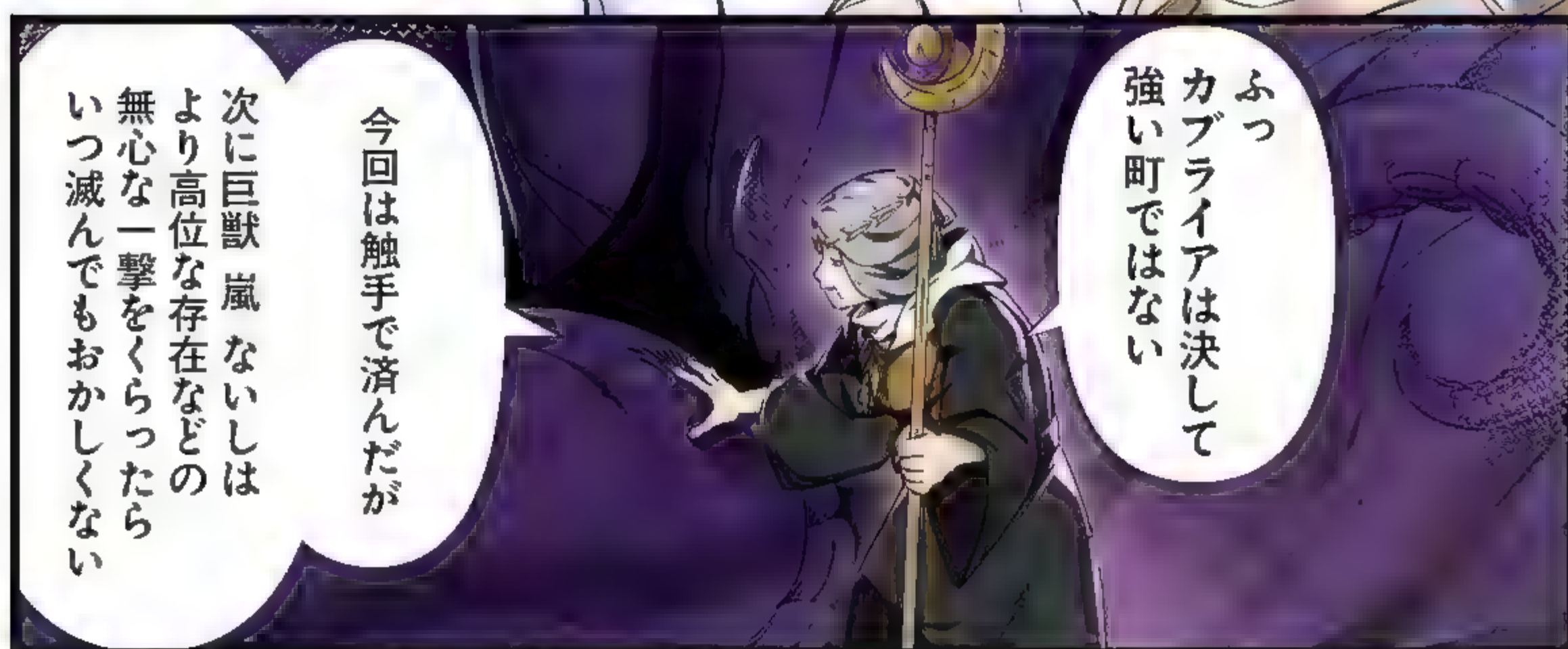
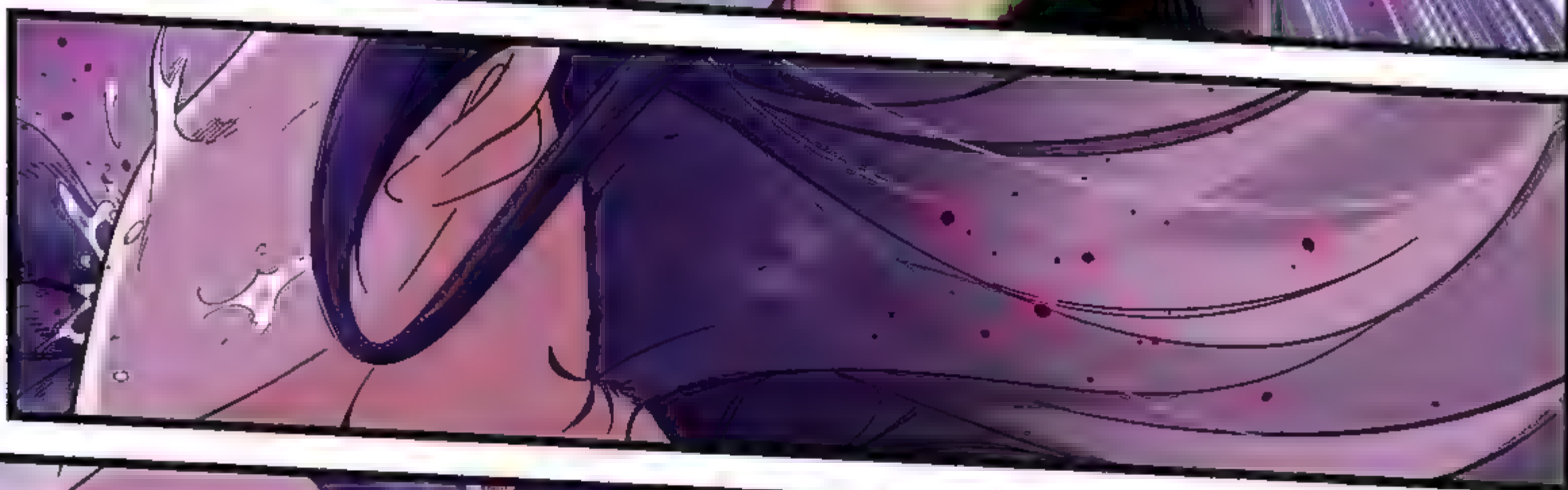
ユウヤだ

ふっ
カプライアは決して強い町ではない

今回は触手で済んだが

次に巨獣 嵐 ないしは
より高位な存在などの
無心な一撃をくらったら
いつ滅んでもおかしくない

!?

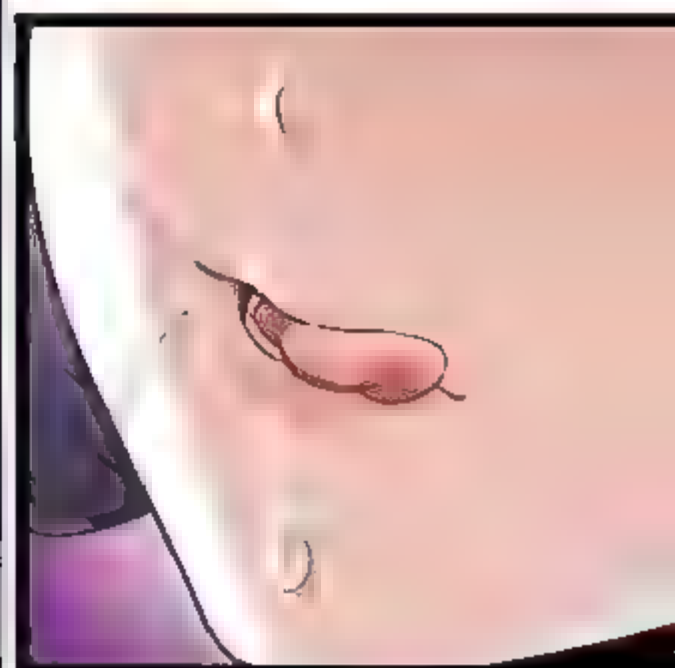
何が言いたい？

力が足りないのだ！

触手を育てるために
どれだけの心血を
注いだかわかるか!!

まだまだ足りないのよ
もっと力がほしい！
ユウヤとやらカブライアに命を捧げてもらおう！

ベリンダ様！
触手のせいで
多くの住民が死んだのに
何も感じないのですか⁉

笑えるな！
カブライアは
私の町だ！

それを奪おうとした
ノルワも愚かだった！

触手を召喚したのは
このわたし！
飲みこみが触手を
強くすることも
知らないとはな！

力が…
抜けていく…

この若々しい
顔と美肌を
見てごらん
オーランドちゃん

触って
みなさい
お前と変わらない
だろう？

ノルワのように
お前達の
野心 力と命を
すべて

この深淵触手の支配者・
ベリンダ領主に捧げろ！

これが
勇者の能力?
なんと弱々しい
痛くも痒くも
なさそうだ
逃さないぞ!

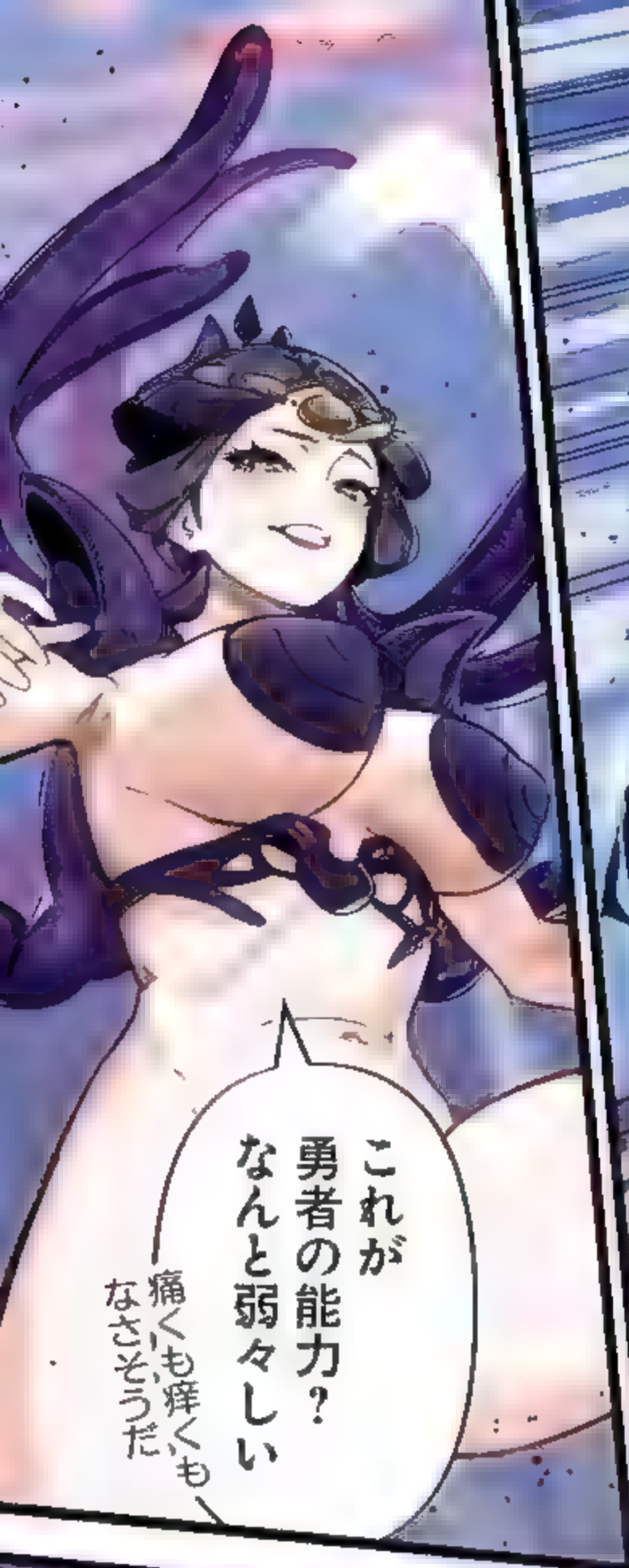
きゃあ

ご無事ですか？ベリンダ様がまさかあんな…

大丈夫だが触手に縛られた時力が入らなかった…

ふふっお前達には無理な相手だろう

あなた…なんだか温かいご主人様ですか？

はあ!?

外の身体があたしを呼んでるの取り戻してくれる？
まずあの女を倒さないとな何か方法はあるのか？
あの人嫌い寝てる時に邪魔してくるし変な液体も注射されて…
身体がおかしくなったの…
どうやって倒す？
深淵の力は簡単に奪えるものではありません彼女を解放しましょう
大丈夫なのか？
解放したら当然本来の力が目覚める場合によってはこの監獄空間も突破されるでしょう
それを回避する方法は？
ご主人様あなたならもうおわかりでしょう？

お前の力が必要なんだ

ご主人…様…何…するの？

なななななにを!?

いい子だ 俺にすべてを委ねて

うん……

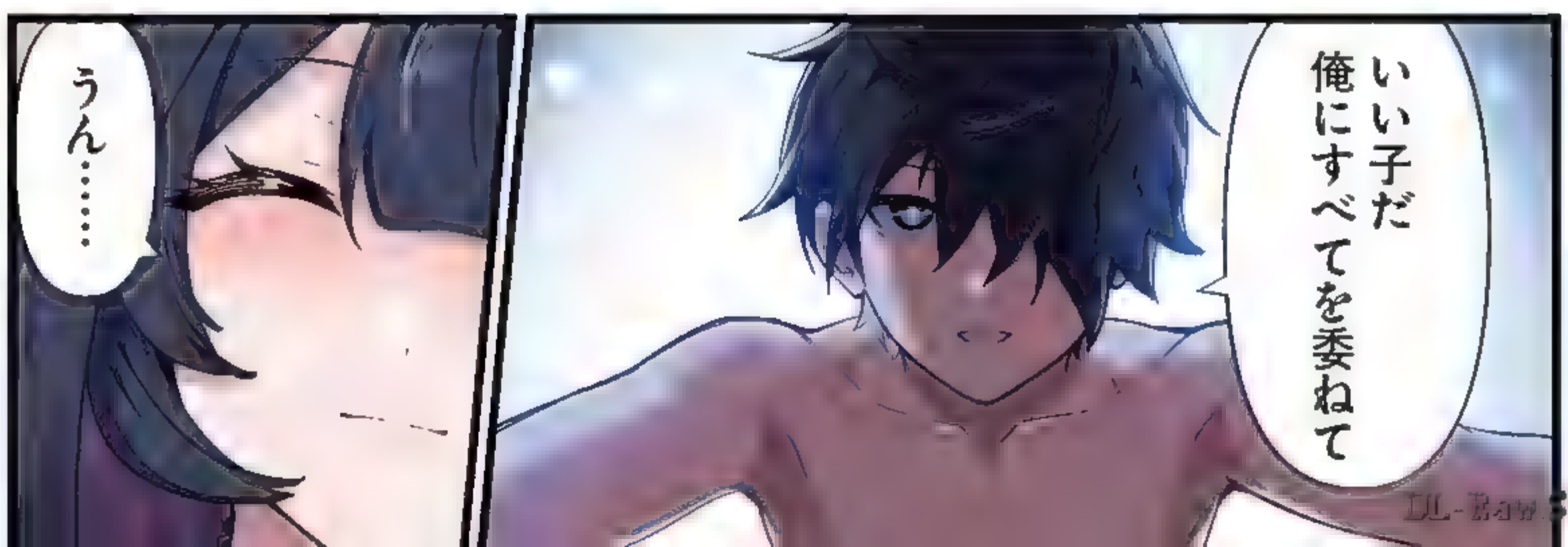
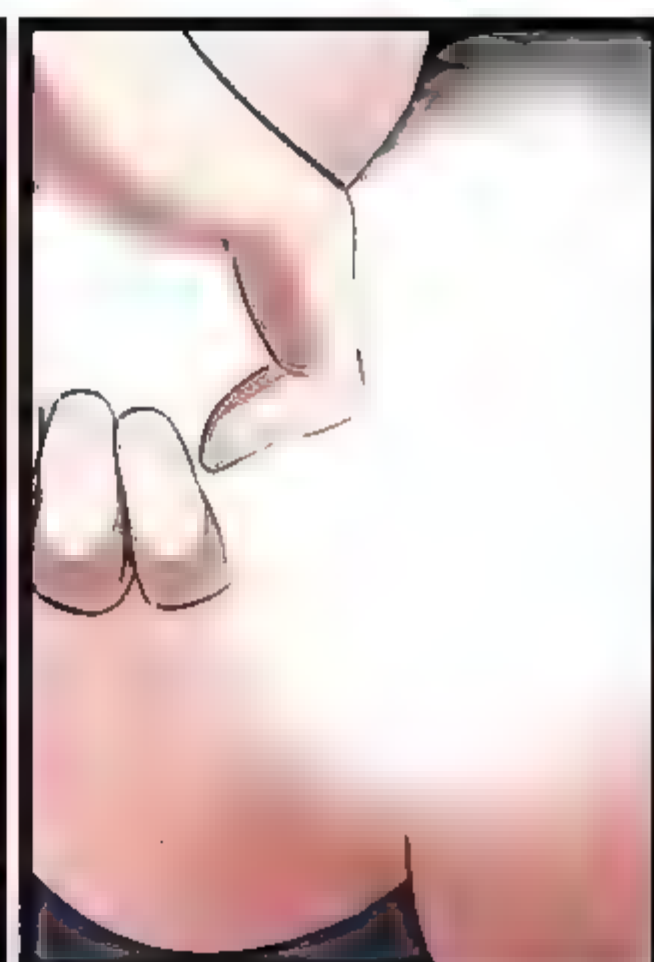
ご主人様…
ご主人様がほしい！
んっ♥
あっ♥
あっ♥
ひゃあ♥

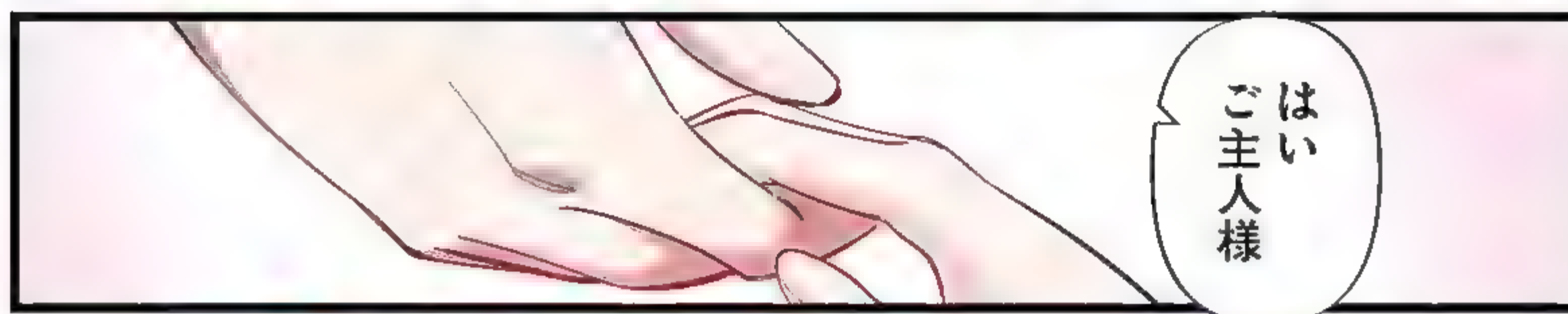
ああん

はぁんんっ

あんっ あん

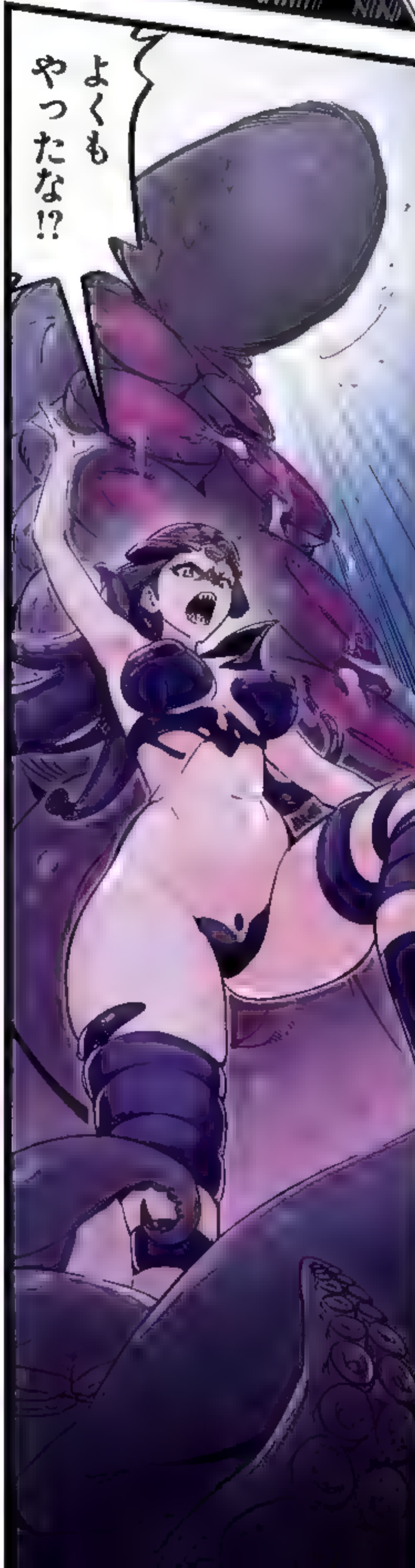
あんっ！ご主人様！

ズチュッ

はぁ、はぁ
あっ！あぁんッ！ご主人様 また…イクッ！もう三回目！
はぁ
ビュルッ
くっ！私とする時はあんな体位をとらなかったのに!!!
リヴより強い力を手に入れたな 最初から服従心があるからか
こっちに来い！いまの全部 私ともういっぺんするのよ！
これは町を救うための儀礼なのですか!? もしかして私にも!?

リヴ かたづいたら
転送先が違った詳細を
聞かせてもらおう
げっ
そ それは…
誰だって
失敗はあるのよ?
お前を「サリー」
と呼ぼう
さあ 出るぞ
はい
ご主人様
ゴォオオオオ

よくぞ戻ってきたわ

触手が教えてくれたのよ
お前を食えば
今の倍以上も
進化できるとな

あたしの触手よ
戻ってきて！

なに!?

させるものか!!!
私は偉大なるカブライアの領主だ!

力だ! もっと力がほしいい!!

うるさい人ですね
黙らせても
いいですか

よくもやったな!?

サリーの能力は
深淵の力
目標を侵食 同化 飲み込むことができる

その能力をもらった俺には
同じ攻撃は二度と効かない!

ダンッ

ダンッ

ブオ

ブオ

飲み込みの力が効かない今は直接攻撃だけを避ければいい!

ブオオオオ

ぎゃあああ
あの世で領主の夢でも見ているんだなくそばばあ！
あとは任せた
ご主人様！ありがとう！

触手を回収しながら
さっきの続きだ

は〜い

はあん

チュポッ

んんっ

パンパン

あああん！
もうダメぇ！

ぜ 全部
食べちゃった

もう…お腹いっぱい

計画が失敗した!?

いや！チャンスだ！
イったばかりの
ユウヤなら簡単に…！

この小娘！
どきなさい！
私のおもちゃを
横取りする気!?
こんなに汚して！クソが！

ノルワ神父
カプライアと住民達が
救われました

都に報告すれば
新しい領主と神父を
派遣してくれるはず

手紙のお届けまで
引き受けてくださるとは…
どうか旅路が平和なもの
でありますように

困っている人が
まだ多くいるみたいだ
元の世界に戻れるまでは
手助けしよう

ご主人様
なんてやさしい！
大好き！

無事に解決できて
よかったですね！
あははっ

ユウヤに触手の小娘め！
都には私ですら
近づきたくない存在が
居座っている

穏やかに
死ねることを
ありがたく思いなさい
くくく

Jashinkankin
Harem de
Isekai seifuku!
volume ONE

邪神監禁ハーレムで異世界征服!

Vol. 1

ズァッ

オォオン

ドサッ

キャンッ

サリーの能力
使い勝手がいいな

第3話

リヴ
あとは任せたぞ

はい！
ご主人様！

下等な魔獣が
この私の絨毯になれること
誇りに思いなさい

パチッ
パチッ
あっ！私の絨毯に座らないで！

トドメも皮を剥ぐのも全部私がやったのよ！何もしてないくせに！
記憶喪失だから何もできないんだ

それにそれは私の肉！あんた達の分はあっちよ!?

ご主人様 一緒に生肉 食べる?

いや 俺は人間だから 焼いた肉を食べる

ったく! ひとの獲物を 横取りして… こいつがいなければ 神殿で楽しんでたのに…

触手を使うなー! 口で食べなさい口で!

ぐちゅ

ぐちゅ

こうか？
その気色悪い触手はしまいなさい！
食べやすい大きさに切って
グサ
口に入れてよく噛んでから飲み込むのよ
めんどくさ

パチッ
パチッ
パチッ

人間の生活も
たまには悪くないわね
しばらくは
生かしといてやるわ

ご主人様
お腹いっぱい！
アレをしようよ！

ダンッ

ポトッ

前言撤回！
ふたりとも
今すぐ死ね！

バサッ

ご主人様とすると
成長が早くなるの！

サリーを
もっともっと
強くしてください

スリ
スリ

よくもこの
私の前で！

バキッ

待って！
これ以上強く
なられたら困るわ！

サリーにすら
勝てなくなったら
ユウヤを殺せない…
絶対嫌だ！

ん

パッ！

はむぅ

ご主人様〜
リヴが！

私のほうこそ
先に頂く権利があるわ！

ご主人様
あたしもご一緒
してもいい？

これも元の世界に
戻るためだ……
仕方ない

んっ

ぷあっ♡

ユウヤ…

ぐりっ
ぐりっ

チュ
あっ!
ん♡

んあぁ!

チュパ

チュパ♡

チュパ♡

んあぁ!

そこっ

もっと!

もうダメ
イクッ…!

賑やかな町だ
ここなら
魔獣の心配はないな

もちろん
領主は
すごいのよ

まずは教会に報告して
その後たっぷり
休みましょう

先に宿でお風呂に入らない？
全身を撫でてもらいたいの

ご主人様～

ユウヤから
離れなさい！
入るとしても私の後よ！
ご主人様と
一緒にいたいだけなの
怒らせちゃったのなら
お仕置き
してください！

ガシッ!
むぐぅ
むぐぅ
うっ
ユウヤより先に
お前を殺す!

いい加減にしないか
教会へ行くぞ

サリーに道を聞いてもらいましょう！

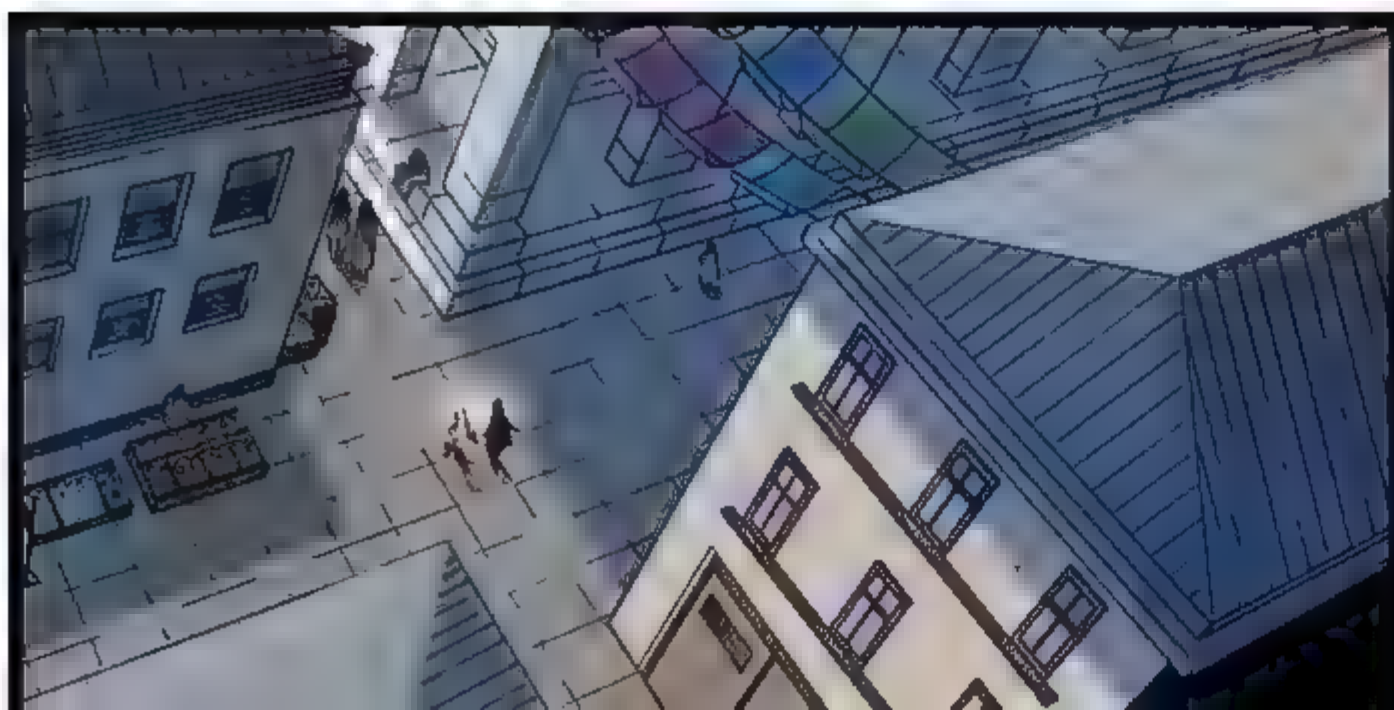
こいつをユウヤから引き離す！

ご主人様以外の人間と喋りたくない…
リヴちゃんがやってよぉ

ふたりで行け

はい！

チッ

触手の小娘 二手に分かれて 先に教会を 見つけたほうが勝ちよ

あたしを騙して ご主人様のところへ 戻るつもりでしょ？

ご主人様がいなければ あなたなんかとっくに 食べちゃってるんだから

チュルッ

カッ

脅しているの？ とうとう本性を 現したわね！

空間能力を使って
その表情と声を
記録してやったわ

ボォォォォッ

このアマ！
殺してやる！

ユウヤに見せてやる！
ざまあみなさい！

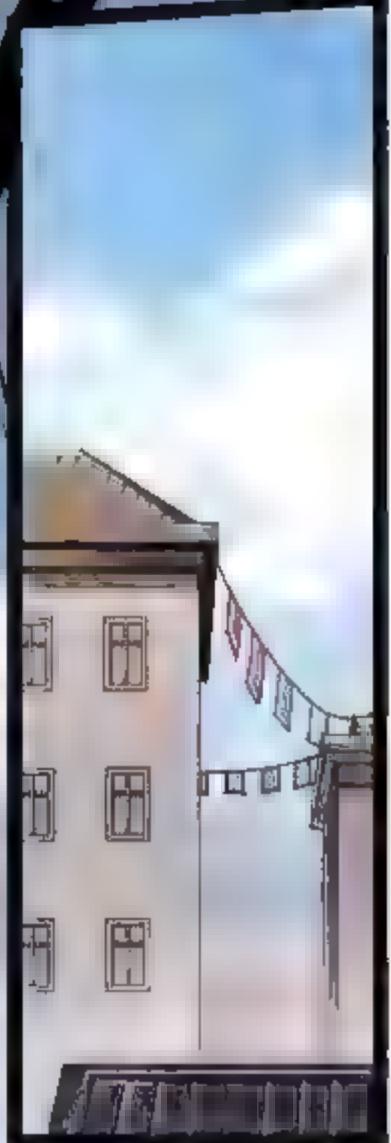
ドッ！

魔獣の素材を換金…
そして宿と教会を探す…
面倒だな

記憶が残っていれば
うまくやれていた
んだろうか

リヴとサリーも
喧嘩ばかり
……はぁ

私もユウヤ様の
悩みの種でしょうか？

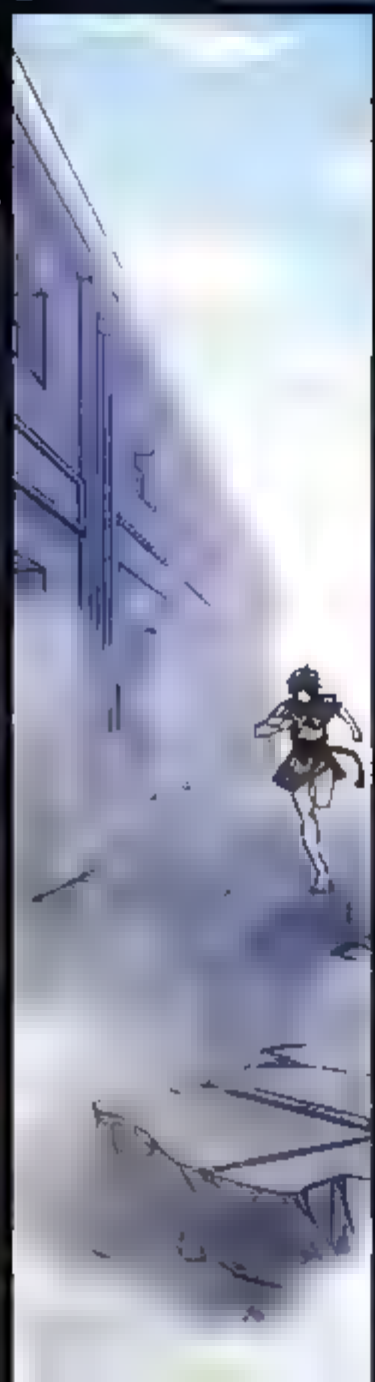
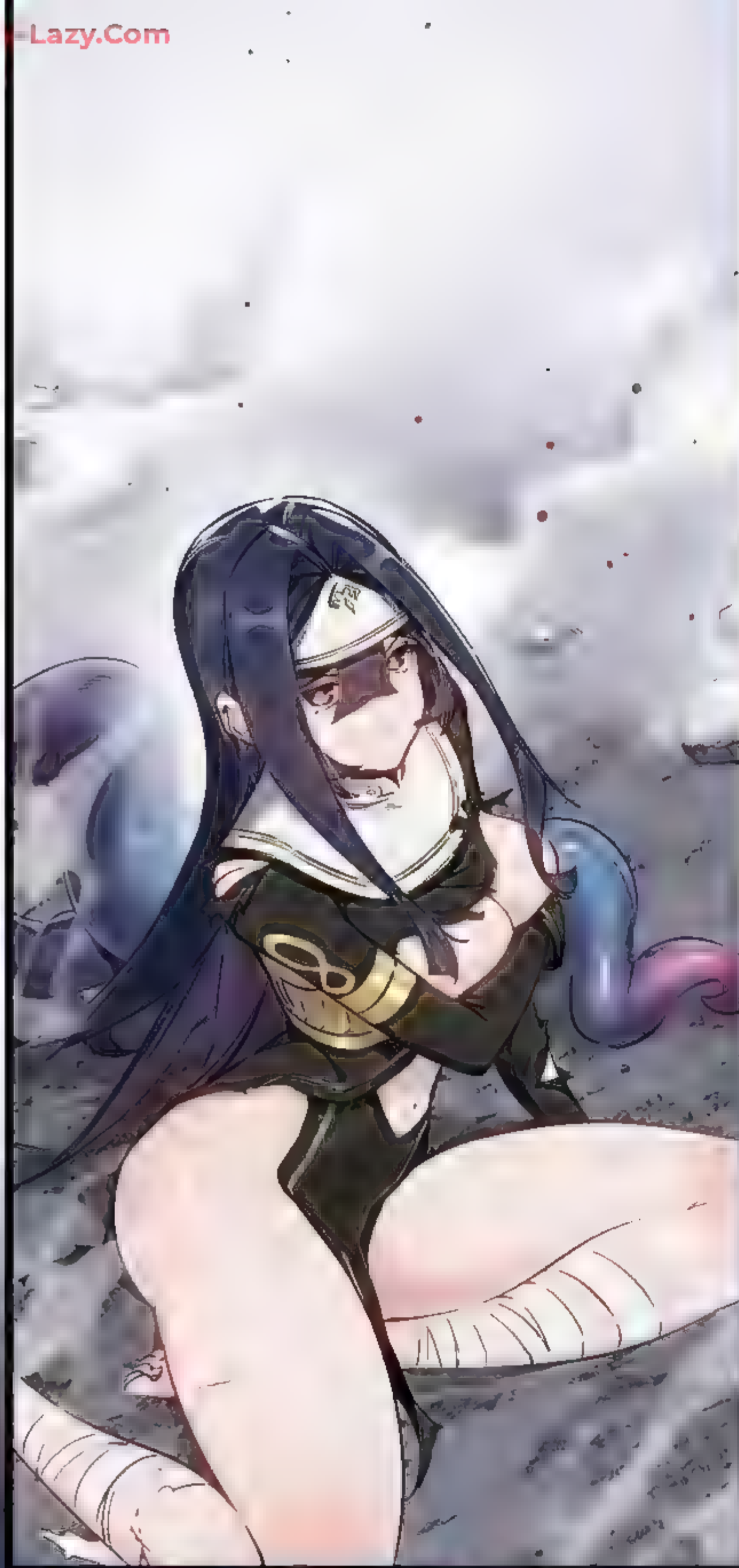
君のことは
まだよく知らないが
帰るまで協力して
くれれば十分だ
信じてもらえて嬉しいです
これは女の勘ですが
あのふたりは今後も
問題を起こすでしょうね
戦闘経験の差が
出たようね
そろそろトドメと
行こうかしら

あたしとご主人様の邪魔をするヤツ絶対に許さない！
ズザザザッ

バシッ
ダーッ
ザッ
ダッ

ザザザザッ

ギイン
ビビッ
バチバチッ

ドゴォ!
リヴ!? サリー!?

お前ら…！

監獄空間で
反省してろ！
ガタン
空間波動を調べたけど
「彼女」はやはり
まだこの町にいる

その彫像があちこちに置かれている
彼女への信仰は未だ衰えず敬虔な信者も多いみたい
真の名前ではなく「メアリー」と呼ばれているようね
もう少しの辛抱よ彼女の能力を利用するチャンスはいくらでもある
待っていなさいユウヤ！

教会の所有する建物をあんなにしてしまって…責任を取って頂きますわ
本当にすみません…実は…
…なるほど
カイゼル城はあなた方を歓迎します
魔獣素材は教会が買い取りましょう
建物の修繕費用は差し引いておきますわ
助かります！

聖女メアリー様は
この中です

では 我々は
見回りの仕事が
ありますのでここで

ご主人様〜
これからは
いい子にします〜

まずは
カブライアの状況を
報告しにいこう

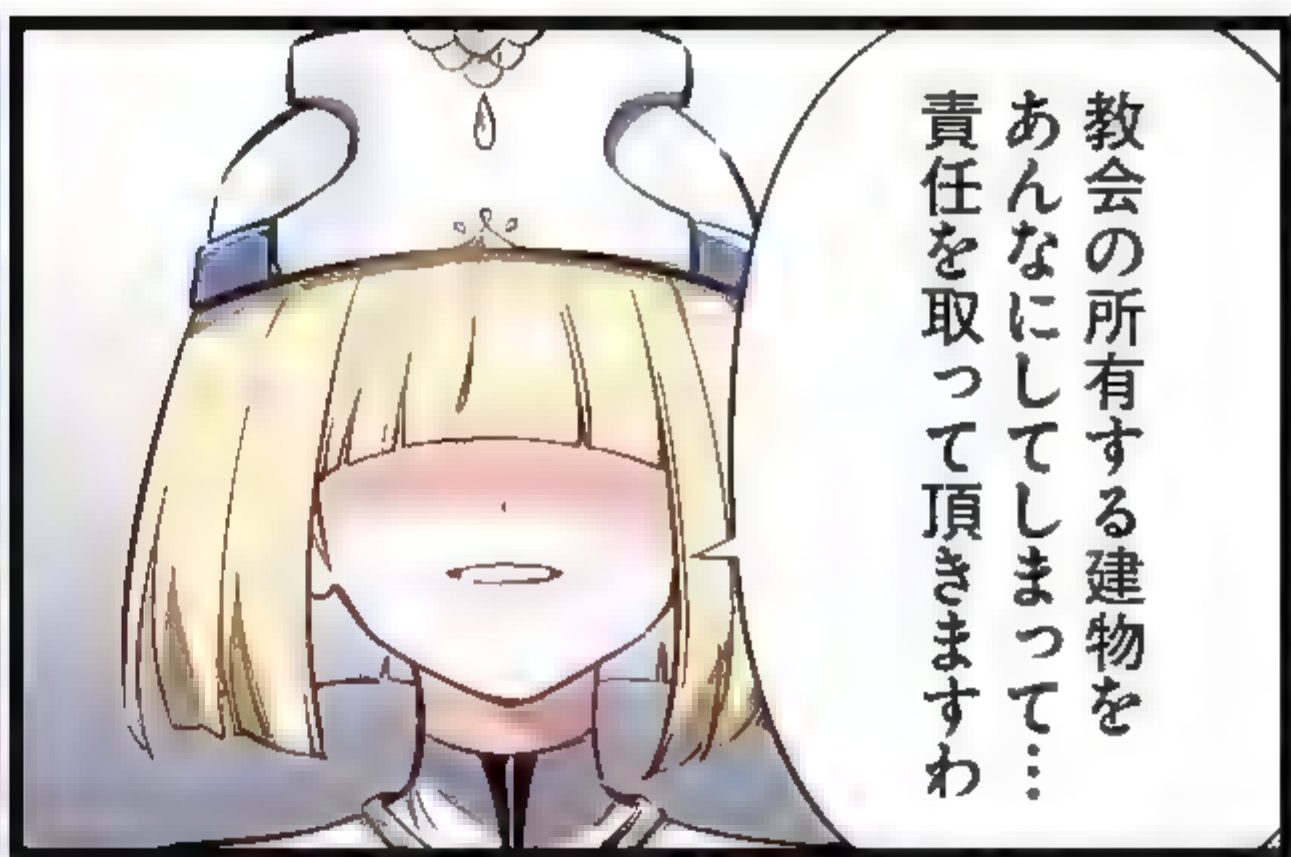
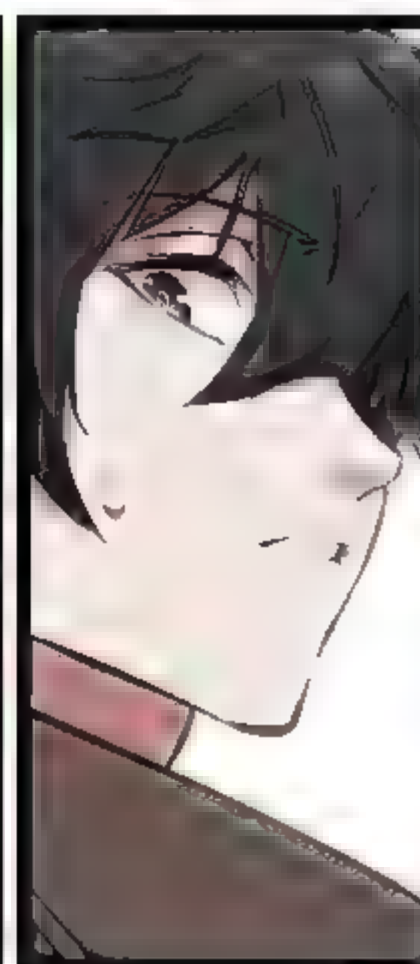
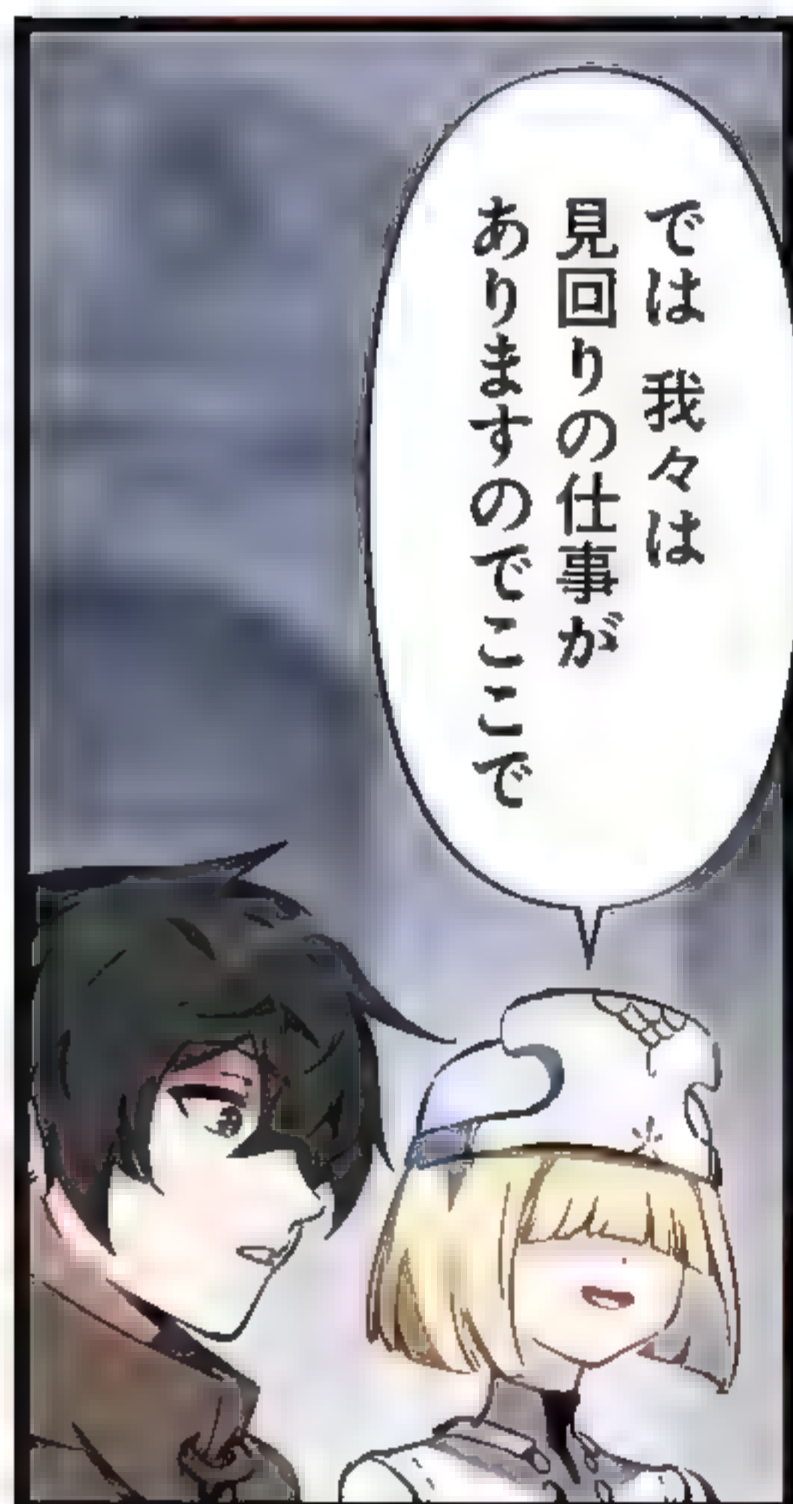
入りたくない
カブライアは
あたしのせいで…

心配するな
俺が事情を
説明するから

どうでしょうね
神職はそういうことに
対して厳しいわよ

ふぁあー
何か用?

ごめんね
もうすぐ寝る時間なの

カイゼルの聖女・メアリー

Jashinkankin
Harem de
Isekai seifuku!
volume ONE

邪神監禁ハーレムで異世界征服！

Vol.1

第4話

今日はもう寝るの
用があるなら またにして
ふぁあ〜
ちょっと待ってくれ カブライアの件がまだ…
こっちまで眠くなってきた…
くぁ…
ん？
カブライア？
あの小さな町？

まぁいいわ
眠たいから
新しい枕が
ほしい気分だわ
一緒に寝ない？
ギュ
ダメ〜〜〜
ご主人様はあたしのもの〜
ぐいっ

ひゃあ

いたた…

ふぁぁ

う〜ん柔らかくて気持ちいいわ〜

もみもみ

あっ！

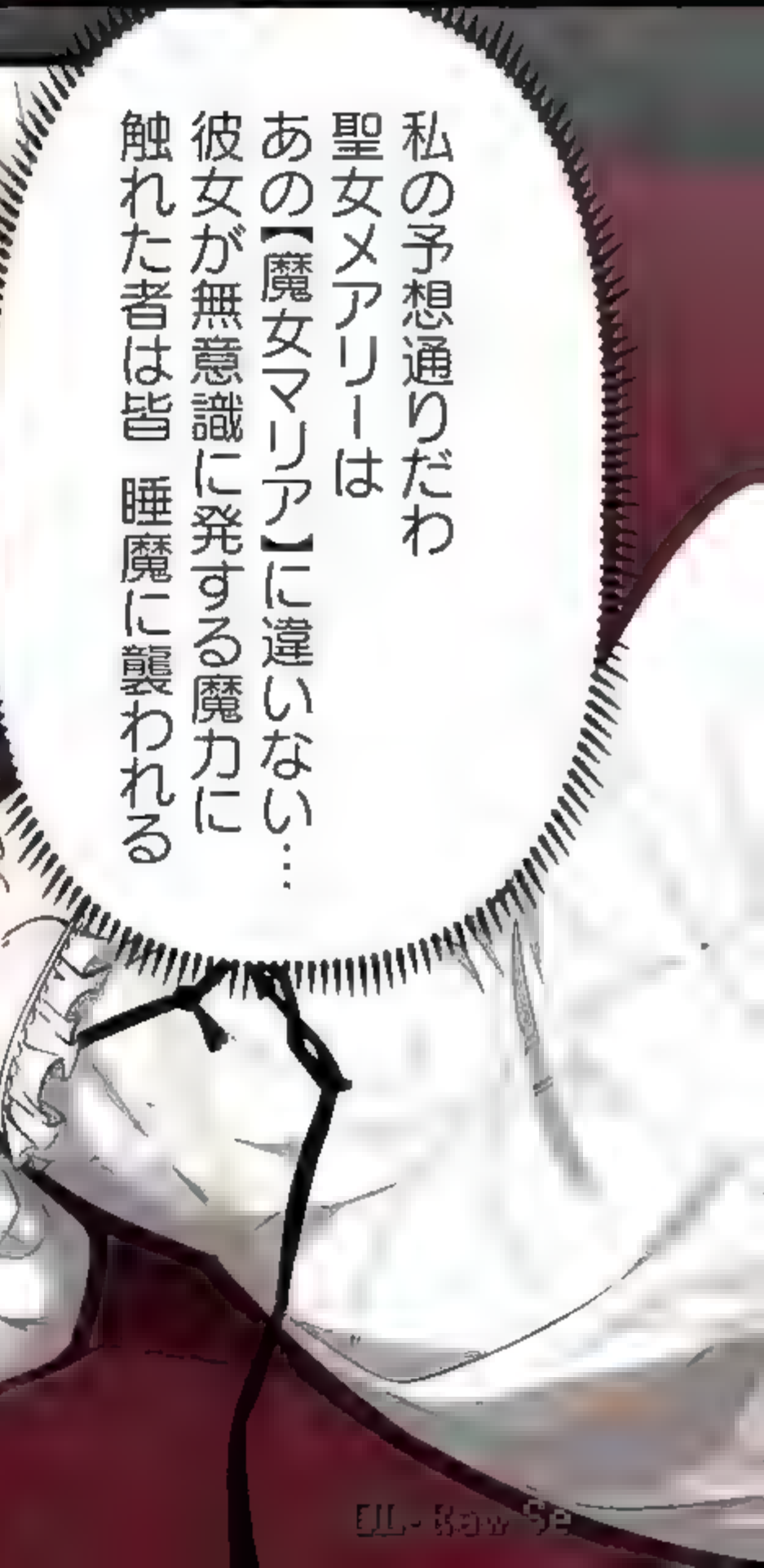
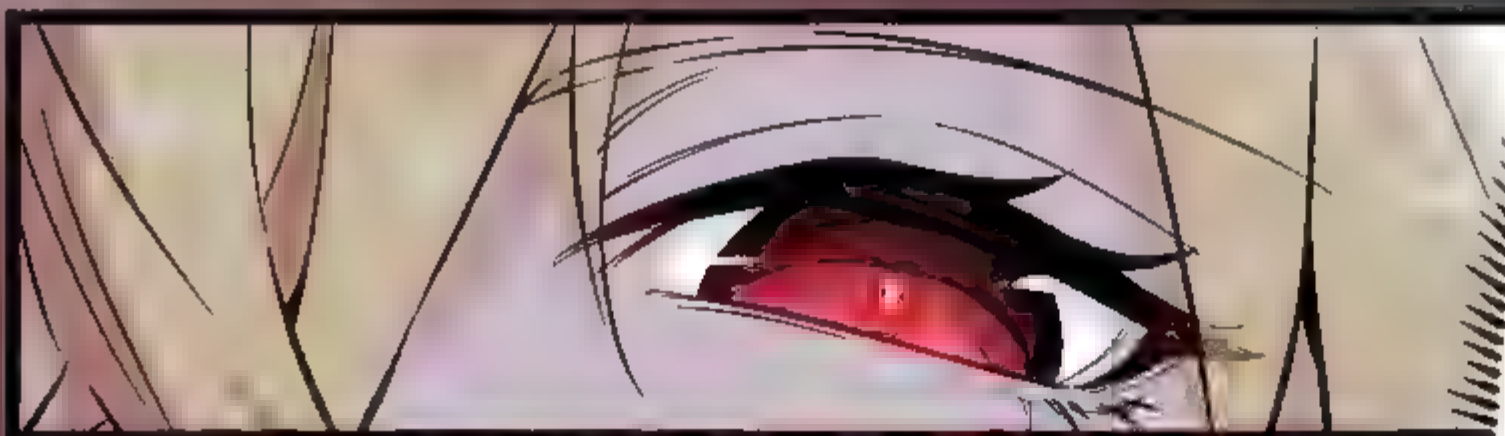
ガクッ

こんなところで…
眠るわけには…

ZZZ

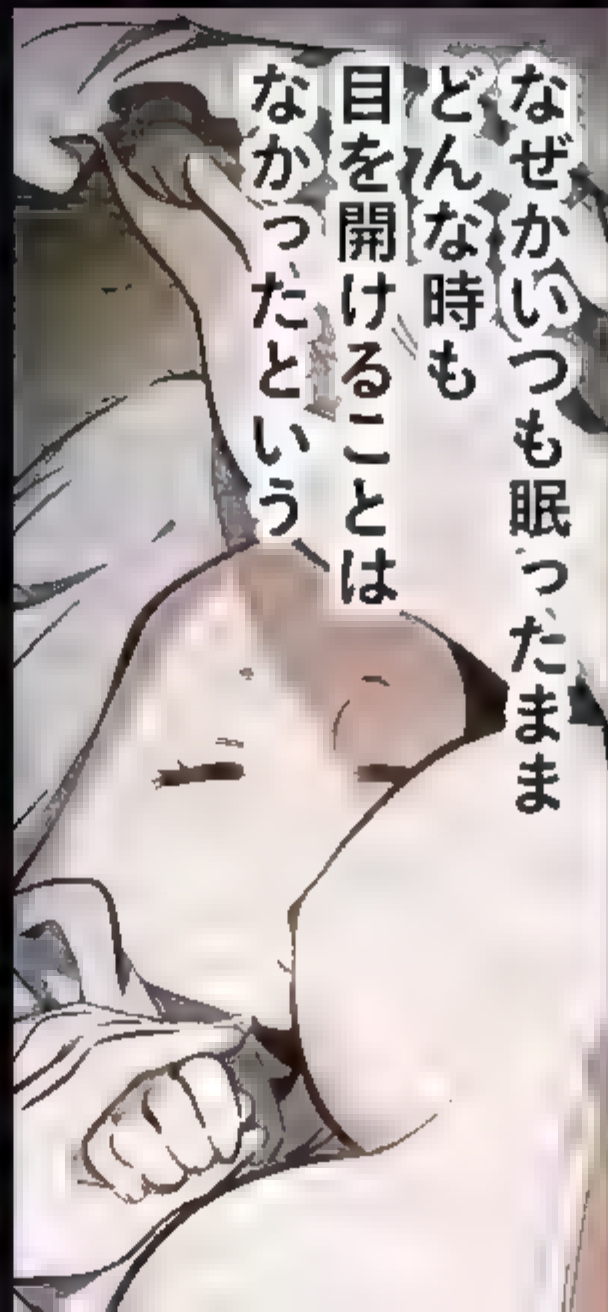
いいのよ…おいで…

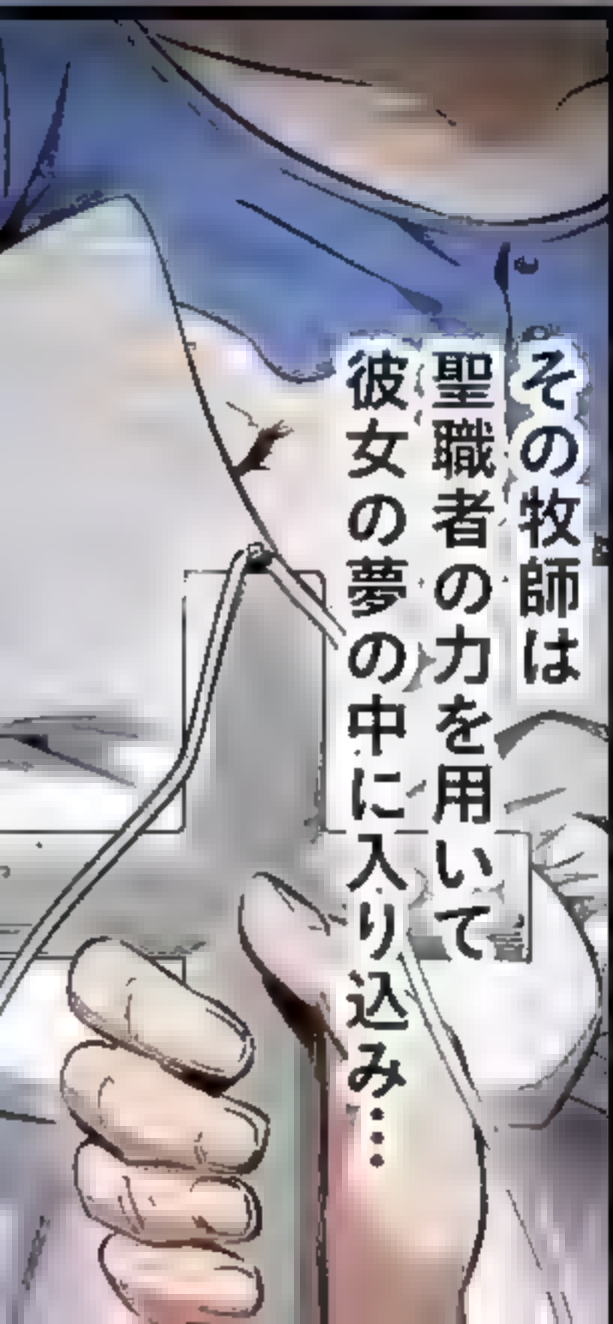
私の予想通りだわ
聖女メアリーは
あの【魔女マリア】に違いない…
彼女が無意識に発する魔力に
触れた者は皆 睡魔に襲われる

表面上は
教会の聖女ということに
なっているけど

ゴゴゴゴゴ

実際はこの聖堂に
囚われた身だ

十六年前
マリアという名の子が
産まれた

なぜかいつも眠ったまま
どんな時も
目を開けることは
なかったという

両親は村にやって来た
牧師に助けを求め

その牧師は
聖職者の力を用いて
彼女の夢の中に入り込み…

そんなマリアのことを
危険だと判断したある邪神が
彼女を監禁するために
【カイゼル大聖堂】を建立した

そして ついに
彼女を呼び覚ました

しかし そのとたん
村中のすべての生き物が
深い眠りに落ちたのだ

何も知らないカイゼルの民は
突如現れた
大聖堂とマリアを見て
彼女を神の子だと信じ
【聖女メアリー】として崇めた

邪神によって
真の力は封印されている
みたいね

ユウヤ
ここでお別れよ

ズァッ

ダッ

これでもくらいなさい！
マリアが目を覚ました瞬間が
あなた達の最期になるわ！

ぐいっ

バイン

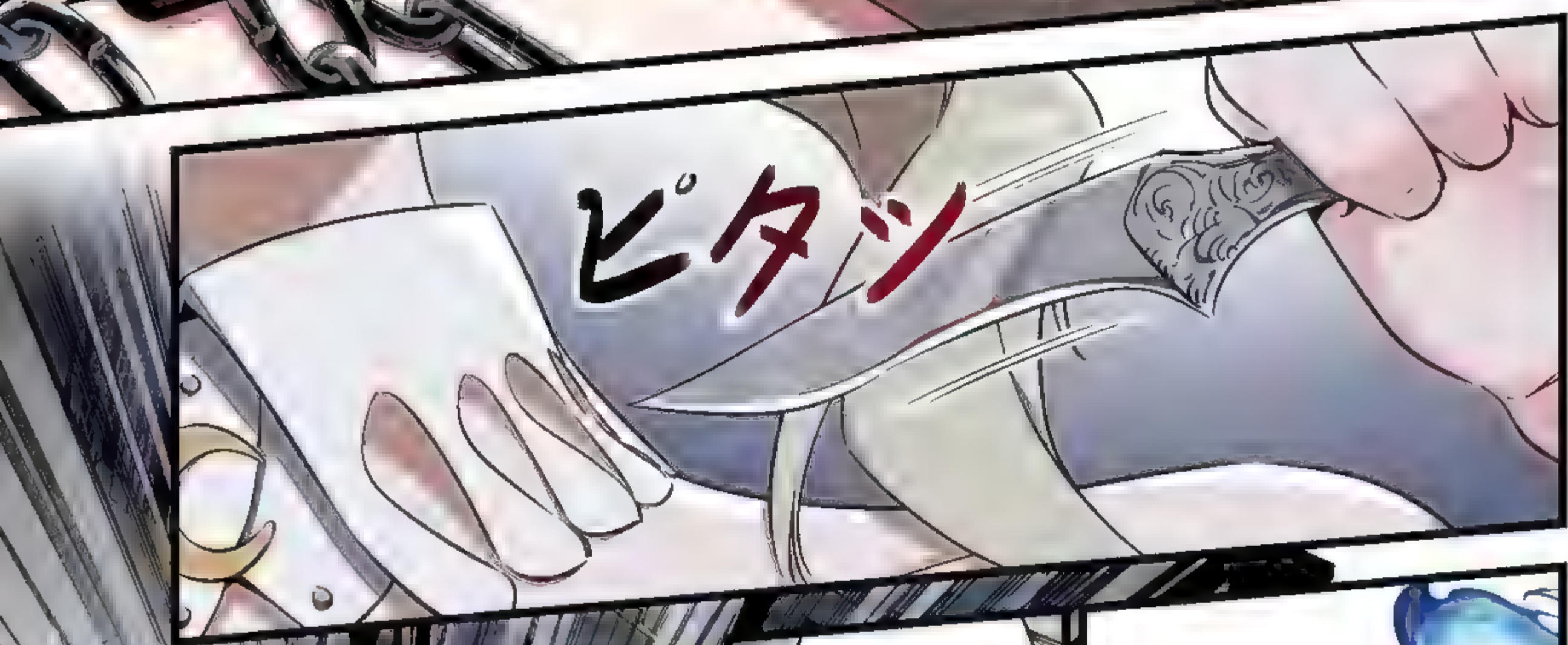
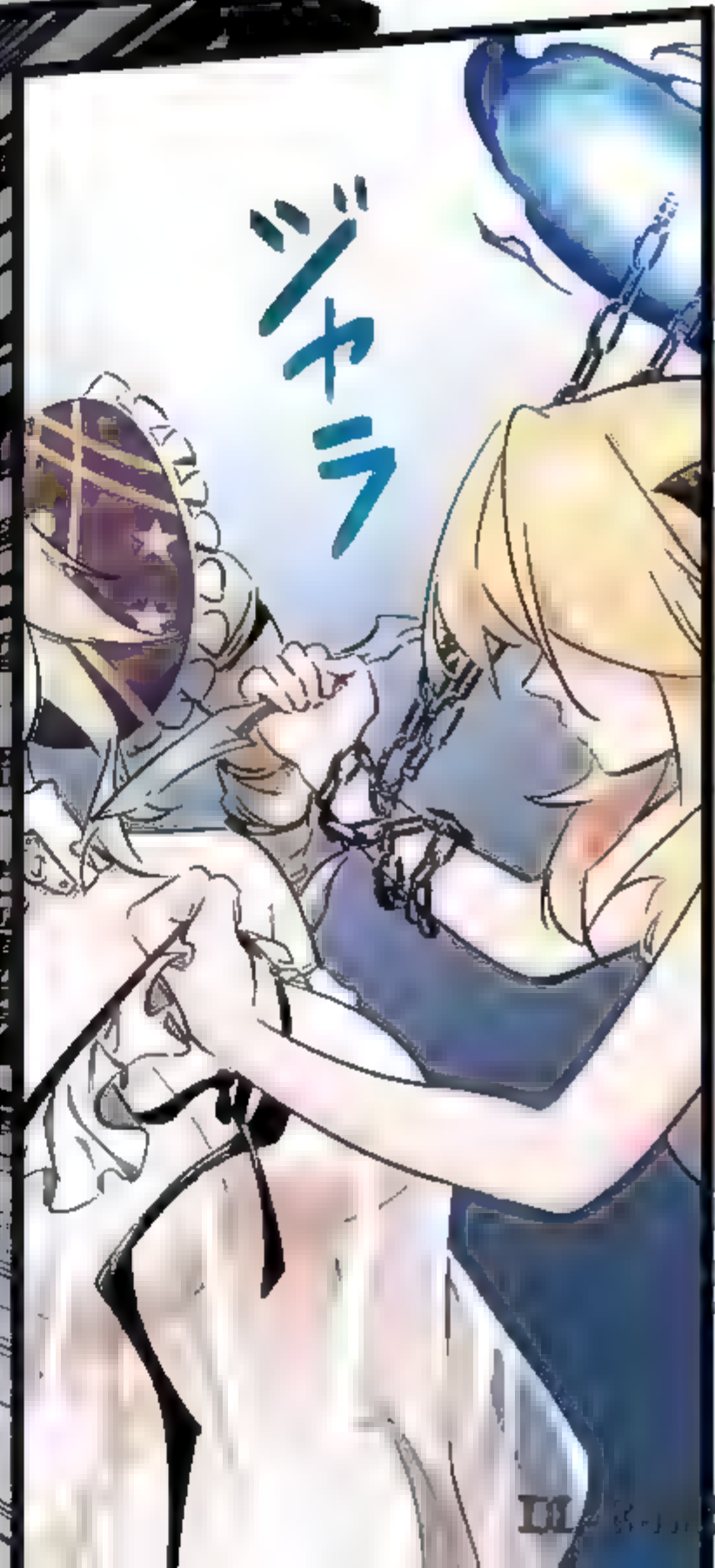
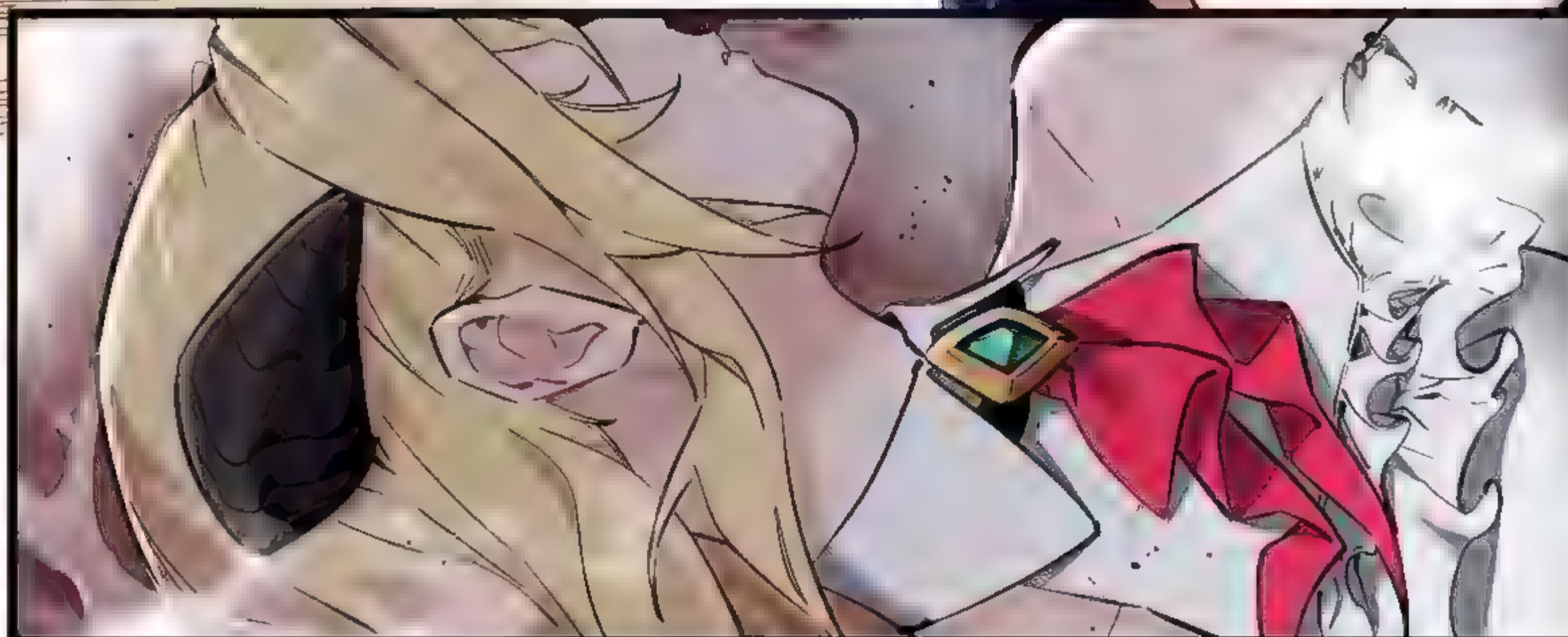
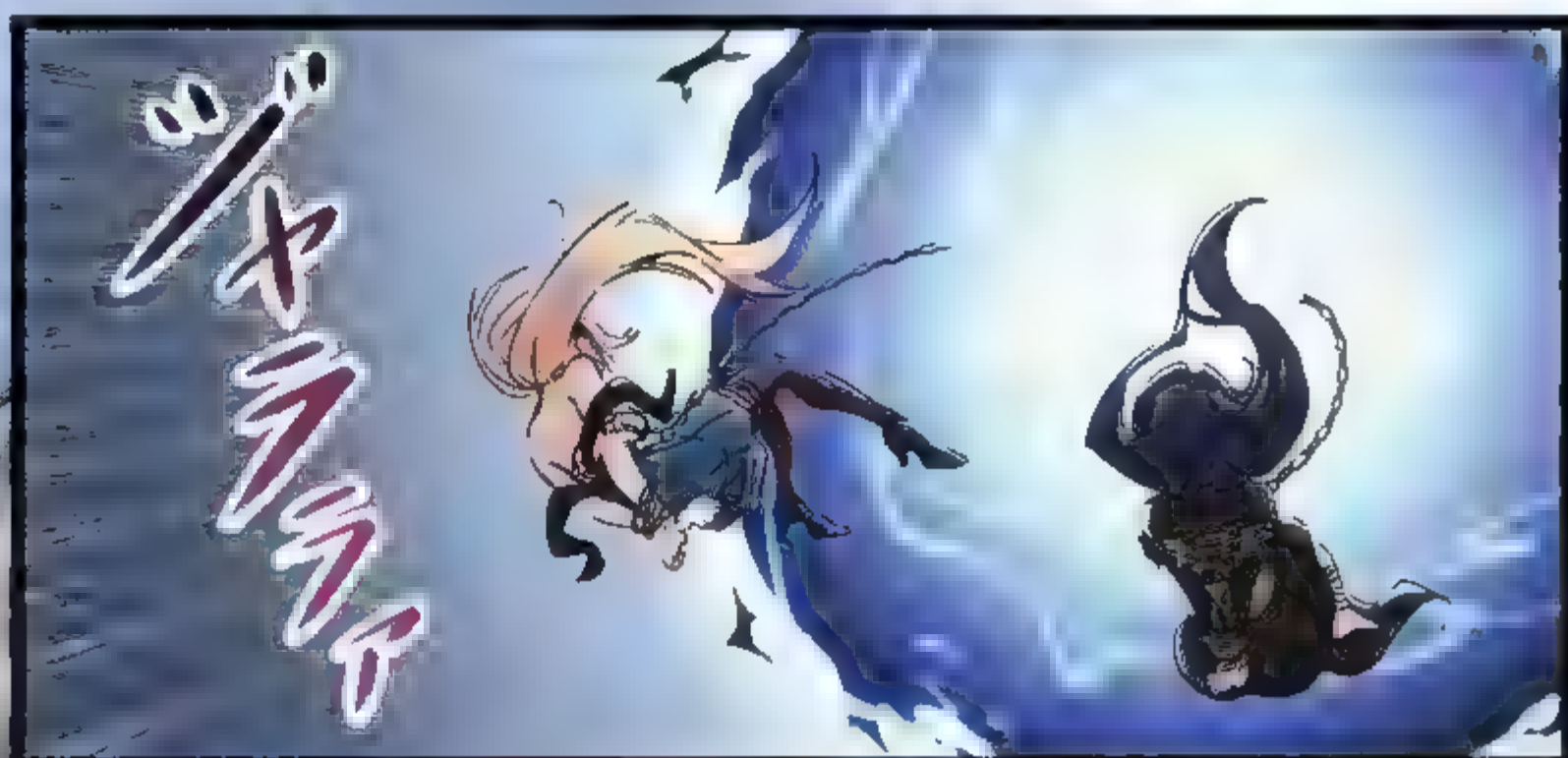
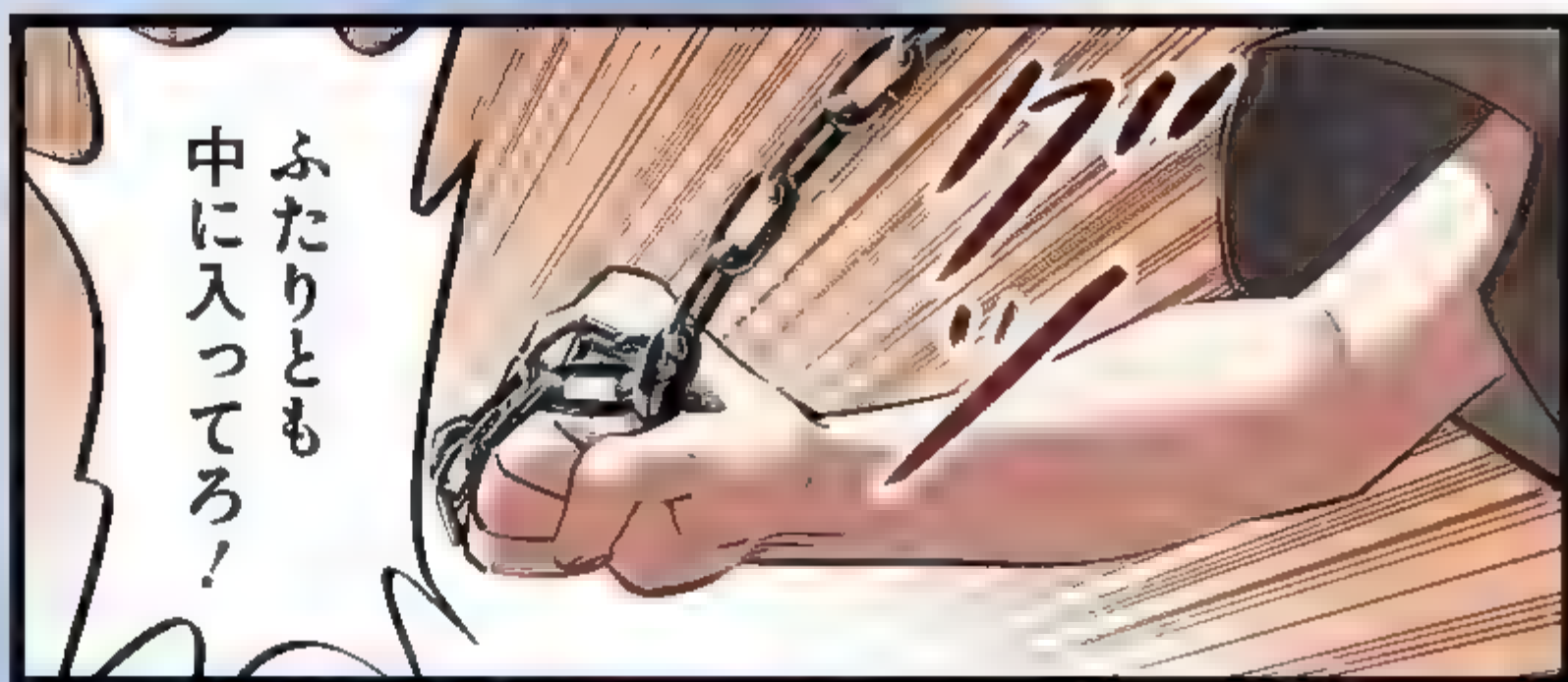
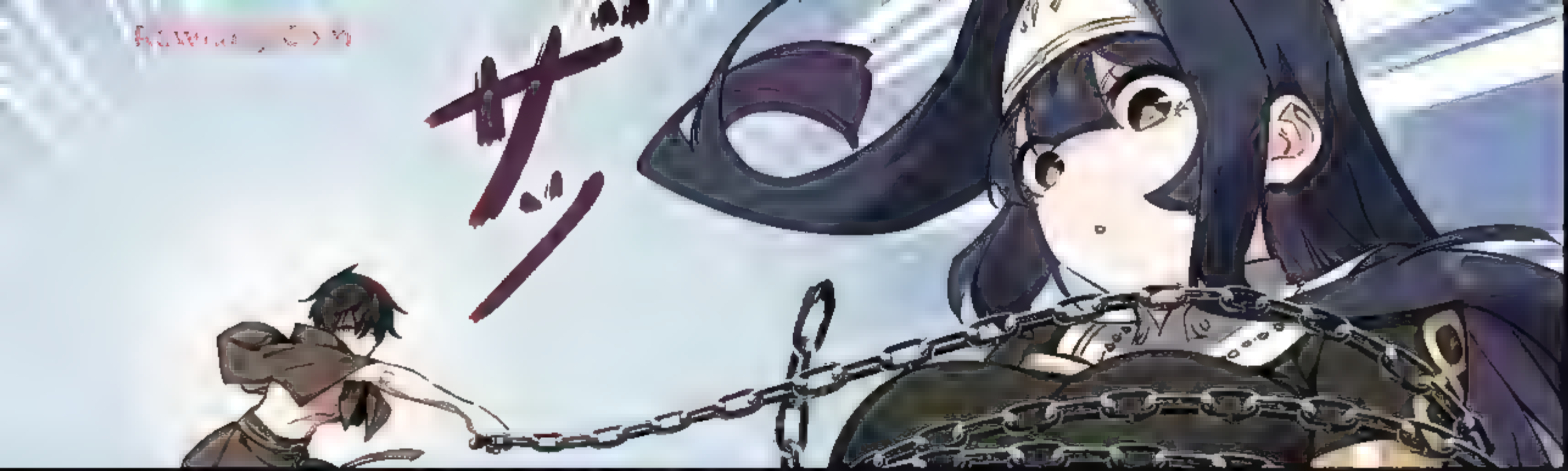
リヴ
何をしている!

ザッ

さぁね!!

やめろ！
ジャラララァ
ピタッ
ジャラ
もう遅いわ
ユウヤ
ボワァァァァ

こっちに来い！
ぐいっ
ジャラ
どうしたの？
ご主人様——

ザッ
グッ
ふたりとも中に入ってろ！
ズズズ…
何があったの!?
ジャラララ
ドサッ
ドサッ

リヴ…なぜ
聖女を攻撃した？

余計なことを…

なんとか誤解を
解かなければ…

しかしなんなんだ
この異常な眠気は…

聖女の力なのか？

ジャラァ

まずは聖女を捜さなければ…！

ガラッ

つかまえた！

くっ…なんて力だ…！
カブライア領主以上に
手ごわい…!?

グググッ

ギギッ
ギギッ

ダメだ…
こっちから
近づくしかないか

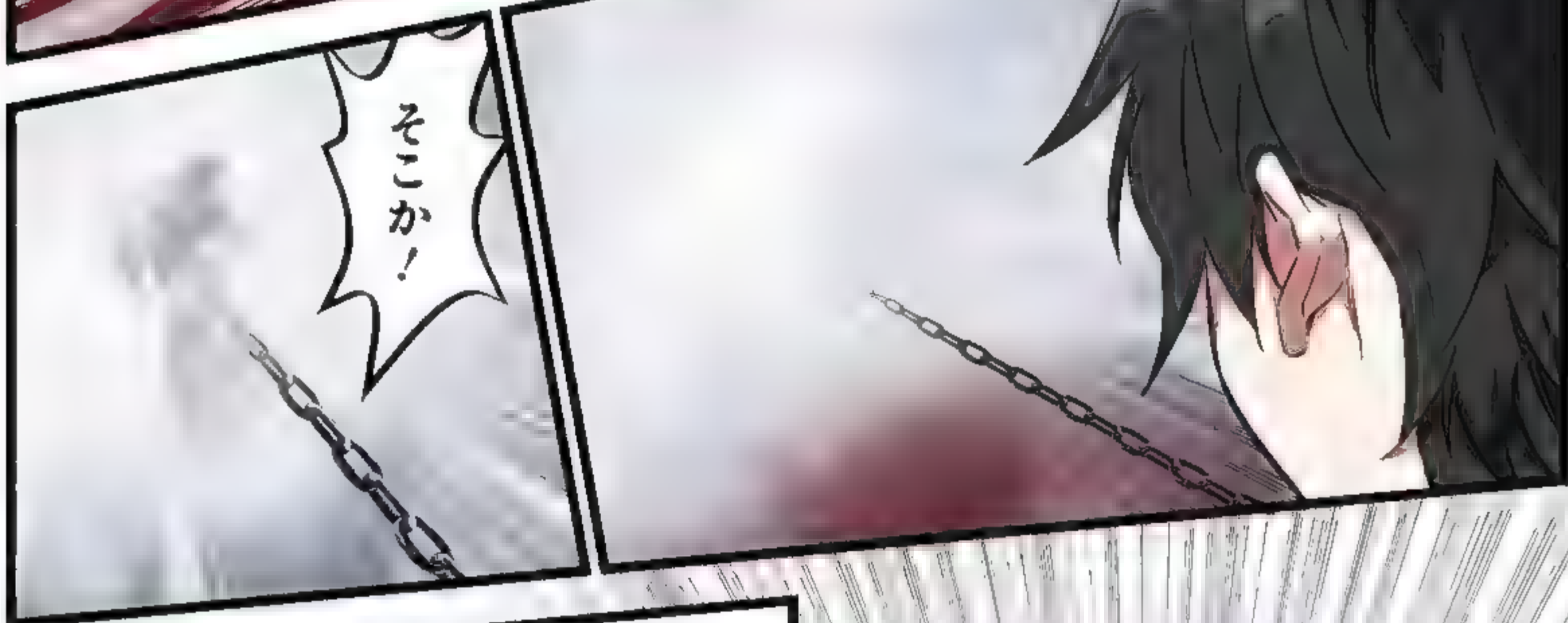
行くぞ！

そこか！

ダッ

私の眠りを妨げるとは…
いい度胸だわ

ズズッ

ズズッ

なんて殺気だ…

まともに話せる状態じゃなさそうだな

絶対に許さない…

私に向けたその敵意すべて眠気に変えて黙らせてやるわ！

ゴオオ

ここから出して！
そばに居させて！

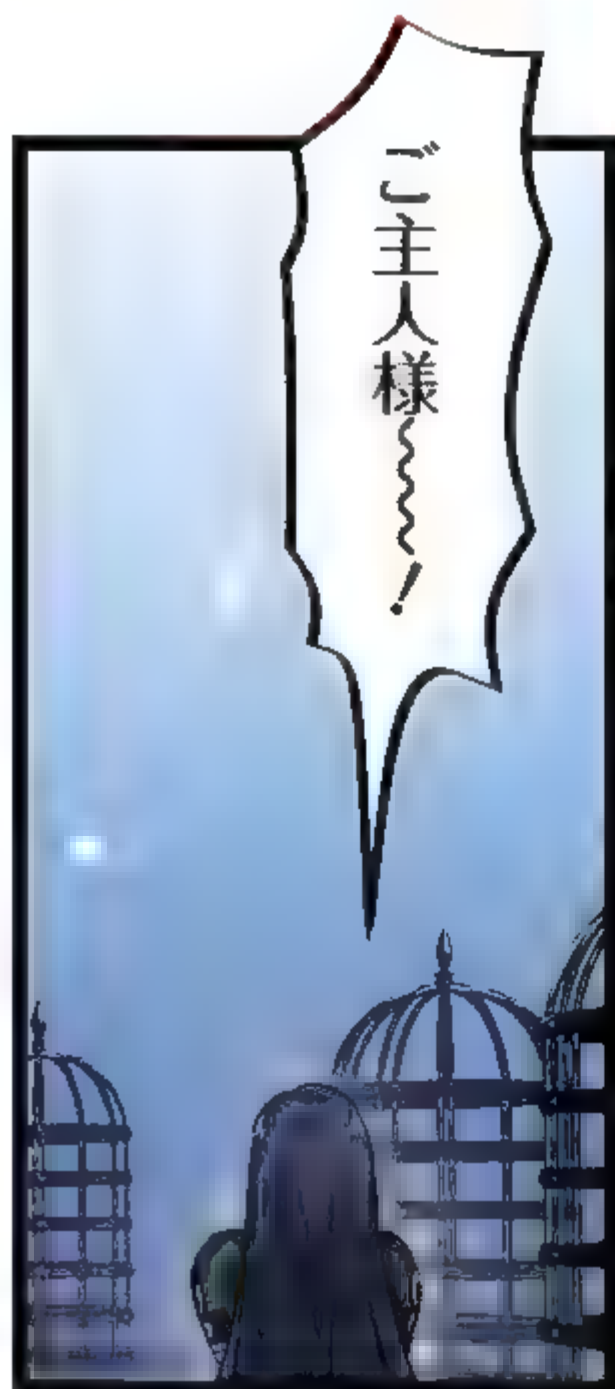
ご主人様〜〜〜！

うるさいわね

ただの人間のあいつは
寝てしまえば最後…
私達は自由になれるのよ

ご主人様を
殺すつもり!?

やっぱりあなたは
殺しておくべきだった！

ズズッ

ふんっ
できるものなら
やってみなさい

誰!?

悪いことをして…
いけない子ね

この空間にいるってことは
もしかして
鎖に憑いていた…

くっ

ぐっ
あなた…どうして⁉
人間と遊ぶのはもう飽きてしまったの？
なんのこと⁉
真の名前を隠された聖女あれは邪神が人類を滅ぼすために用意したものよ
元半神のリヴ…あなたはとんでもないものを解き放ってしまったわ

そんな！彼女は夢の神の呪いを受けたただの妖異のはずじゃ…
キィン…
ただの妖異にこれほどの力があるかしら？
オ゛オオオオ
ご主人様!?
鎖と触手の力を同時に使っているのに…

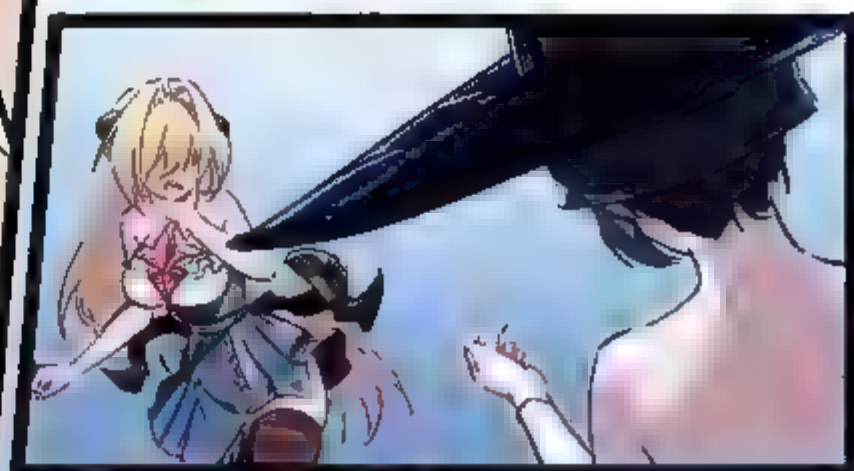
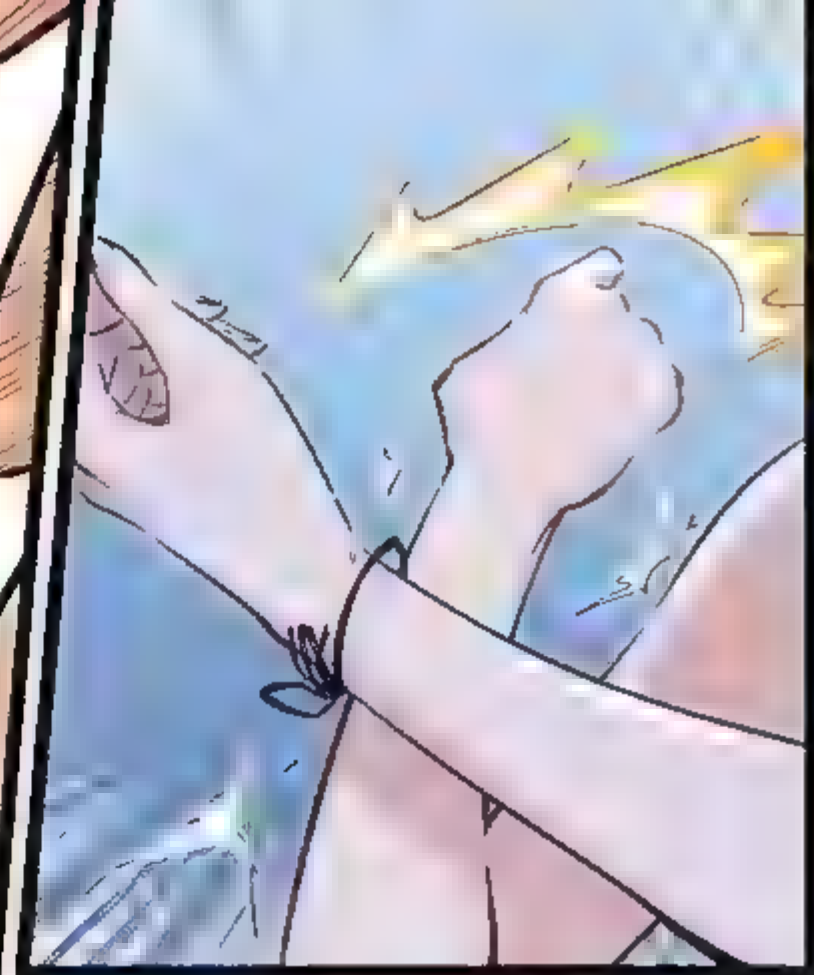
はあ
くそっ…
早く監禁しないと…
はあ

邪神が彼女の
真の名を口にする時
聖堂の封印は解除され
全人類は眠りに
落ちて滅ぶでしょう
それがあなたの願いかしら？

ぐっ

信じないわよ！
どうせユウヤを
助けるための
嘘でしょう⁉

賭けでもしましょうか？
もっとも　ユウヤが死んだら
彼女を封印できる者など
どこにもいないでしょうけど

冗談は止めてちょうだい！
ユウヤは
私の玩具なのよ…

ちょっと力を
もらったからって
英雄にでもなったつもり？

触手の小娘
行くわよ

ダダダダ

人の玩具に触らないでくれる!?

ボォオオオッ

生まれてから一度も聖堂の外を見たことのない哀れな小鳥！
ゴォオ
封印を解いたら自由になれるの？
夢の中で感じた喜びは真実だと言うの？
空間嵐撃！
バッ

ひどい！
突然何するの!?

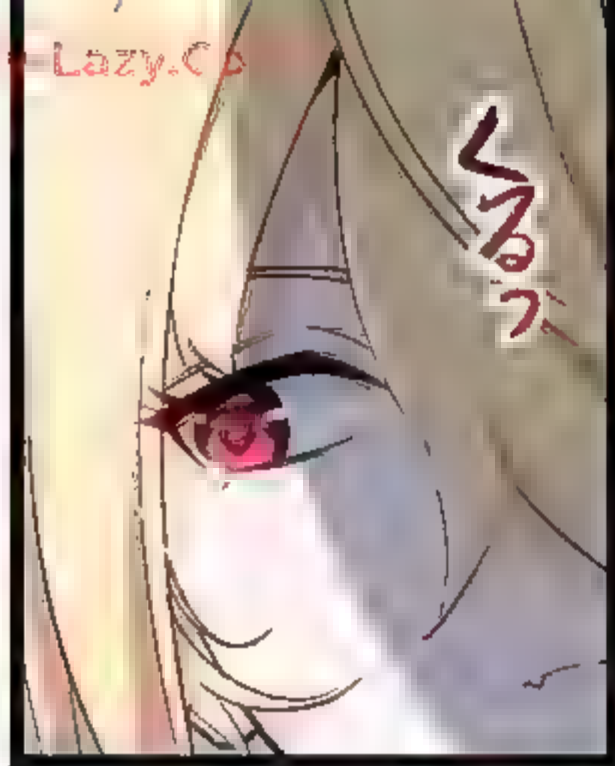
これから
もっとひどいことを
されるのよ

起きなさい
あんたの出番よ

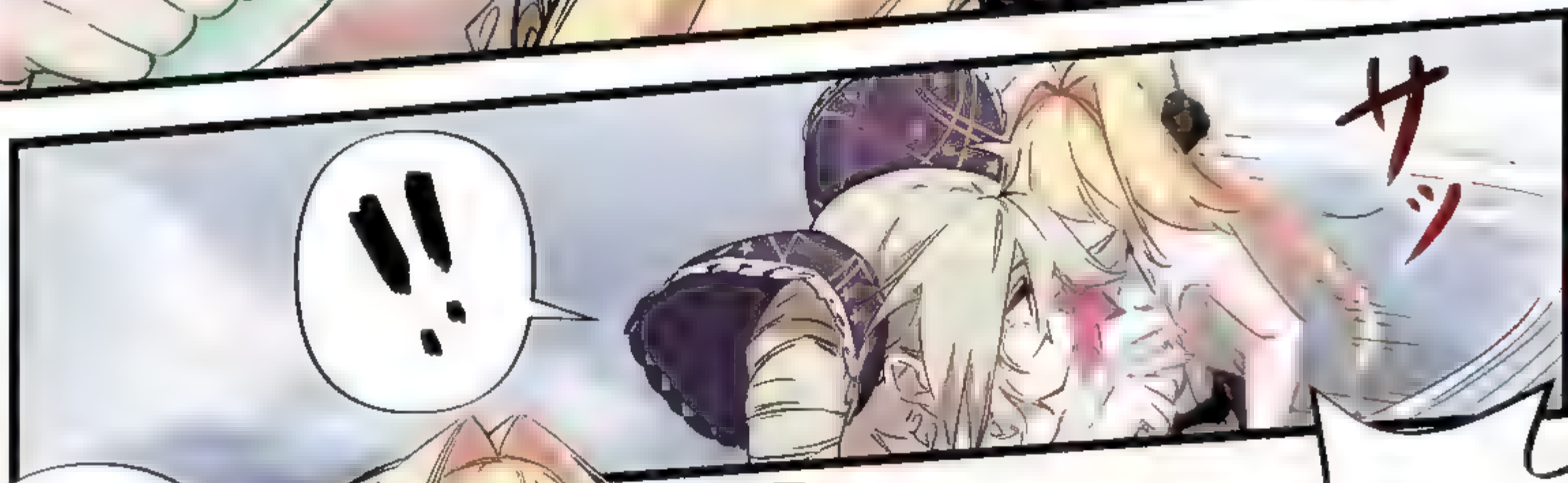
バシッ

くるっ

サッ

ぐいっ

サリー ご主人様は
まだ半分夢の中みたいよ
手伝いなさい

クパァ

クパァ

ボッ
いやだ！
今すぐ眠りにつきなさい！
サッ
!!
どうして⁉
力が効かないなんて…
あなたの能力…
敵意を眠気に
変換するんだっけ？
イイことを
しようとしている
だけだもの
そりゃ効かないわ

ご主人様とするの
すっごく気持ちいいよ
やってみて

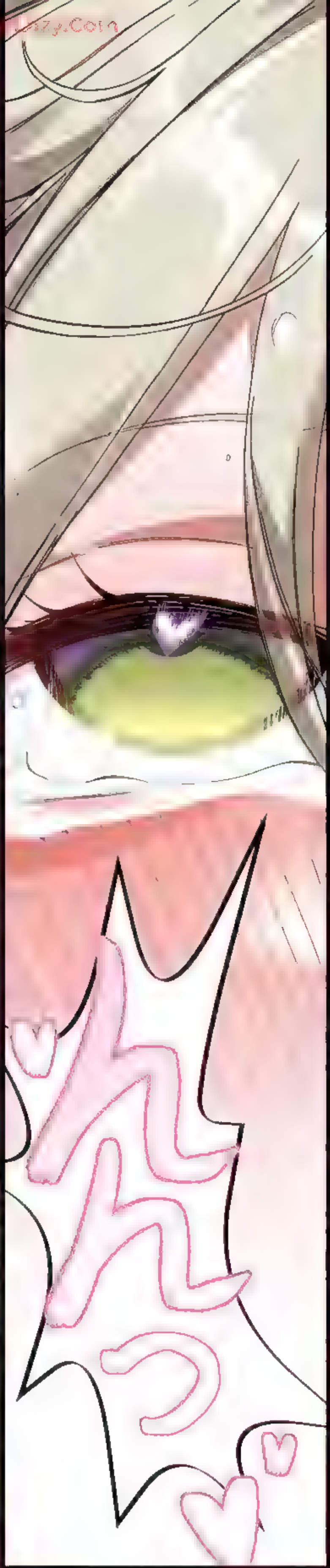
ふざけてる場合じゃない
早く封印を…

はぁい！
早速準備しますね

ボロン

今回は特別にご主人様を貸してあげる
はぁ
ドロッ♥
何…!? やめて…!!
ぐいっ
ぐっ
たっぷり味わいなさい！

んんっ♡♡

ぐぽっ

あれぇ？
もう馴染んだの？
気持ちよさそうじゃない

そんな…こと…

そう？
自分が何してるか
気づいてないの？

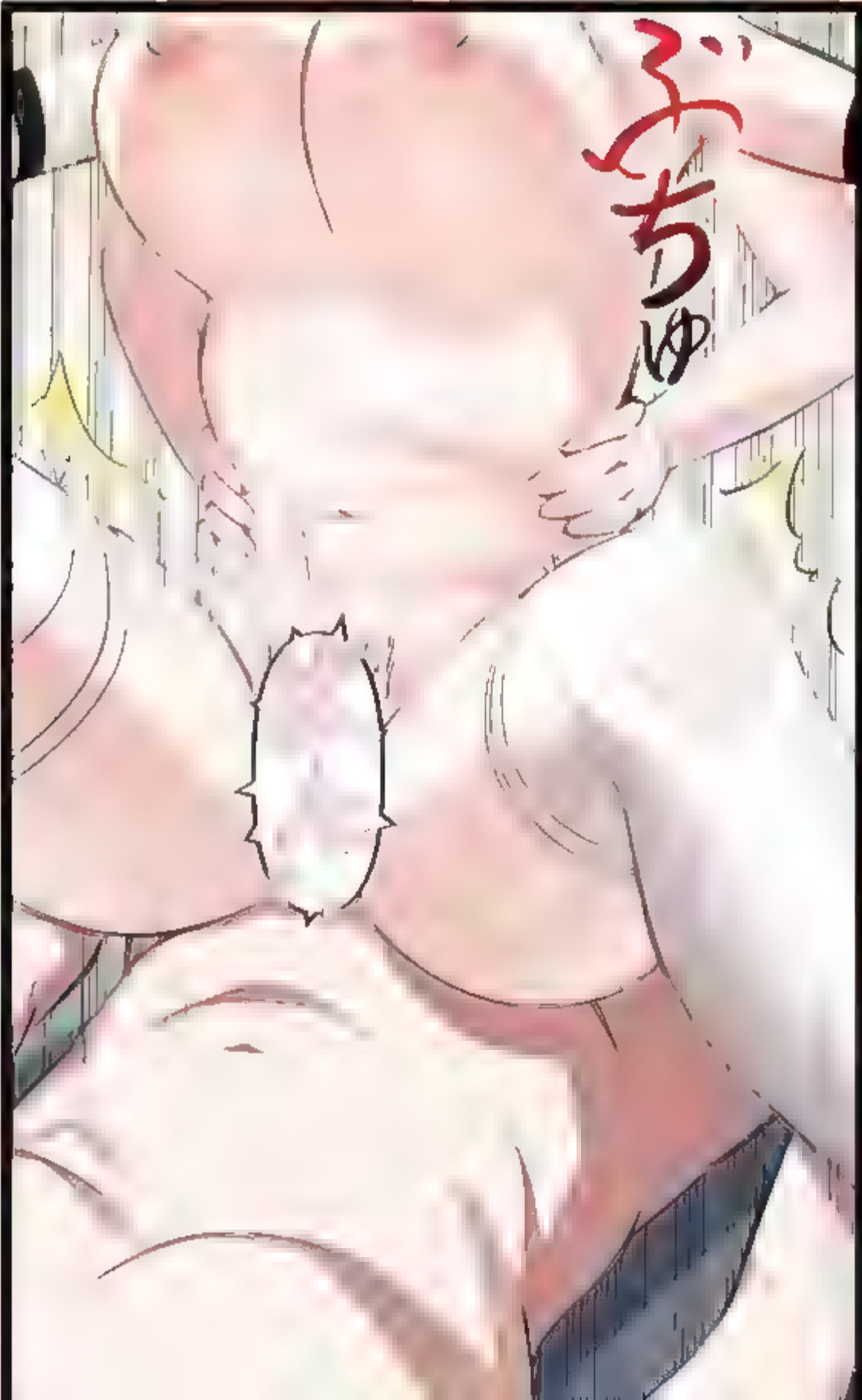
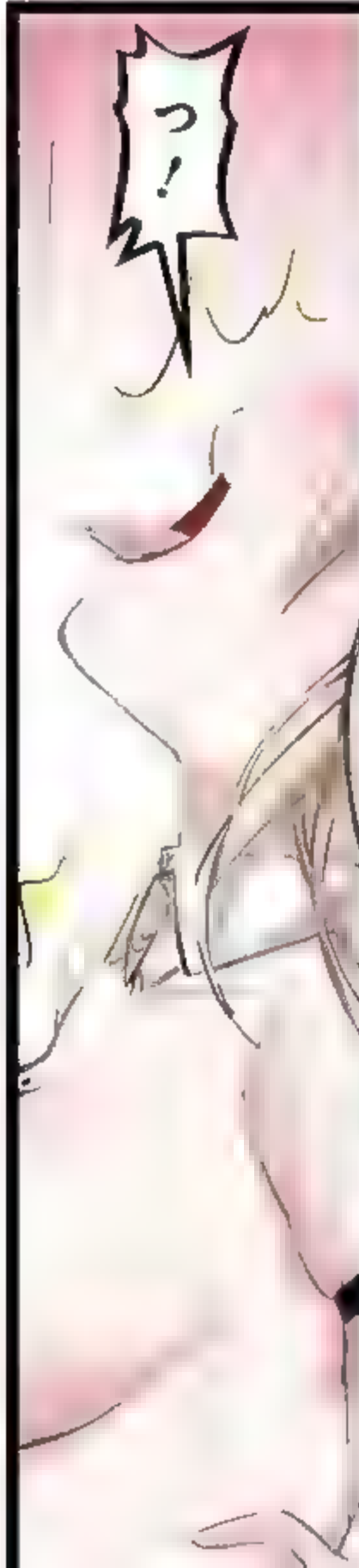
さっきから
腰が動いてるわよ

ぷちゅ

ぐちゅ

ゆさっ

ぶちゅ ぶちゅ
ぐぷっ
んあ！ そこっ
んんっ
クスクス
ぐぷっ
体が熱くなってるでしょ
これが快楽の味よ
ご苦労…だが
まだ監禁の条件が
揃っていない
もっと早くする？
サリー！協力して！
触手を出すのよ！
さすがリヴだ…
あとでお礼をしないとな

ギュウッ！
ヌルッ
お礼のことは監禁できてからにしてちょうだい！
むにっ
ぐいっ
後ろから掴まれてピストンされる気分はどう？

ああああああああん!
ぱん♥
ぶちゅ
っ!

ぱん

お腹が…溶けちゃう――

パアン！

パアン！

パアン！

パアン…

激しい…！ご主人様壊れちゃう！

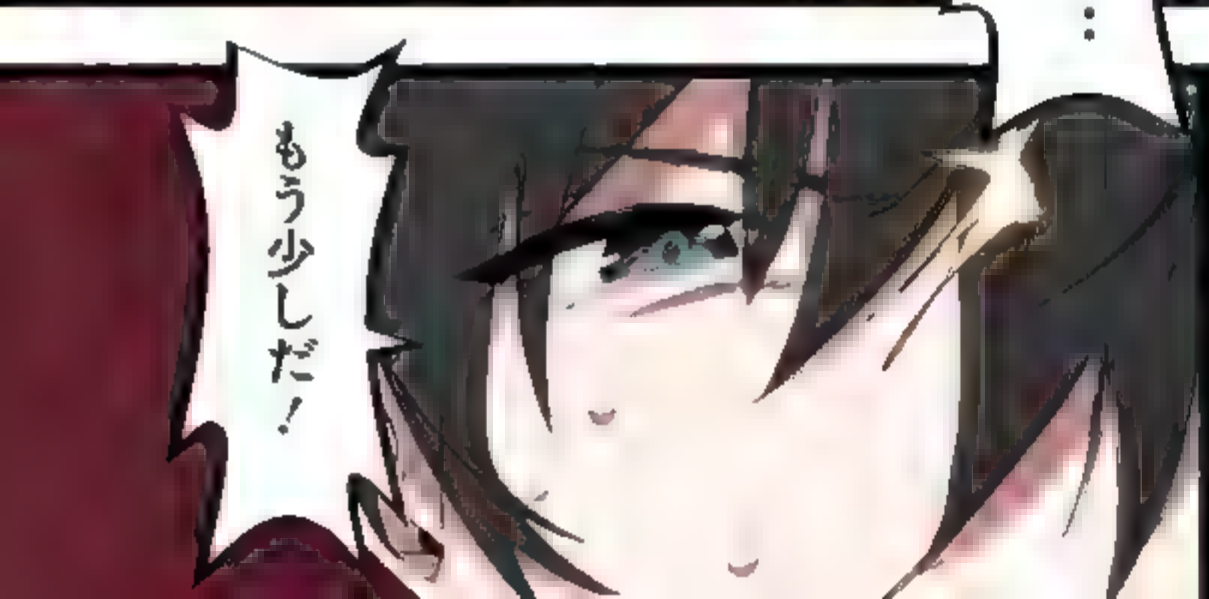
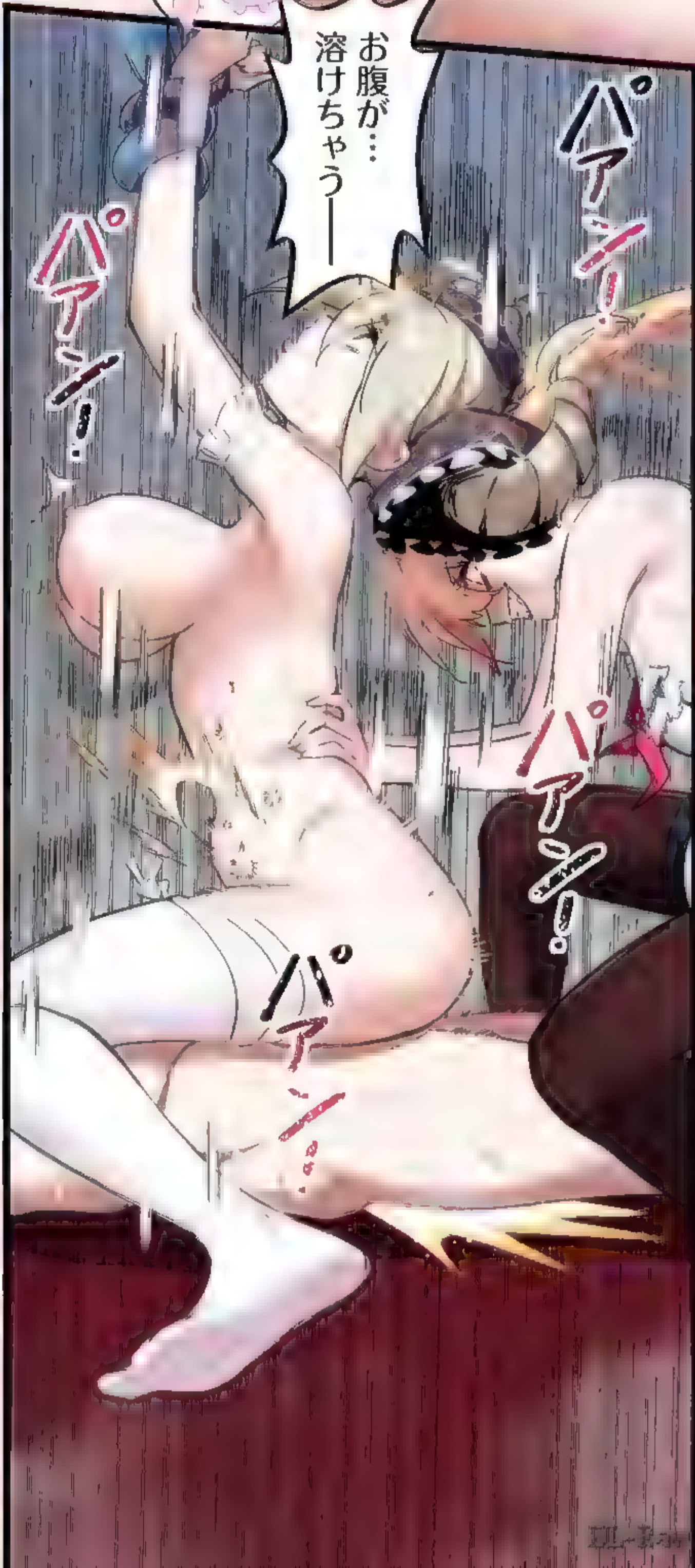
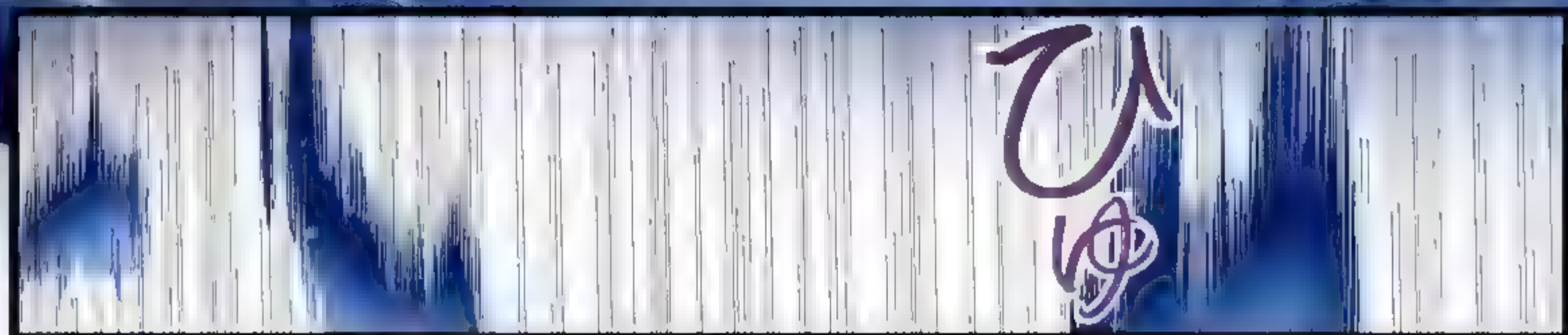
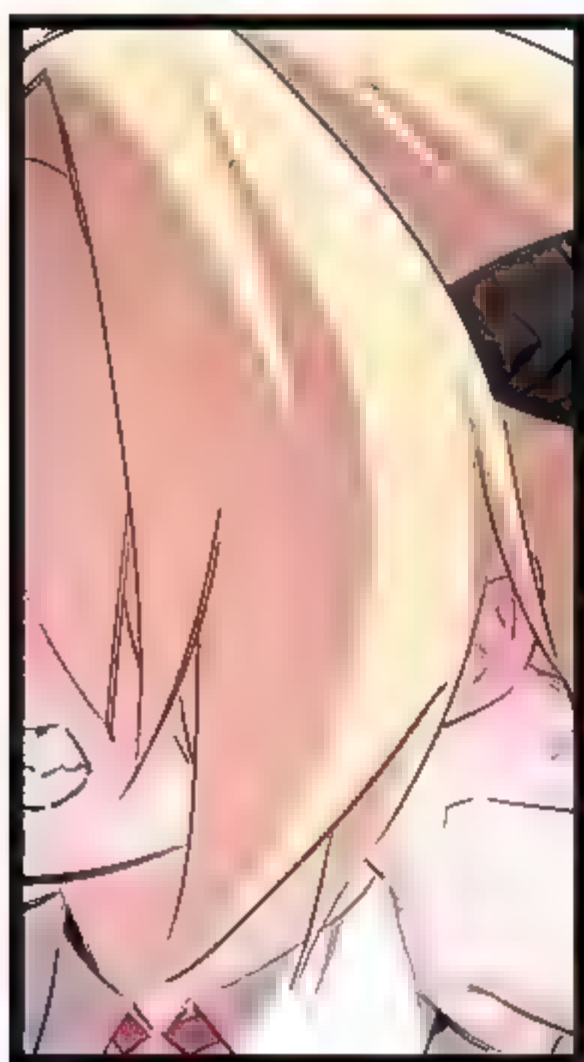
あわわわ

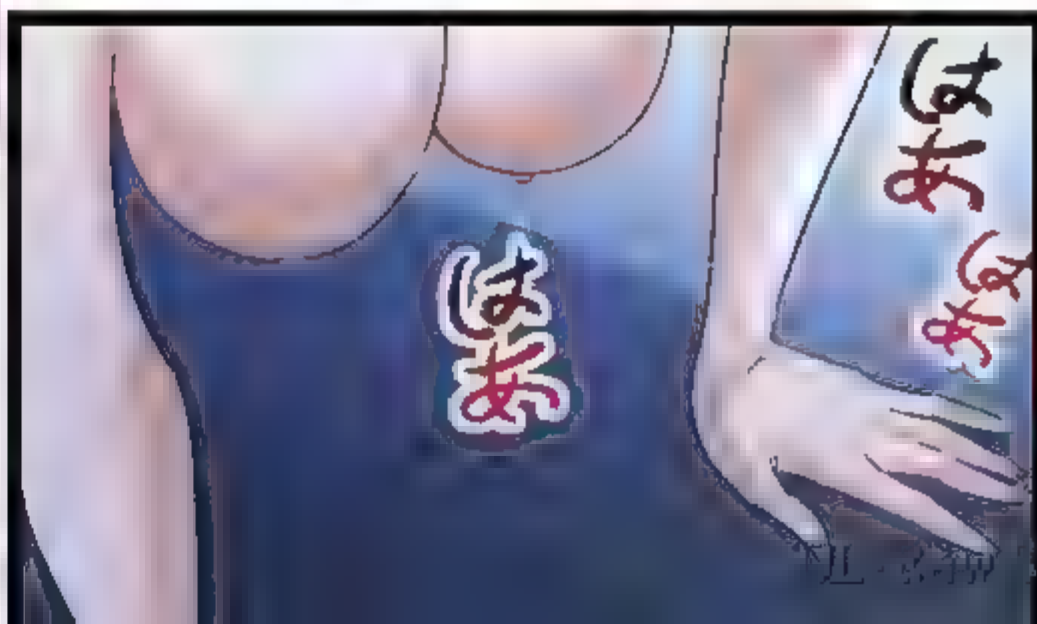
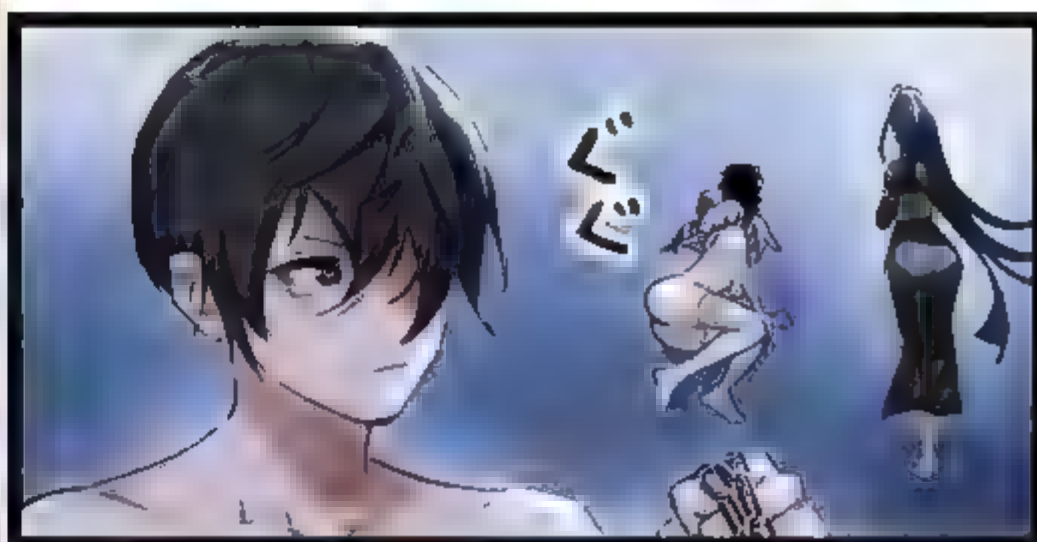
んああ！い…イク!!!

もう少しだ！

ああああんーー!!
ああん♥
はぁあぁ♥
じゅぽじゅぽぐぷっ♥
ぐぷぐぷぐぷっ

今だ！監獄空間へ！
ゴォオオオオ
くっ！
ひゅ

ぴくっぴくっ
ぴくっぴくっ
監禁完了！
うっ…
今回ばかりは私のおかげね！
すごい！
かはっかはっ
ぴくっ
スッ
さっきのこと説明してもらおうか
説明!? 何を!?
プイ

まぁいい…
今回の功績に免じて
許してやろう
生意気なヤツ！
何様のつもりよ！
ガッ
ガブ
ズ…

降ろしなさい！このっ！きゃあ！
バシッ
あなたを殺す方法はいくらでもあるのよ！
あ…うぅ…
怖いのが…来る…！
ああああ
ぐぐ
はあ はあ
はあ

Jashinkankin
Harem de
Isekai seifuku!
volume ONE

邪神監禁ハーレムで異世界征服！

Vol. 1

第5話

助けて!!!!
あの人が来る!!

ドサッ

怖がらないで
ご主人様の監獄空間は
誰も勝手に入れないわ

誰？

ドテッ

急に慌てだしたぞ
一体なんだ？

それはどうかしら

バリッ
バリッ
見て！あそこ！外から強い衝撃がっ！
ドオオオ
オオ

ゴォオオ

ドーン

私の子ネコちゃん…
勝手に連れ出したのは
誰？

とにかく逃げるぞ！
お前の空間能力を使う！

無理よ！
あいつ…強すぎる！

ちょっと 帽子女！
何か方法はないの⁉

くるっ

スゥ…

なっ！
消えた⁉

落ち着け！

こうなったら
なんとかして
ヤツを封印するしかない！

はあ？
現実見なさいよ！
絶対皆死ぬわよ！

あらまぁ
かわいい

うふふ…

踏みつけたら
どうなるかしら？

人型を放棄して
深淵の力を解き放てば
なんとか対抗できるはず！

ダッ

グワッ

サリー!!!

ヌル
ヌル
やめて！くすぐったあい！
きゃははは
ゴオ！

こっちよ！
夢の中へ！

クラッ
クラッ
ドサッ

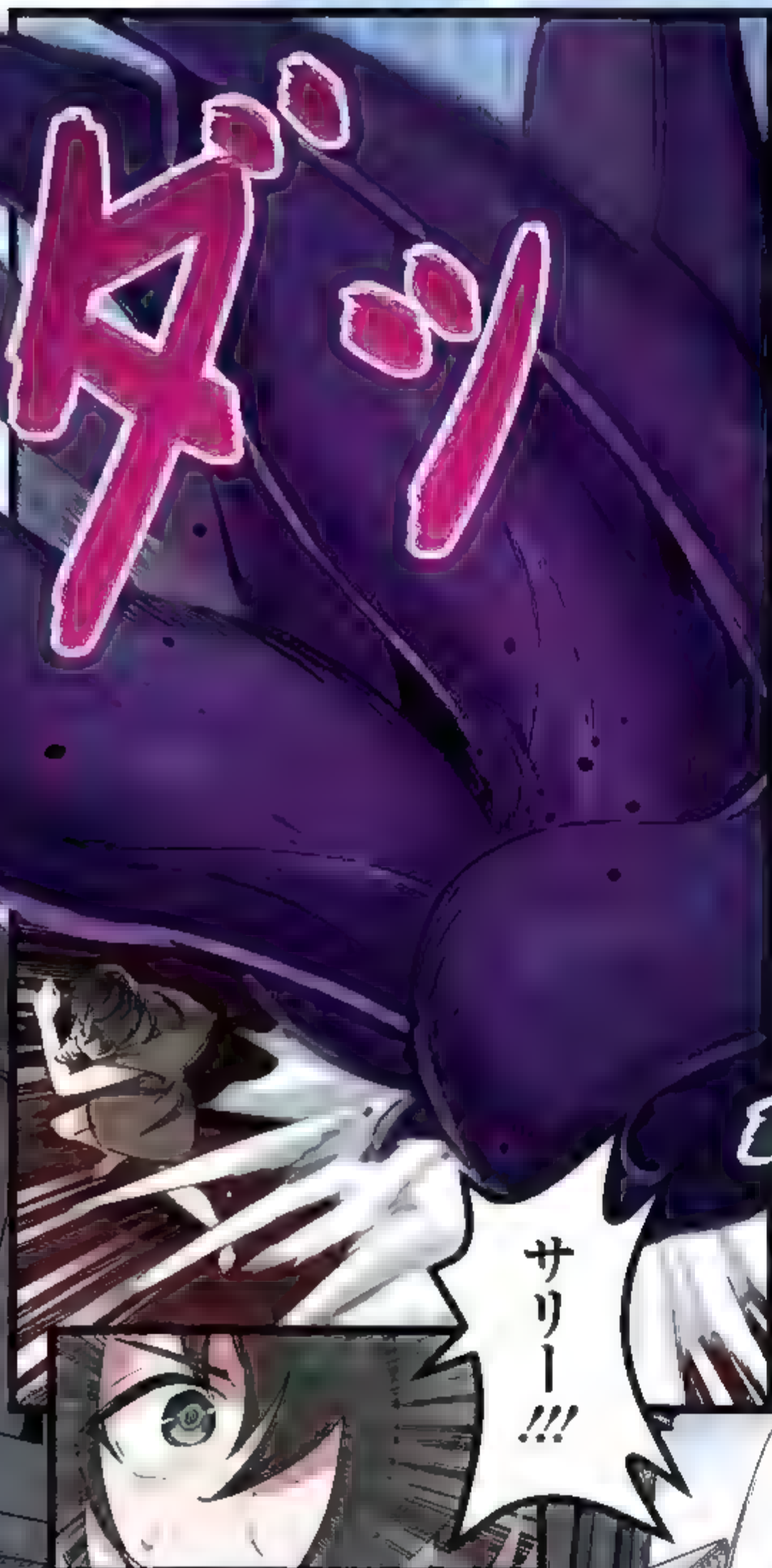
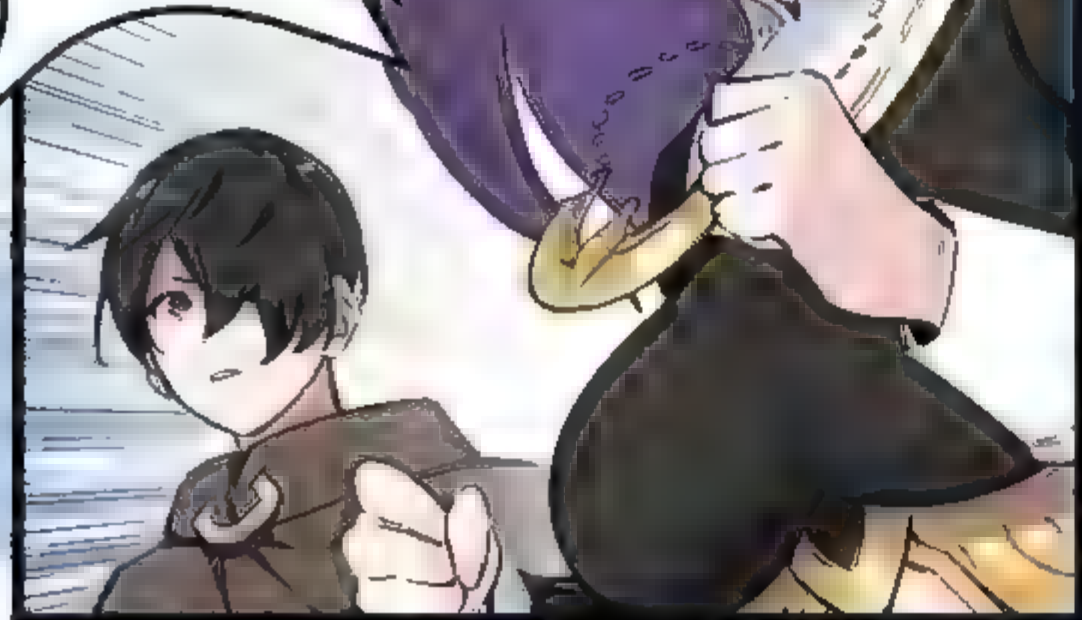
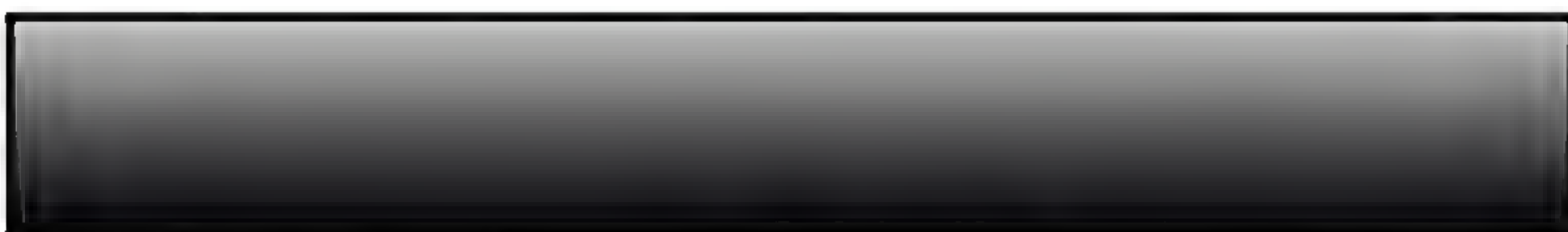
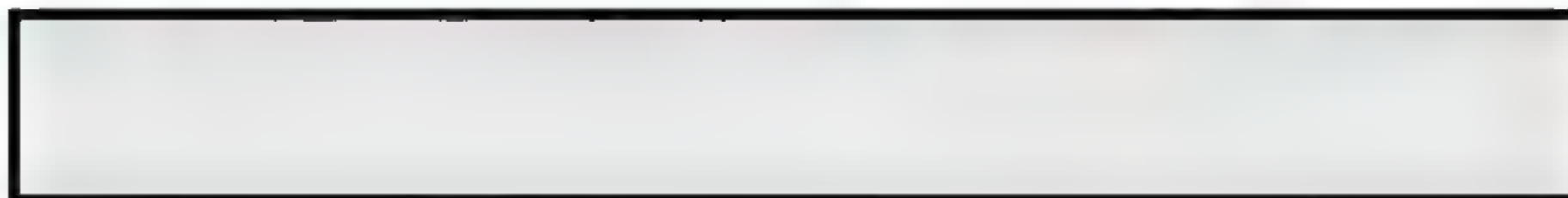
ここは…マリアの夢の中か？

いつも夢に出てくる場所なのだからとっさに…

ここはあなたが生まれた「村」よ

あなたの思いつく場所といえばここか大聖堂くらい…見つかるのも時間の問題ね

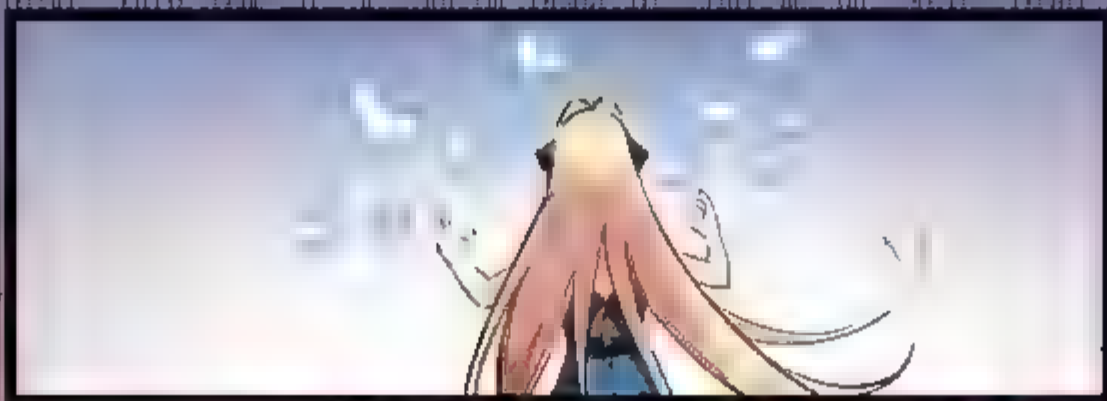
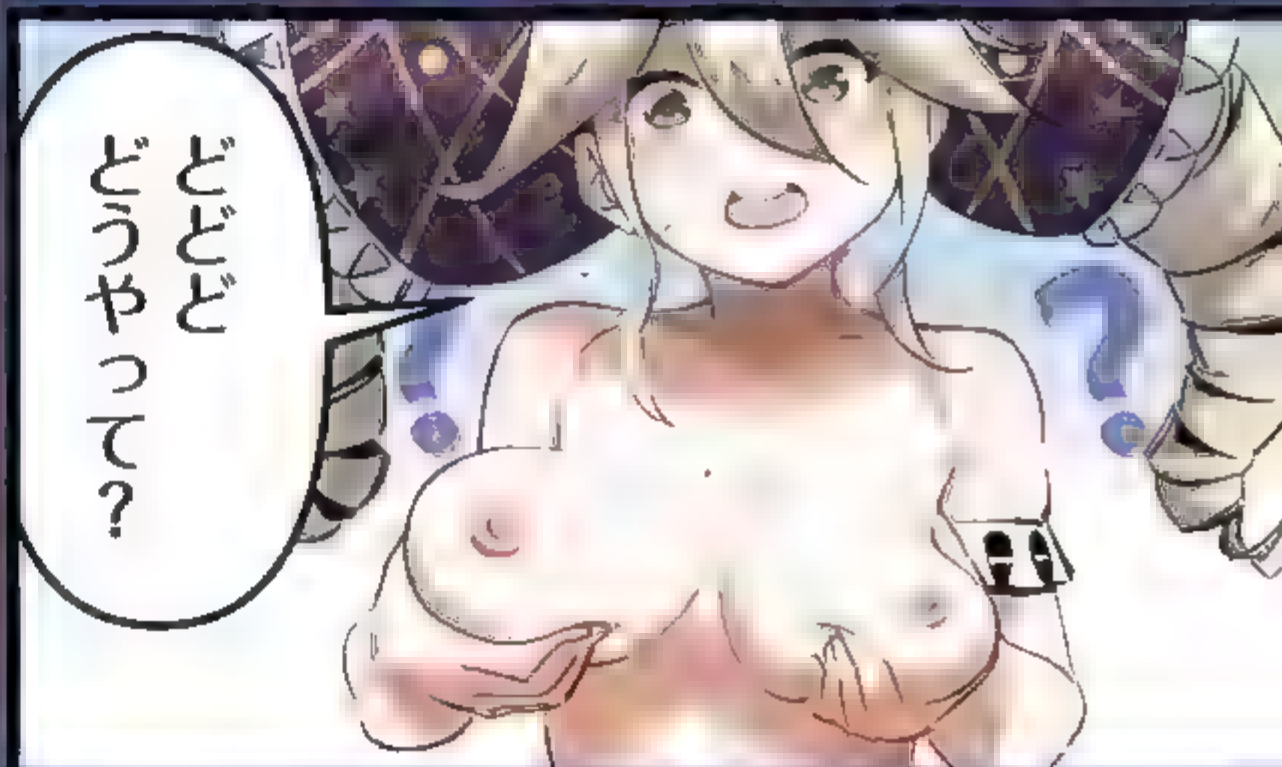
念じただけで花が…

俺にもマリアの「夢を操る」能力が…？

この臆病者!! さっき自分だけ逃げたわね!?

―― あんた強いんでしょ!? なんとかしなさいよ！

あら そもそもこんなことになったのは誰のせいかしら？

ぐぬぬ…！

ユウヤ！協力して！
この女の力を奪うわよ！
――
マリア！あなたは
口のほうを封じて！
どどど
どうやって？
ぎゃあああああ！

いい加減にしろ！
サリーは今も戦っているんだぞ！

ユ…ユウヤ…私に考えが…

ご主人様と呼びなさい
呼び捨てにしていいのは私だけよ

…ご主人様が私と同じ夢を操る能力を得たのなら…

私の夢の中でご主人様がもうひとつの夢を作って二重夢にできるわ

そしたら　ご主人様が夢の主として入ってくる彼女をなんとか…

やってみよう

ユウヤ
ユウヤ?

何ボーっとしてるの?

はぁ
はぁ

放課後
コンビニでね!
じゃあ また後で!

ドォン!!

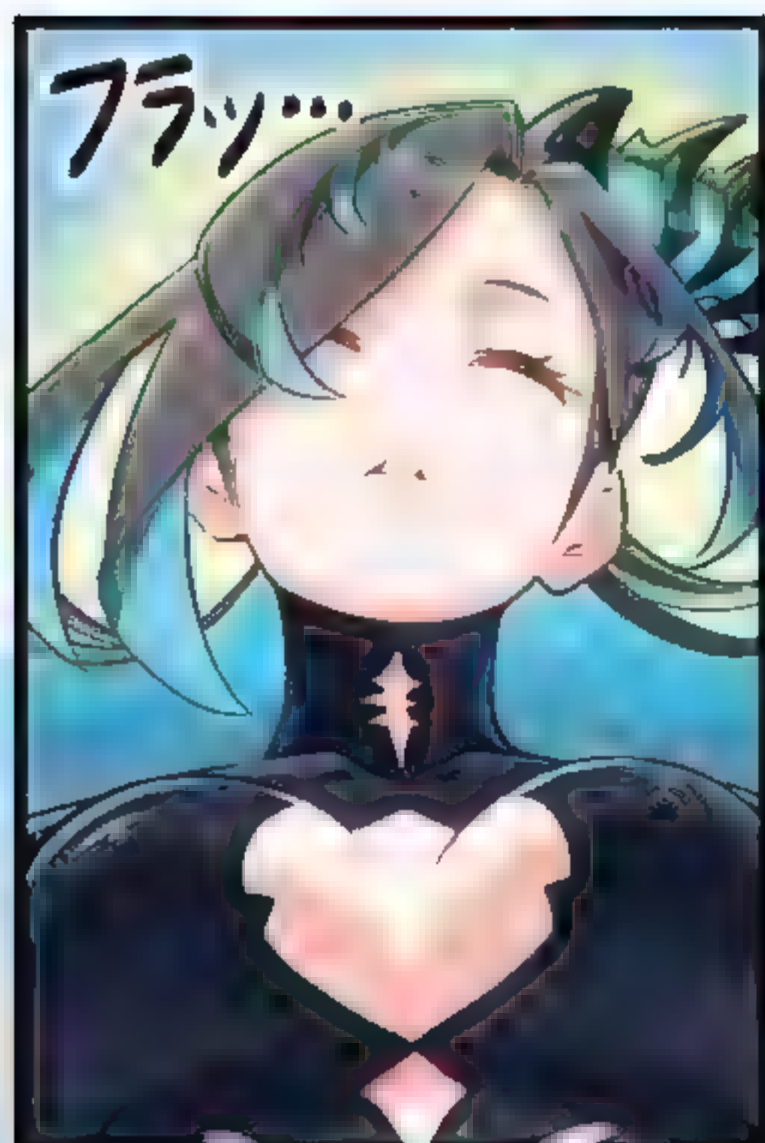
あら?

どこに隠れたのかしら?

お前は徹夜でテスト勉強をした疲れで眠りにつく

フラッ…

ドッーン

さすがご主人様！

夢の中の異世界に…
これで彼女は
もう能力が使えないわ
二重夢作戦成功ね!

ここは 俺の記憶の
深層なのか…?
聞こえてくる声を
辿ったらこの場所に…

フン
例の「秋」の声!?

そんなことより
今はアイツを監禁よ!
二重夢がいつまで続くか
わからないんだから!

監禁って
どうやって…

とりあえず行くのよ!

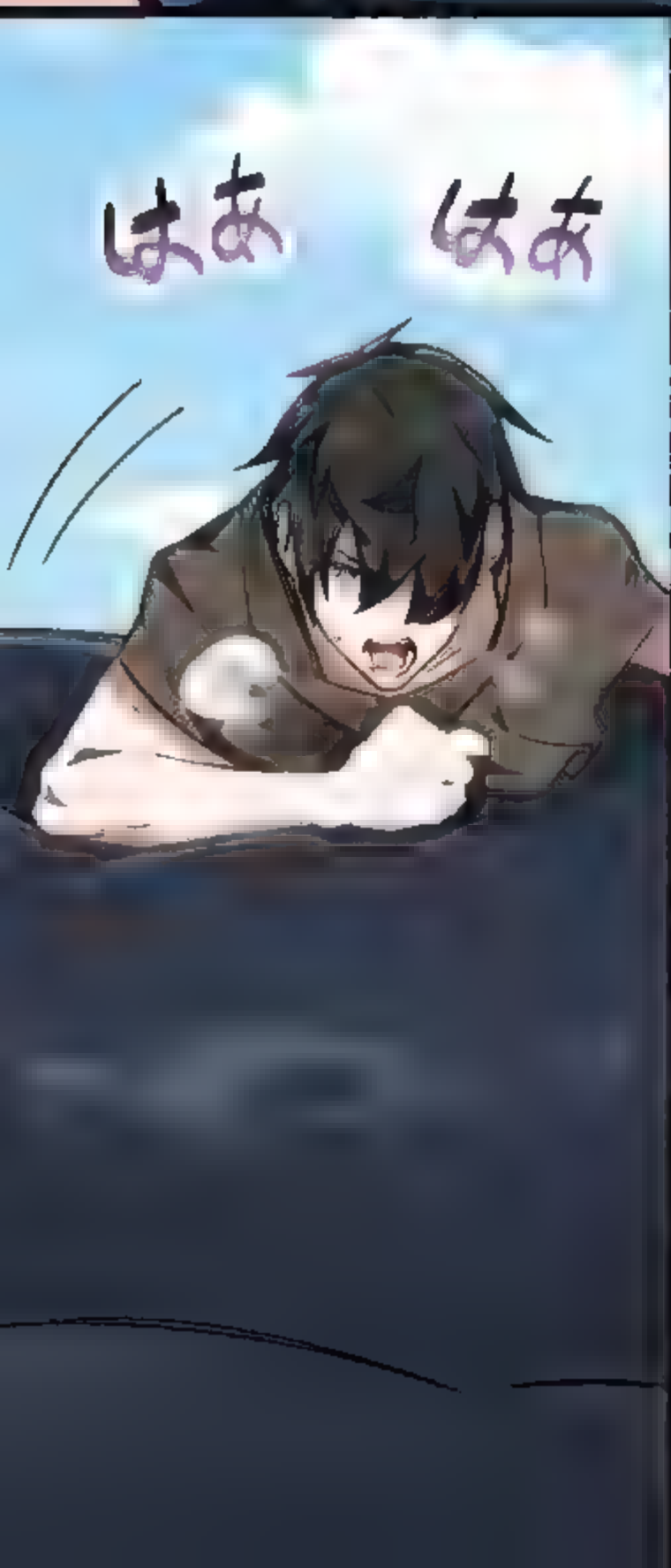
柔らかくて
歩きにくいな…

モニュ!

はあ　はあ

跳べ！

ムニュ

ああ
ボイン
バイン
あ
バサッ
ぐっ
べし
ボイン

た…助けて！

ご主人様？

！
サリー!? 無事だったのか！

意識を失っていたけど
ご主人様の力を感じて
目が覚めたの

無事でよかった
さぁ 彼女を
封印しよう

しかし
この巨体では…

何も
できませんね…

あたしがご主人様と
合体すれば
体型を変えられるかも

ぐずぐず言わないで
いつも通りヤるわよ!
ユウヤ! 中に入りなさい!

本当か!?

ゴゴゴゴ

！！

ゴゴゴゴゴゴ

パァン

ズズッ

パァン パァン パァン パァン

す
すごい

あんなスゴイの
突っ込まれたら…
ゴクリ…

ムニィ
ずずっ
あん♡
ん♡
あん♡
あん♡
くちゅ
ぐじゅ
くちゅ

んん
ちゅる
ちゅる
くちゅ
ぐちゅ
くちゅ

いつまで
隠れているつもり？

身体は
やりたい放題されて
意識はこの空間に
引っ張られて…

そんな状況の相手にすら
姿を現せないのかしら？

何を言っているの？
ずっとそばに居るじゃない
気がつかないのかしら？

13脚の石椅子？
ここは……ラグナロク会議の石机？

あなた
あの腰に角の生えた子より
ずっと賢いわね

この座につくのが
数千年も前からの
夢だったのね？

自分の野心を隠すつもりはないわ！それで脅したつもり？

その夢だけど…もう叶うことはないわ 石机はとっくに存在しないの

嘘よ！創世主様がお造りになられた石机が消えるはずがない！

そもそも一体どこでそんな情報を？

もうおやめなさい 邪神に未来などない あの御方が戻られたらすべてを清算するのよ

正神とか邪神とか人間ごときの善悪で神を区別すると言うの!?

笑えない冗談ね！力と不死こそ真理よ！

そう
残念だわ

バキッ

バキッ

お前は…！ラグナロク会議から追放された第13席

——アグネスね！

他の12席がお前を捜している！もうおしまいよ！

密告するのかしら？どうやって？

ここから逃げ出したとしても我が主には抗えないわよ

もっと頑張りなさいよ！
早く彼女を監禁して！

むく

できない おそらく
夢の外にいる彼女の
本体にもしないと

私達と一緒に
眠っているのなら
彼女より早く
目を覚まさないと

よし
一緒に夢から出るぞ

ご主人様
助太刀いたしますわ

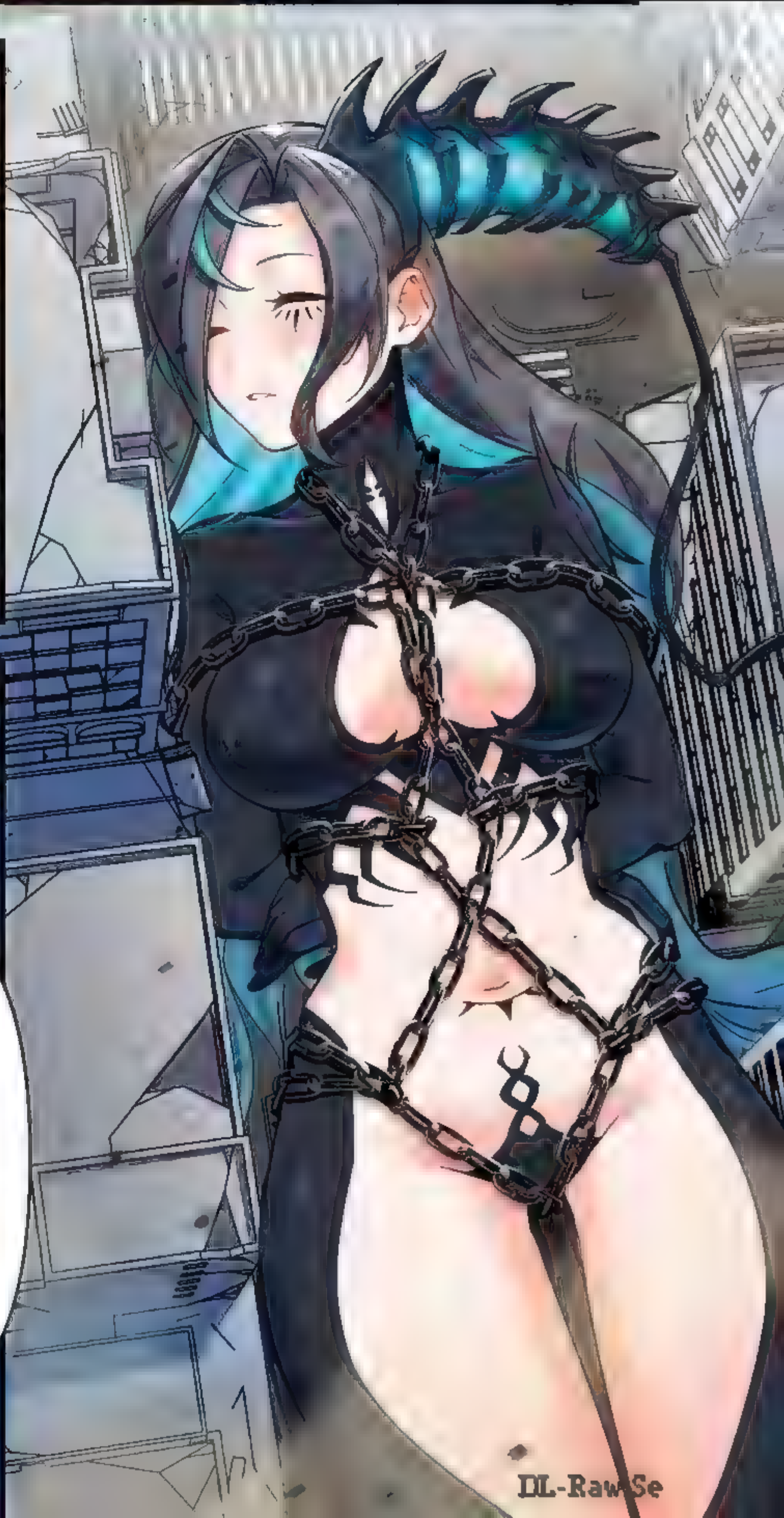
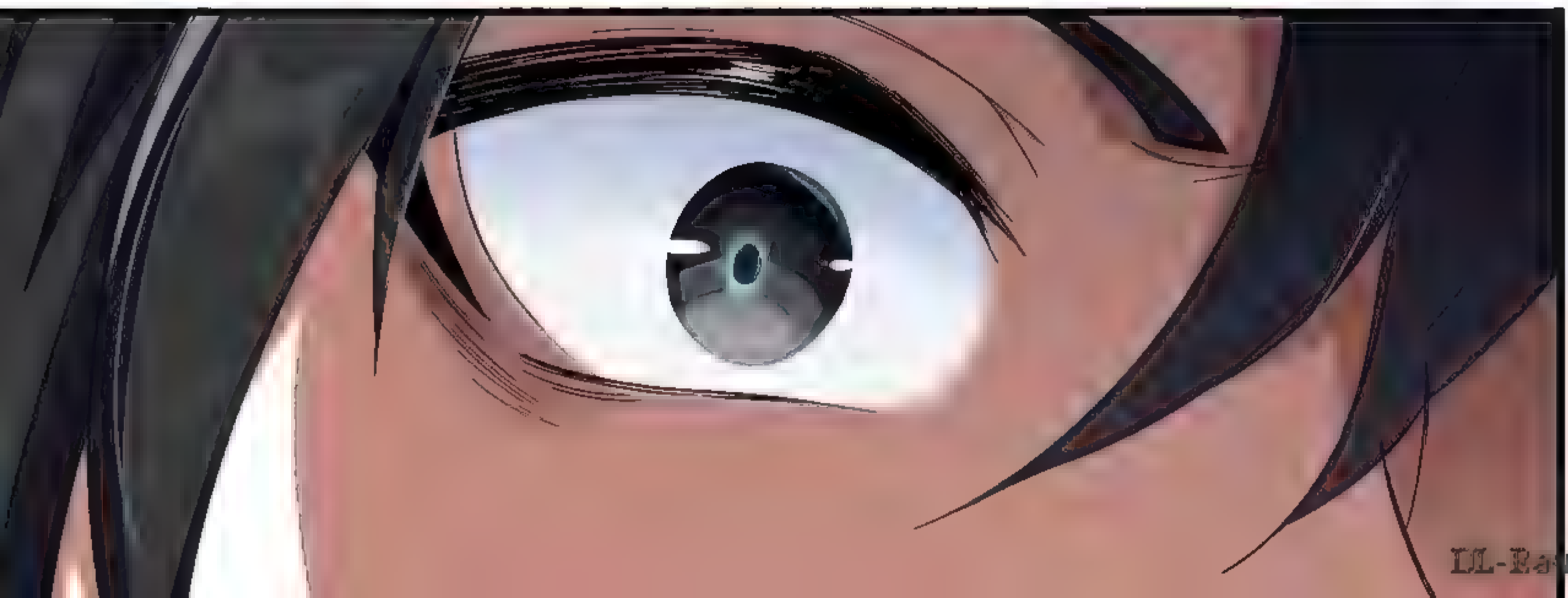
スルッ

私の能力を
使ってください
それで彼女を
封印しましょう
アグネス？ よかった
今ちょうど――

秋!?

つづく!

あとがき AFTERWORD

作画コメント

お読みくださり、ありがとうございます！初チャレンジなことばかりですが、
皆様のおかげで第1巻を無事に刊行できました。
気に入っていただけたら嬉しいです！
そして、次回も楽しんでいただけるよう、
引き続き頑張って描いていきます！

Fourteen

原作コメント

現実世界でリウと本当に恋をしたら、
さぞ面白いでしょう。
しかし、主人公だけに優しいサリー、
天然のマリアもとても良い娘なので、悩みますね…
手にとっていただき、本当にありがとうございました！

YUYU

邪神監禁

【原作】YUYU

邪神たちに支配された混沌の異世界——。
主人公・ユウヤは、自分の名前を呼ぶ少女の声とともに目覚める。
そこは邪神リヴが支配する欲望の神殿で、
大勢の人々が狂ったように快楽を貪っていた。
ユウヤはそこで邪神を縛り上げる特別な鎖を手に入れる。
それは、彼女たちを監禁・屈服させることで
邪神のスキルを奪う武器だったのだ。
鎖に宿る旧神アグネスの「王座におつきなさい」という啓示により、
ユウヤはその力を使い、危険な邪神たちを次々と監禁していく……。
冴えない男の異世界監禁×逆襲エロファンタジー、開幕！

1

Jashinkankin
Harem de
Isekai seifuku!
volume ONE

Cover Design：AFTERGLOW

邪神監禁ハーレムで異世界征服！

1

ハーレムで異世界征服！

Jashinkankin Harem de Isekai seifuku!

1

［作画］Fourteen

KADO

邪神監禁 ハーレムで異世界征服！ 1

Jashinkankin Harem de Isekai seifuku!

［原作］ YUYU

Jashinkankin
Harem de
Isekai seifuku!

邪神監禁ハーレムで異世界征服!

1

volume ONE

[原作]
YUYU

[作画]
Fourteen

ハーレムで異世界征服!

Jashin
Hare
Isekai s

1

[作画] Fourteen

KADO

ヴァンプコミックス

邪神監禁ハーレムで異世界征服！ 1

原作　YUYU
作画　Fourteen

2024年8月6日　発行
ver.001

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
ヴァンプコミックス『邪神監禁ハーレムで異世界征服！ 1』
2024年8月6日　初版発行

発行者　山下直久
発行　株式会社KADOKAWA
https://www.kadokawa.co.jp/
編集企画　グローバルコミック編集部

●お問い合わせ
https://www.kadokawa.co.jp/　（「お問い合わせ」へお進みください）
※内容によっては、お答えできない場合があります。
※サポートは日本国内のみとさせていただきます。
※Japanese text only

装幀･デザイン　AFTERGLOW

翻訳協力　枯山淡雪、ももうじ

初出　カドコミ2024年2月23日～2024年6月28日配信分